

詰 連 珠 ・ 入 門

～ 5 までの追詰め問題 ～

五段 真野 芳久 著

東海連珠会

目次

0	はじめに	1
1	次の手で勝ち形を作る詰連珠	13
2	四の次に勝ち形を作る詰連珠	25
3	三の次に勝ち形を作る詰連珠	37
4	両ミセ手を打ち次に勝ち形を作る詰連珠	49
5	三か四を2回打った次に勝ち形を作る詰連珠	57
6	三か四とミセ手を絡めて勝ち形を作る詰連珠	77
7	フクミ手を絡めて勝ち形を作る詰連珠	89
8	1～7章の攻め方、あるいはそれらの組合せで勝ち形を作る詰連珠	97

.....

本冊子に関する情報は、東海連珠会ホームページ^(*)の“連珠資料”内でご覧
頂けます。

(*) <http://tokai-renjukai.pya.jp/>

0 はじめに

連珠を始めたばかりの人は、比較的早めに急所らしい攻めの点や防ぎの点に打てるようになります。しかし、最終の勝ちに至る手順があってもそれを見つけるようにはなかなかできないようです。つまり、追詰めができる状況になっても、それを見つけられなかったり正しい手順を実行できなかったりして、せっかくの勝ちを逃がしてしまうことが多いのです。

そのような方のために、ここでは勝ち形にする手順のパターンをいくつかに分類し、短めの手順で勝ち形にできる問題を集めてみました。いずれの問題も、本冊子の副題(“5までの追詰め問題”)で表わしているように、攻め側の3手目(防ぎ側を含めると5手目)までに勝ち形を作ることができます。失敗手を誘う紛れも少しだけ含めつつ、できるだけ簡潔な配石となるようにしています*¹ので、正解手順や失敗手順を見つけ味わってもらいやすくなっています。

*¹ 黒先問題では黒石・白石同数、白先問題では黒石が1個多い、という詰連珠問題の約束事から、無駄石を置かざるを得ないことも多くあります。

“詰連珠作品”とは言えないような小問題が多いのですが*2、各問題には実際の局面で利用できそうな基本的で教訓的な手順が含まれています。解答に現われる手や手順の妙を、時には防ぎの妙手を、よく味わってもらい、実戦での勝ちに生かしてもらえれば、中級者や上級者への道が開けていくことでしょう。

多くは本冊子のための新作問題ですが、既に発表済みの問題の中から本冊子向けに変更したものも含まれています。

*2 “詰連珠”には、四追い問題、限珠案問題等もありますが、ここでは実戦の終盤を想定しやすい“追詰め問題”に限っています。

0.1 各章で扱う手順パターンについて

各章で扱っている詰連珠の手順パターンについての説明です。ここで勝ち形という用語を使っていますが、これは

- 達四、四三、白の四々
- 白の三々、黒の場合でも禁手にならない三々 (共通点に打たずに同時にできる2つの三)
- 白の三または四であって、それを止める手が禁手

を表わしています。ただし、防ぎ側に四ノビで防ぐ手があり、攻め側はその四を止める必要があって止める手が五でない場合は、その四を止める手も進めて上記の勝ち形になるまでとします。そうでない防ぎ側の四ノビは、解手順に含めません。

次の手で勝ち形を作る詰連珠

文字通り、攻め側の初手が勝ち形を作る問題で、防ぎ側の手を示すことは要求されません。

四の次に勝ち形を作る詰連珠

攻め側の初手は四で、それを止められた後の次の攻め側の手が勝ち形を作る問題です。防ぎ側の手は四を止める唯一の手ですので、防ぎ手を検討する余地はありません。

三の次に勝ち形を作る詰連珠

攻め側の初手は三で、それを止める防ぎ側のどの手に対してもその次の攻め側の手が勝ち形を作る問題です。三を止める手は2または3手あり、防ぎ手に応じて次の勝ち形が変わることもあります。正解となる手順としては、最強(通常は最も手順が長くなる防ぎですが、ここではすべて同じなので次の勝ち形を最も考えにくそうな、あるいは詰連珠として価値が高くなりそうな防ぎ)となる防ぎを示して下さい。

両ミセを打ち次に勝ち形を作る詰連珠

攻め側の初手は両ミセとなる手で、それを防ぐ防ぎ側のどの手に対してもその次の攻め側の手が勝ち形を作る問題です。ミセ手を止める手は通常多くあり

ますので、防ぎ手に応じて次の勝ち形を検討する必要があります。正解となる手順としては、前項と同じ基準で選んで下さい。

本冊子では次の四で禁手を狙う白の手もミセ手として扱っています。

三か四を 2 回打った次に勝ち形を作る詰連珠

文字通りの問題です。ただし初手が三の場合には複数の防ぎ手があり、最強でない防ぎに対しては次の手で勝ち形を作れるかもしれません。その防ぎの手順は正解になりません。

三か四とミセ手を絡めて勝ち形を作る詰連珠

初手でミセ手を打ち、それを防ぐどの手に対しても三か四を打った後に勝ち方を作る問題 (ただし弱防だと直ちに勝ち形ができるかもしれません) か、あるいは三か四を打ち、それを防ぐどの手に対しても次に両ミセを打ちその次に勝ち形を作る問題のいずれかです。

フクミ手を絡めて勝ち形を作る詰連珠

初手で「次に四追いで勝つぞ」というフクミ手を打ち、どの防ぎ手に対しても次の何らかの手によってその後に勝ち形を作る問題。攻め側の3手目までに勝ち形を作る問題に限定していますので、フクミ手といっても四追い回数は2回に限られます。ミセ手も兼ねたフクミ手の場合は、防ぎ手によっては直ちに勝ち形を作ることができるかもしれません。そのような防ぎ手は正解手順になりません。

1～7章の攻め方、あるいはそれらの組合せで勝ち形を作る詰連珠

これまでの応用の章です。勝ち手順パターンのヒントはなく、1～7章の攻め方のどれか、あるいはその範疇に入らない攻め方で勝つ問題が集められています。どれも攻め側の3手目までに勝ち形を作ることができる点は同じです。

0.2 連珠の基本用語

連珠に馴染みのない方のために、連珠の基本用語を簡潔に説明しておきます。
黒石を持って先に打つ側を黒、白石を持って後で打つ側を白と呼んでいます。

五ごれん : 縦・横・斜めに同色の石が丁度 5 個並んだもの。五連とも言います。
黒・白とも勝ちです。

禁手きんて : 反則手。打つと (相手の四や三等を防ぐためでも) 負けです。

長連ちょうれん : 縦・横・斜めに同色の石が 6 個以上並んだもの。黒は禁手ですが、
白は勝ちです。

四 : 1 個の石の追加で五 (白の場合は長連を含む) となるもの。

達四たつし : 四で、五にする場所が 2 つあるもの。棒四ぼうしとも言います。

三 : 1 個の石の追加で達四となるもの。

三々さんさん : 着手点を共通点として同時にできる 2 つの三。黒は禁手です。

四々しし : 同時にできる 2 つの四。黒は禁手です。

四三しさん : 同時にできる四と三。

せんで

先手 : 黒のこと。時に、新たな戦いの場に先に打つ側のこと。

ごて

後手 : 白のこと。時に、新たな戦いの場に後に打つ側のこと。

ミセ手 : 次に四三 (白の場合は四々も含む) を作るぞ、と打つ手。

しお

四追い : 四の連続で打つこと。四追い勝ちは、四追いで勝つこと。

フクミ手 : 次に四追いで勝つぞ、と打つ手。

おて

追い手 : 三を作る (ヒク) 手・四を作る (ノビル) 手・ミセ手・フクミ手の
総称。

防ぎ手 : 追い手に対して五を作らせないように打つ手。三や四に対して
防ぐことを止めるとも言います。

おいづ

追詰め : 追い手の連続で勝ちを導くこと。追勝ちとも言います。

ちょうれんすじ

長連筋 : 直線状に並び間に空点のある 3 つ以上の同色の石群で、空点を
同色の色で埋めた時に長連になるもの、またその状態。

けんさき

剣先 : 四ノビをできる場所。

- ノリ手 : 追い手になっている防ぎ手、または相手の四追い中に四ができる防ぎ手。
- ノリ切り : 相手の四の中にある空点に防ぐことで四になること。
- ノリ押さえ : 相手の四を端に防ぐ手が四になること。
- なつど
夏止め : ○・●●●・○のように、両端が空点の三連で、空点の先に敵石(または盤端)があり、三でない状態。
- 長連筋の夏止め : 黒の三連で、○・●●●・●のように、2つの空点の先に黒石があって、三になっていない状態。

以下は詰連珠特有の用語についての説明です。

げんあん

原案 : 問題作者が用意した解答。

よづ

余詰め : 原案以外の別の筋による勝ちがあること。

はやづ

早詰め : 原案より短い手数で勝ちがあること。余詰め的一种。

ふづ

不詰め : (好防あるいは作者のミスによって) 勝ちのないこと。

てかず
手数

：勝ち形に至るまでの攻め手と防ぎ手の石の合計数*³。詰連珠では、勝ち形に至る最後の四追いは1手と数えます。

四ノビ無効：攻め手順に影響を与える防ぎ側の四ノビであるが、その四を止めることで新たな追い手が生じ、以前の追い手を加えたすべての追い手を防ぐ手段がないこと。*⁴

無駄な四ノビ：攻め手順に影響を与えない防ぎ側の四ノビ、および最短勝ち手順に影響を与えない攻め側の四ノビ。

本冊子では、不詰めや早詰めはもちろん、余詰めもないように問題を作っています。

*³ 同じ筋であれば少ない石数の順を採用します。例えば、四・三の代わりにミセ手でも勝ちになる場合の后者。

*⁴ 無効な四ノビは、解手順に含まれませんが、言及する必要はあります。

0.3 本冊子で使っている記法

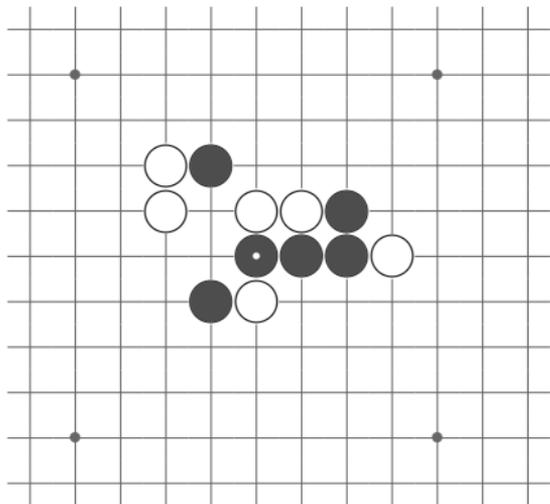
- : 天元の位置 (盤の中央) にある黒石。
- 1 後 A : 攻め手側の着手 1 に対し、どのように防いでも A として勝ちとなることを示します。
- A · B : A への着手、B への着手が続くことを示します。攻め側の手だけを示していることが多く、両者の手の連続の場合は、黒 A · 白 B のように記述されます。
- # : これに続く文は、正解手の補足説明です。
- ※ : これに続く文は、失敗手の説明です。

0.4 著者による参考図書

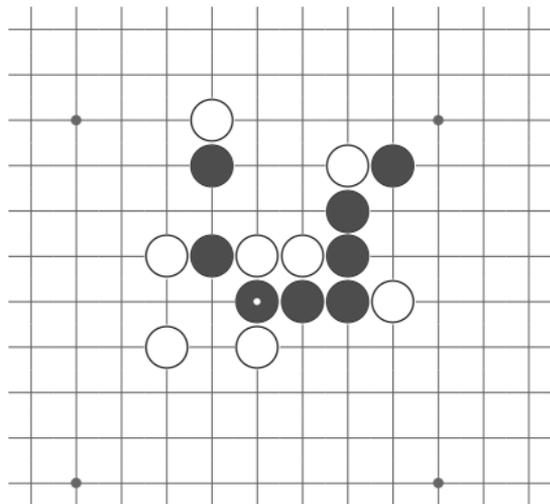
本冊子の著者による連珠図書を紹介しておきます。いずれも東海連珠会発行として、東海連珠会ホームページ (<http://tokai-renjukai.pya.jp/>) 等で pdf ファイルとして公開しています。本冊子はこれらの姉妹編ですが、詰連珠に馴染みの少ない人向けの入門編として作っています。

- 「六路盤詰連珠 作品集 1～5」、2011.11～2012.12 (2017.11 第2刷)。
- 「一手の詰連珠」、2014.9 (2023.12 第3刷)。
- 「連珠 (五目並べ) の基礎」、2015.3 (2017.11 第2刷)。
- 「珠々の詰連珠 (1)～(5)」、2017.11～2023.12、(2023.12 (1)～(4) の第2刷)。
- 「詰連珠：路地覗き ～追詰め問題を作ってみよう～、2020.6。

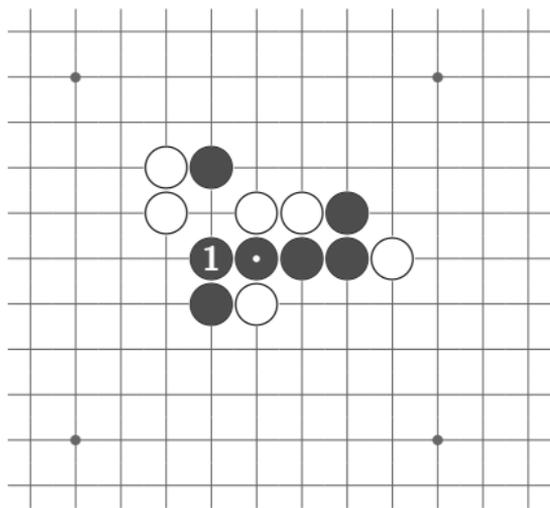
1 次の手で勝ち形を作る詰連珠



【問 1-1：黒先】白は四や三を作ることができませんが…。

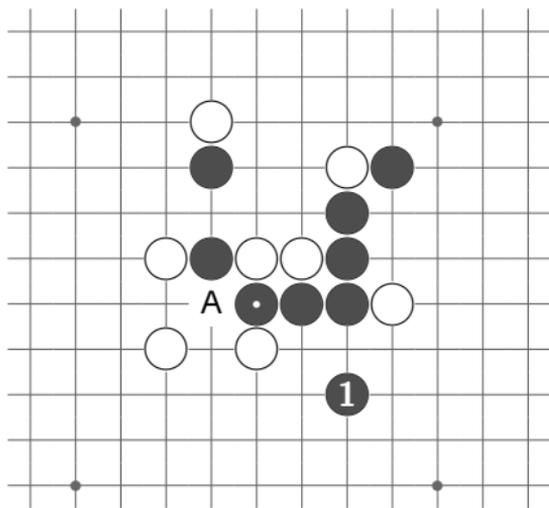


【問 1-2：黒先】このような四や三にも慣れるようにしましょう。



【問 1-1】黒 1 の四三勝ち。

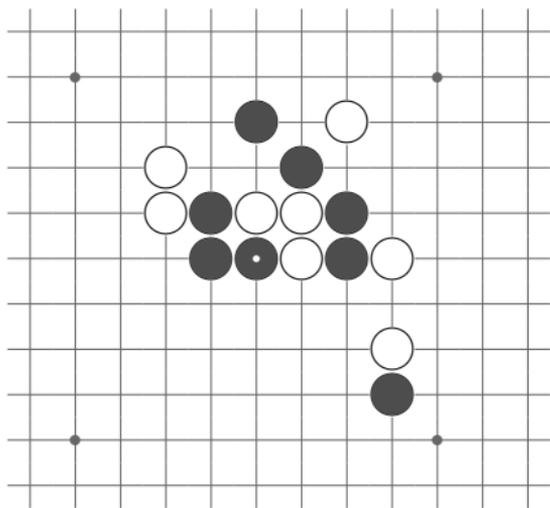
黒の四を止めると白に三ができ、黒の三を止めると白に四ができますが、いずれの場合も黒は先に五を作ることができますので心配ありません。



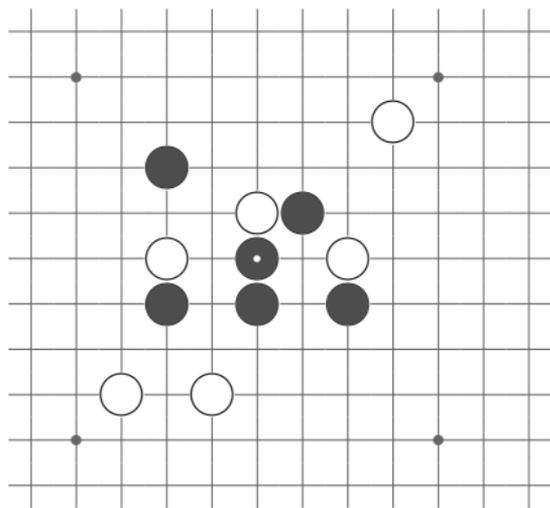
【問 1-2】黒 1 の四三勝ち。

四も三もトビの形なので見つけにくかったかもしれません。

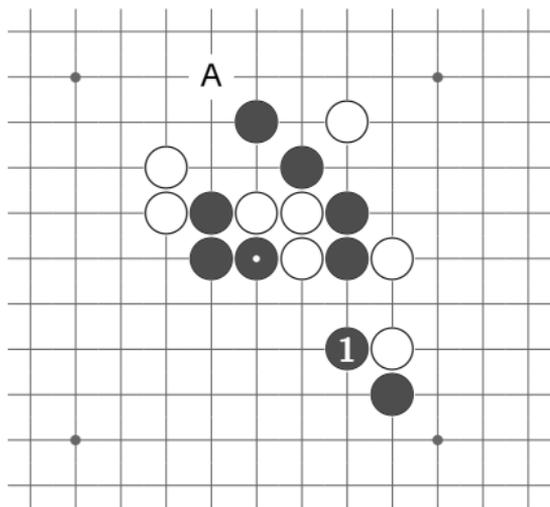
※ 目につきやすいのは A 点ですが、上端に白石があるため三になりません。



【問 1-3：黒先】白に三があり、気づきにくい形でもあります。



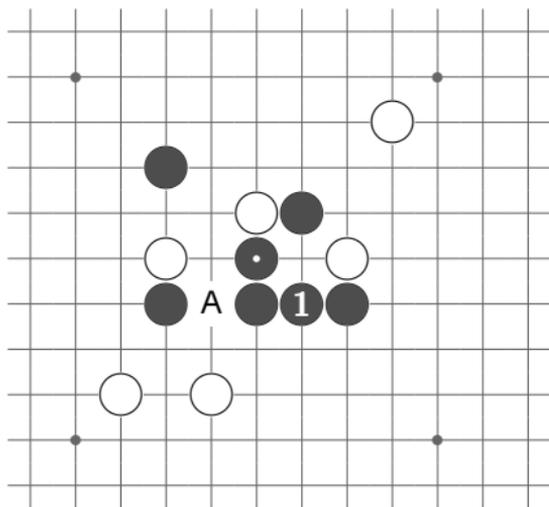
【問 1-4：黒先】四三らしい点は2つあります。



【問 1-3】黒 1 の四三勝ち。

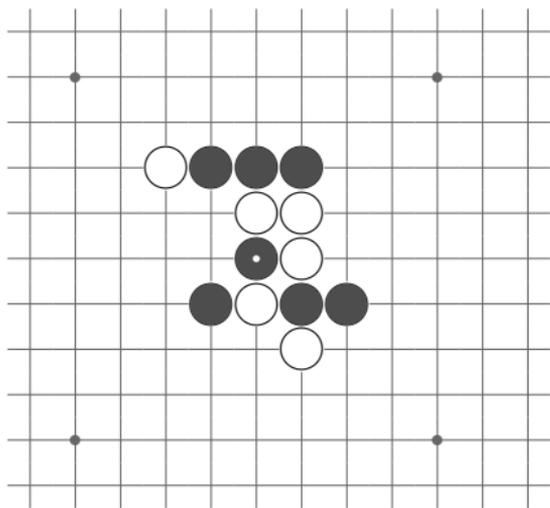
四三ができるのであれば相手の三は無視できます。見落としやすそうな斜めの四でした。

※ A 点も気になりますが、縦に空点が 2 つあるので三になりません。

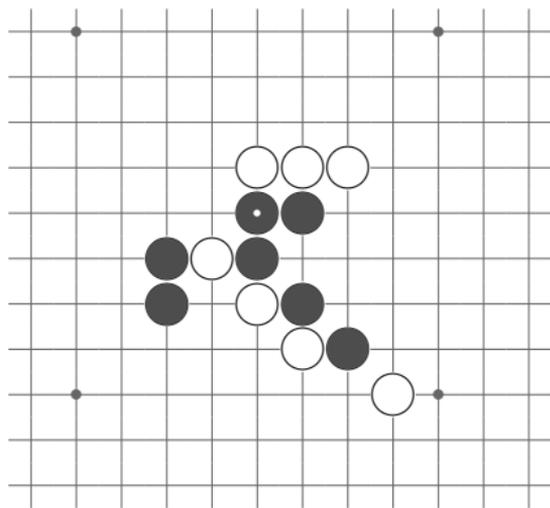


【問 1-4】黒 1 の四三勝ち。

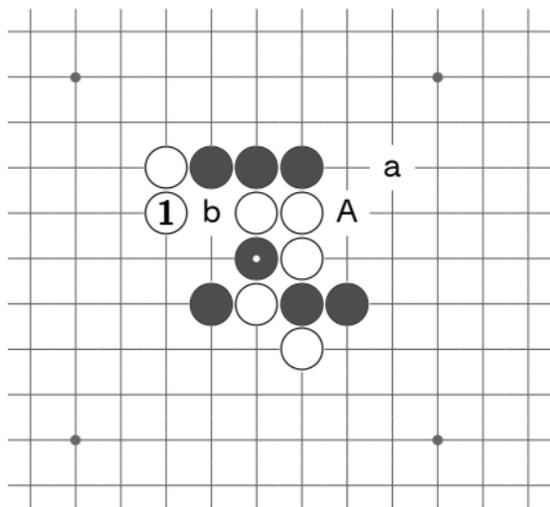
※ A 点も四三らしく見えますが、斜めは白石があるため達四にできず三ではありません。このように、両端が空いていて三でない連は“夏止め”になっていると言います。



【問 1-5：白先】白に禁手はありません。



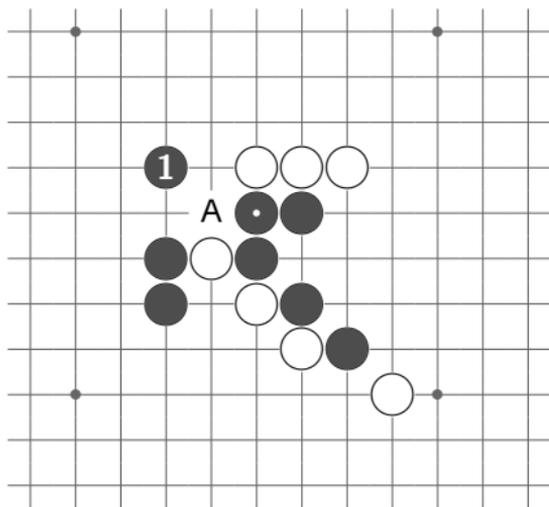
【問 1-6：黒先】四三で勝てそうな点が2つあります。



【問 1-5】白 1 にて三々の勝ち。

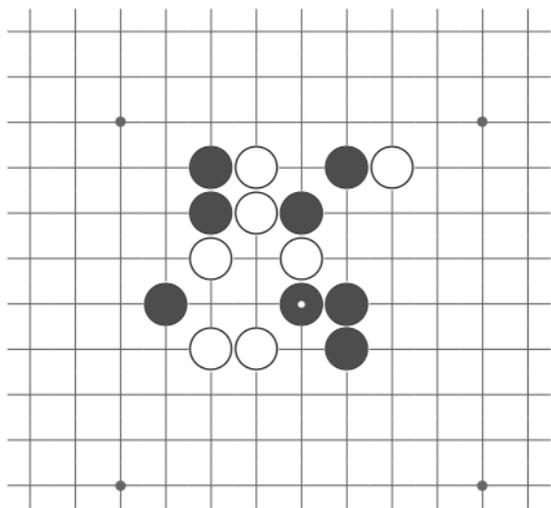
白に禁手はなく、三々も自由に打つことができます。

※ 白 A も三々ですが、黒 a の四で一方を止めてからの b で白勝ちが消えます。

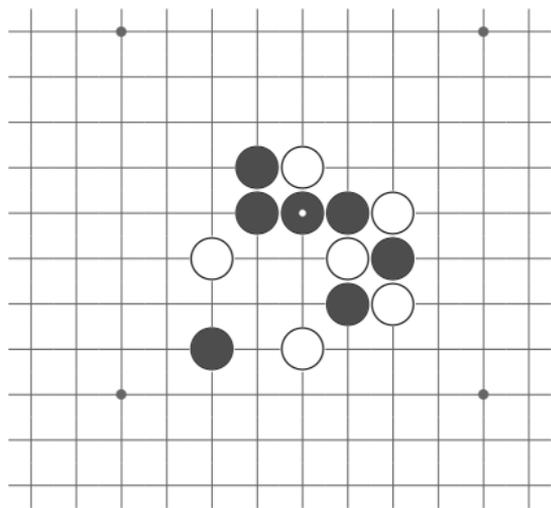


【問 1-6】黒 1 の四三勝ち。

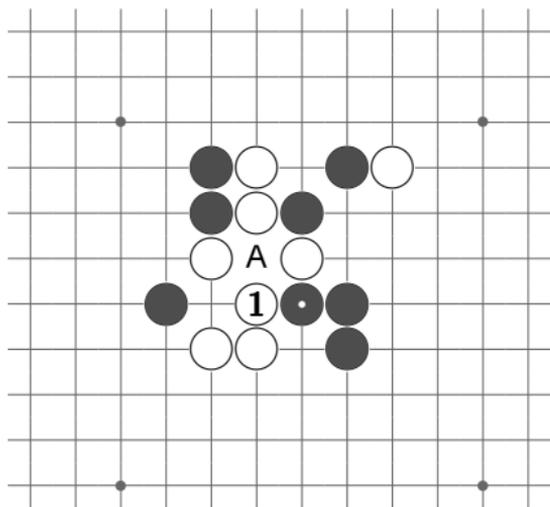
※ 黒 A も四三ですが、四を止める白 1 で白に四ができ、黒は三を達四にする余裕がなく、勝ちにできません。白のこのような防ぎ方を“ノル”と言い、その手を“ノリ手”と言います。



【問 1-7：白先】黒の三やノリ手も平気です。



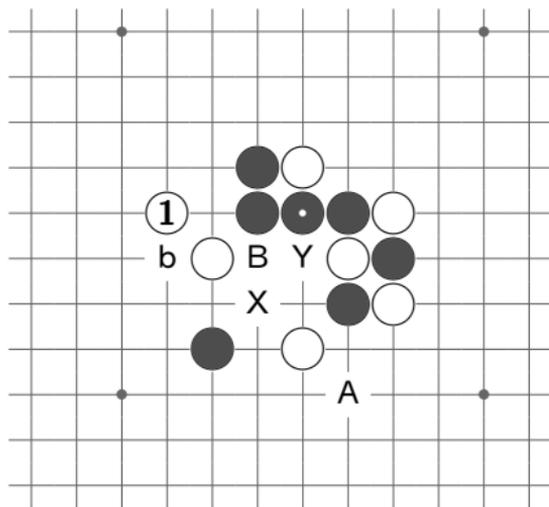
【問 1-8：白先】禁手を狙いますが、三々禁の点は2つあります。



【問 1-7】白 1 にて四々勝ち。

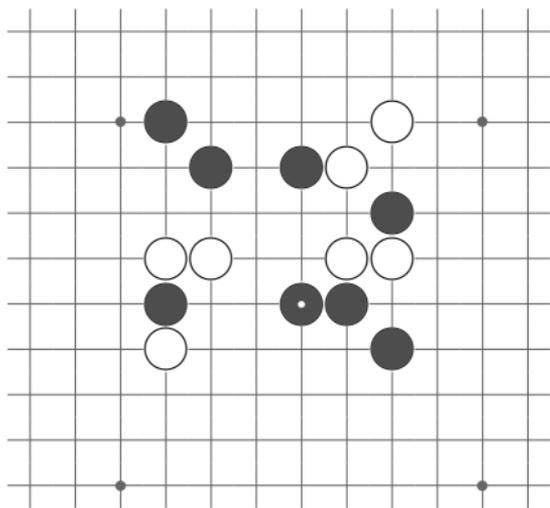
どちらの四を止めても黒に四ができますが、『四々にノリ手なし』です。

※ 白 A で四三を作れますが、黒 1 のノリ手で勝てません。

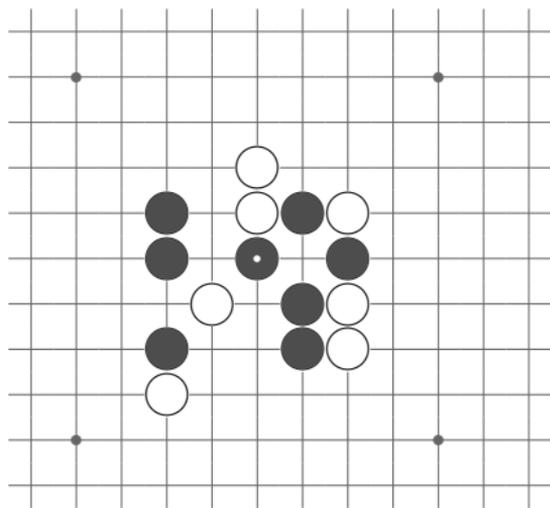


【問 1-8】白 1 にて X 点三々禁。

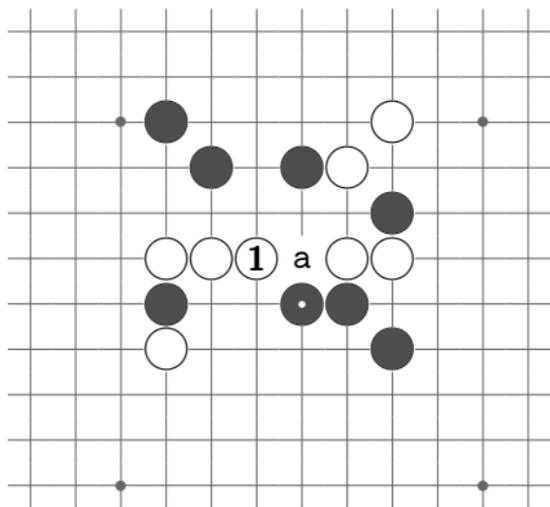
※ 初手で A は黒 1 と四で防がれます。Y 点の三々禁を狙う B は三でなく、黒 b 等と防がれます。



【問 1-9 : 白先】 黒白とも長連筋があります。

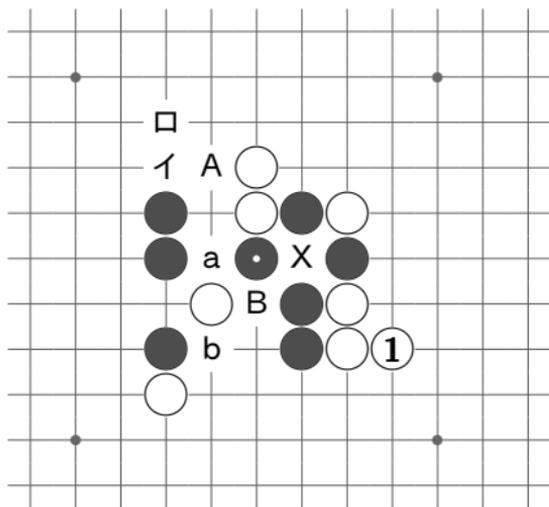


【問 1-10 : 白先】 禁手を狙いますが、狙い方に注意。



【問 1-9】 白 1 の四三勝ち。

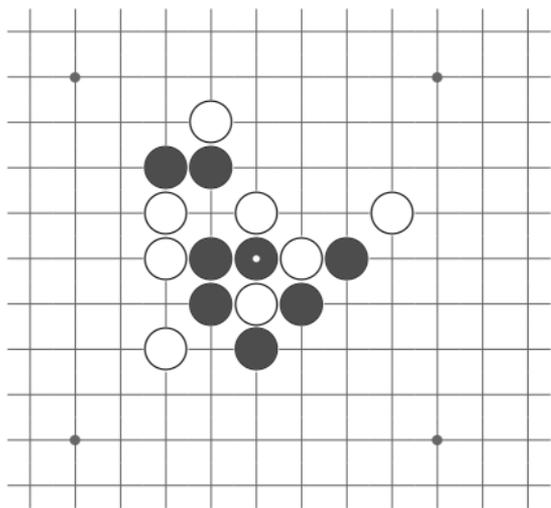
黒の長連は禁手ですが、白の長連は勝ちです。白 1 は立派な四三で、黒 a と止めても四になりません。



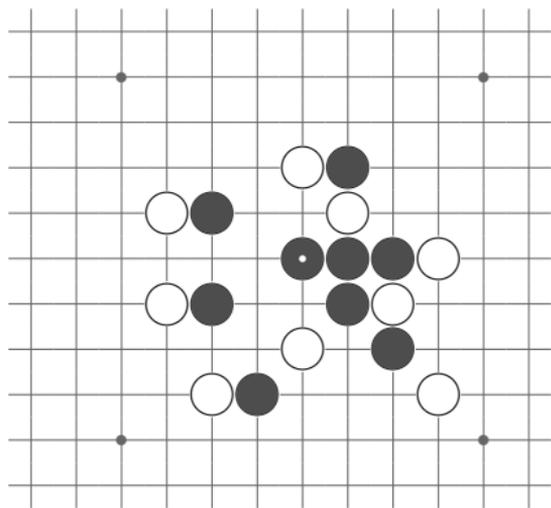
【問 1-10】 白 1 にて X 点四々禁。

黒は a 点で四三ができますが、白 1 はノッています。

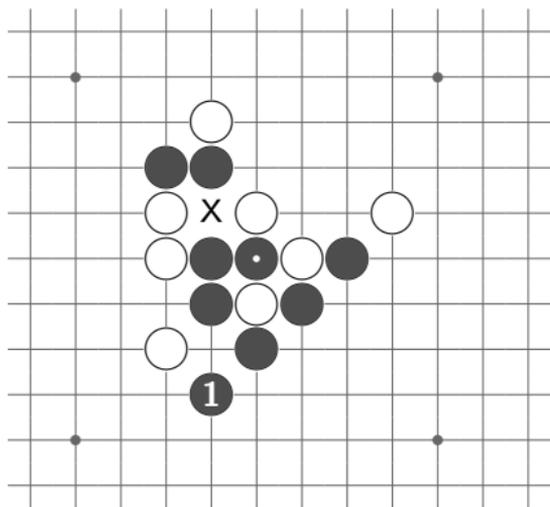
※ 禁点 X を A の三で狙うのは、黒 イ・ロの四で止められます。白 B には黒 b です。



【問 1-11：黒先】四々禁の点を逆用します。

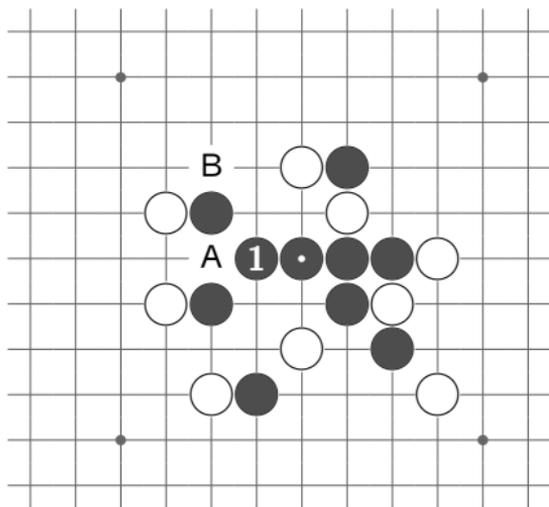


【問 1-12：黒先】四三らしき点はいくつかあります。



【問 1-11】 黒 1 の四で縦が長連筋になって禁点 X が解除され、斜めの三が復活します。四と三が同時にできての勝ちです。

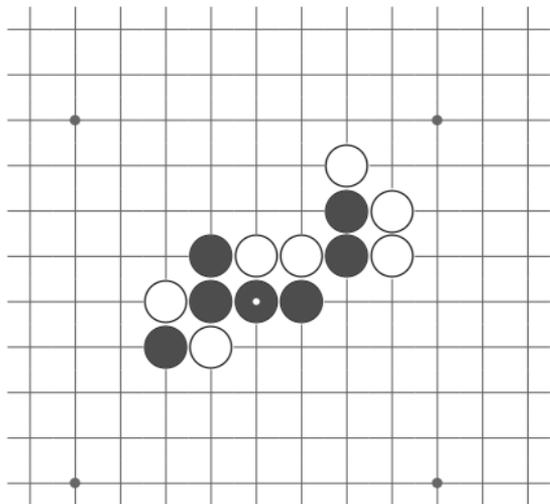
解禁をテーマとする詰連珠は時折見られます。



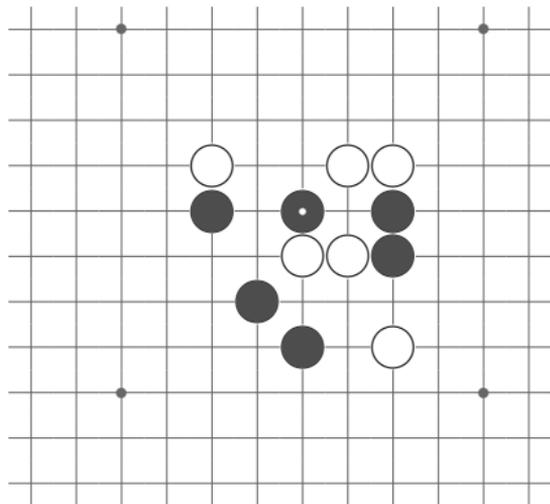
【問 1-12】 黒 1 の四三勝ち。

※ 黒 A は B が四々のため、黒 B は A が四々のため、いずれも縦を達四にできず三と言えません。A の縦も夏止めの一種と言えます。

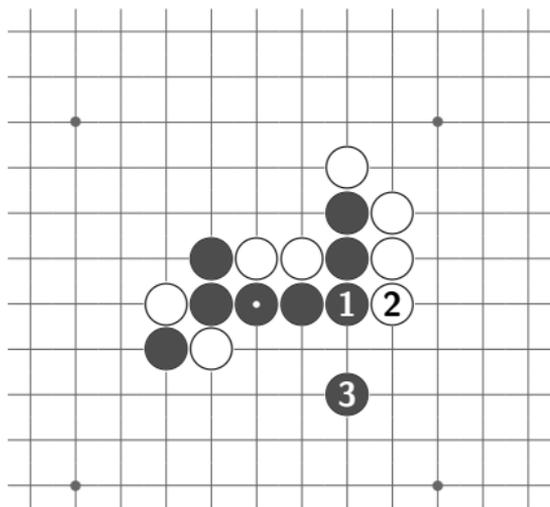
2 四の次に勝ち形を作る詰連珠



【問 2-1 : 黒先】四・四三の基本形の1つです。



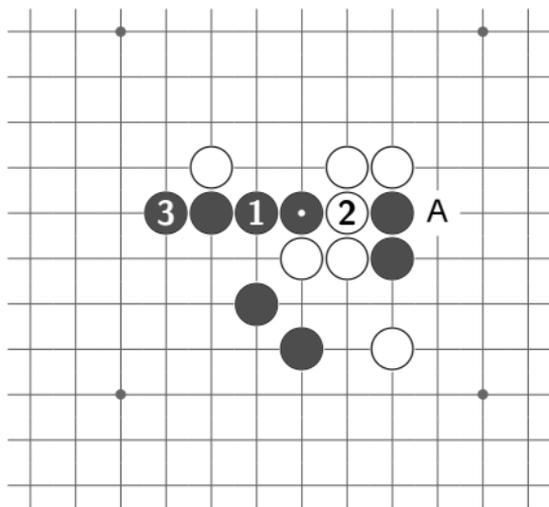
【問 2-2 : 黒先】どちらに四を作りますか？



【問 2-1】黒 1 の四後、3 の四三勝ち。

途中で白に三ができますが、問題ありません。

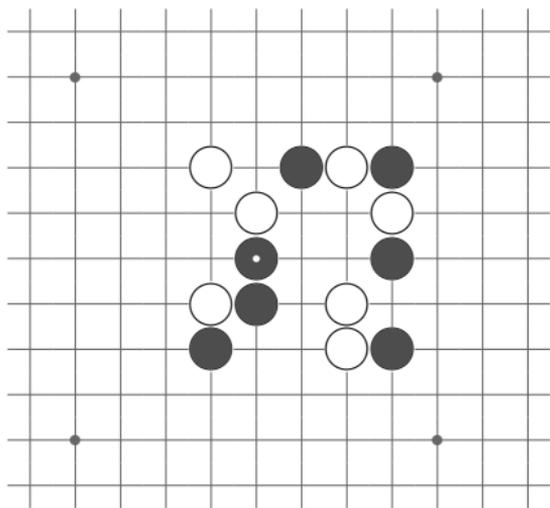
実戦でもありがちな手順です。



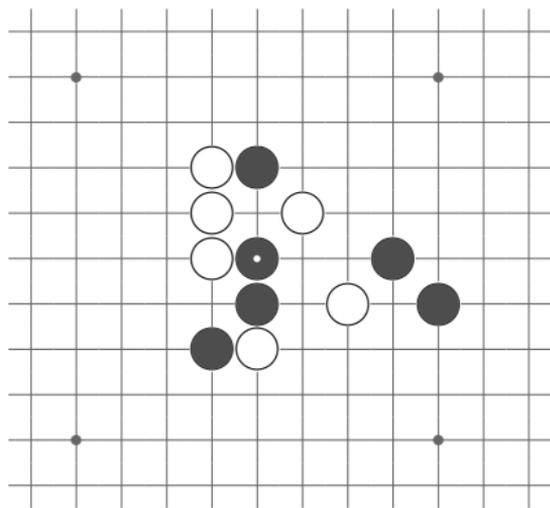
【問 2-2】黒 1 の四後、3 の四三勝ち。

※ 2・A の順でも四三を作れそうですが、白 1 の防ぎが四で失敗です。

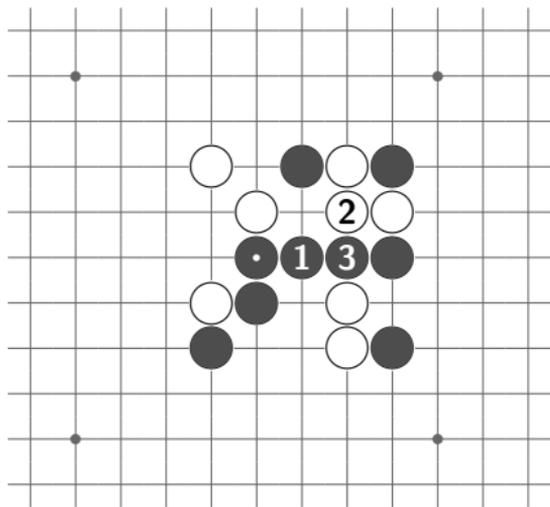
図の白 2 は三ですが、構わず四三を作ります。



【問 2-3：黒先】白も良い形です。



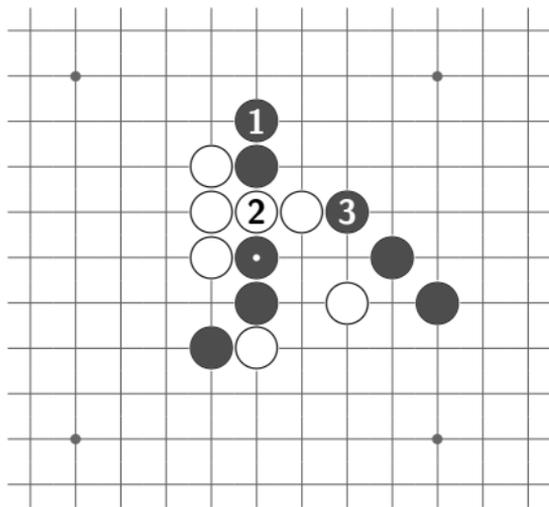
【問 2-4：黒先】白には三がありますが、無視できます。



【問 2-3】黒 1 で四三ですが、四を止める白 2 も四三で、その四を止める黒 3 で達四の勝ちです。

互いに四三を作りますが、ノリ手の後で打った方が勝ちになっています。

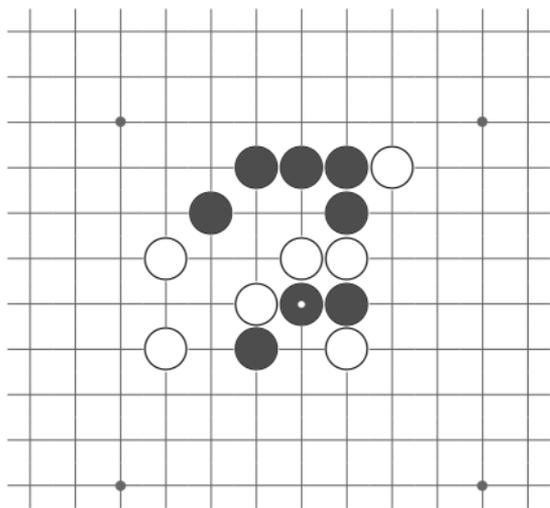
※ 初手で 2 の四三はノられます。



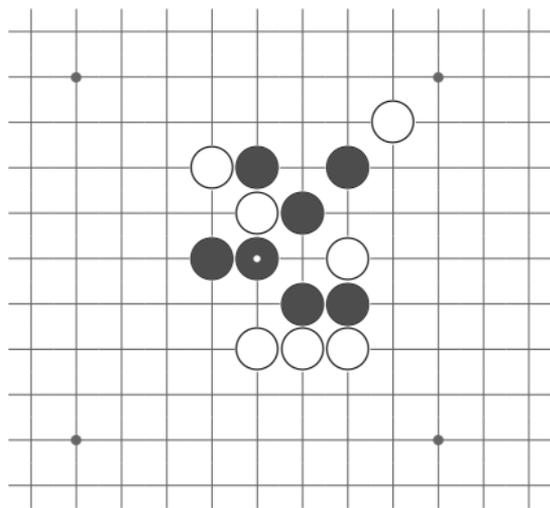
【問 2-4】黒 1 の四後、3 の四三勝ち。

四三の四も三も斜めでトビの形です。このような形にも慣れましょう。

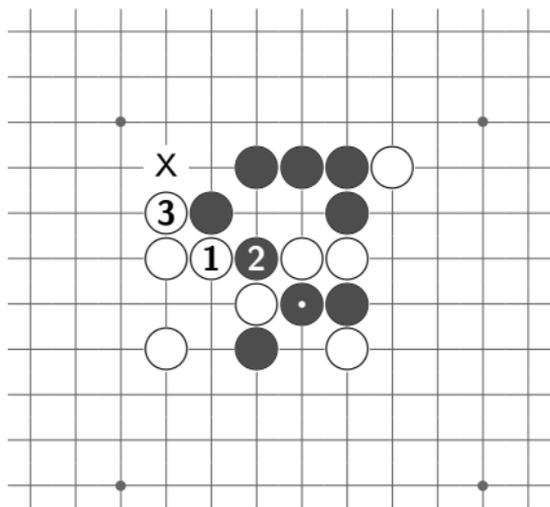
問題図で白に三があり、白 2 で、そして四三の四を止めて、更に三ができますが、全く問題ありません。



【問 2-5：白先】黒の四での防ぎを防ぎます。



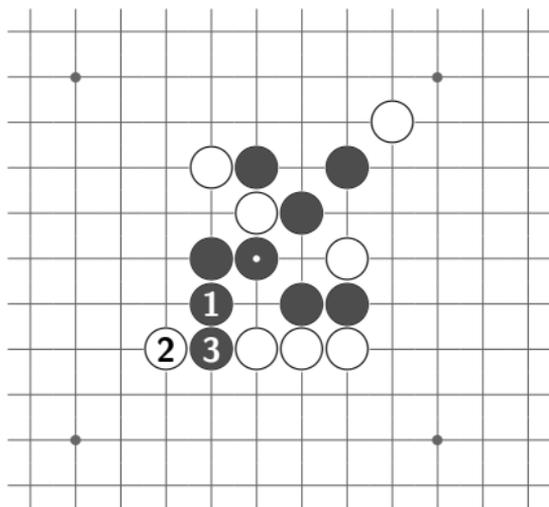
【問 2-6：黒先】四三の点がありますが、白の三がノリ手になっています。



【問 2-5】白 3 での三々勝ち。

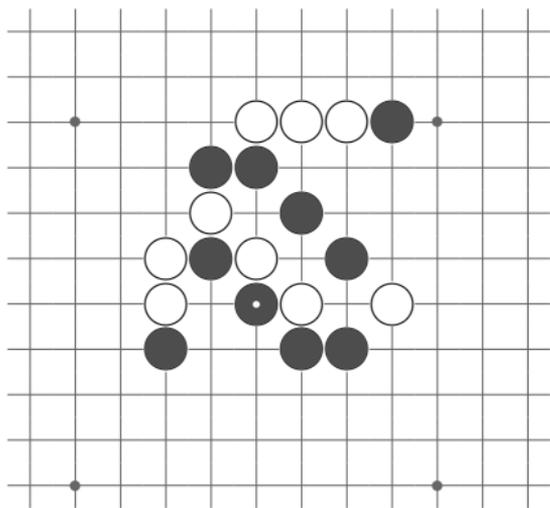
X 点が禁点になっていて、黒は四での防ぎができません。

※ 初手で 3 として 1 での四三を狙うのは、黒 X の四で防がれます。

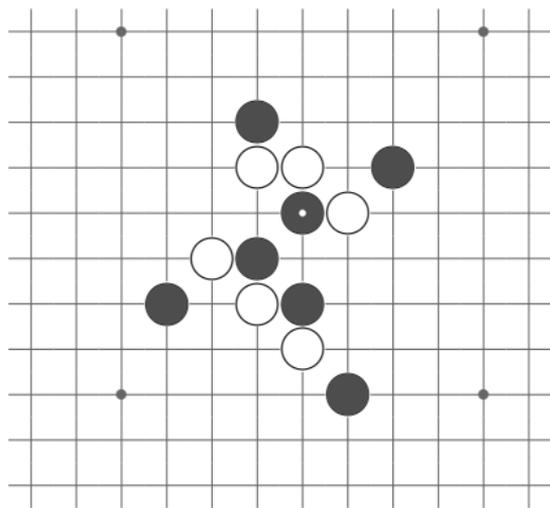


【問 2-6】黒 3 で、三が 2 つできていての勝ち。

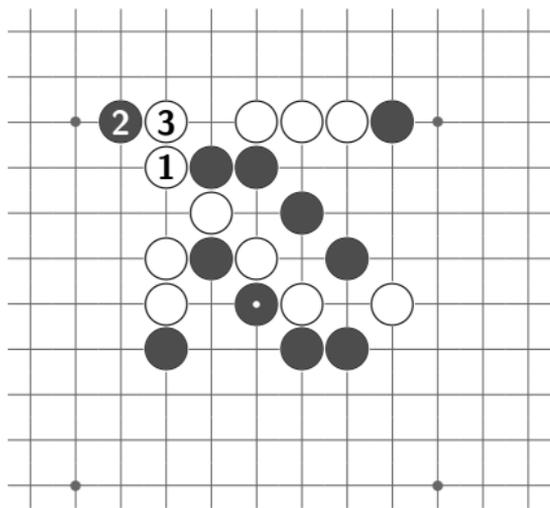
三が 2 つできていますが、同時にできたものではないので、三々禁になりません。



【問 2-7：白先】黒の三やノリ手は無視できるように…。



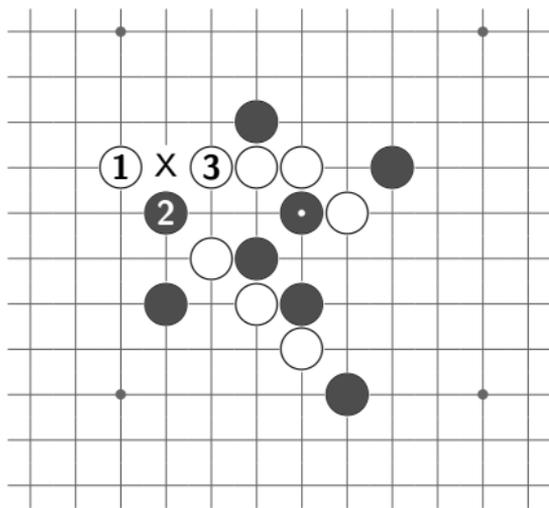
【問 2-8：白先】禁手にします。



【問 2-7】白 3 の四々勝ち。

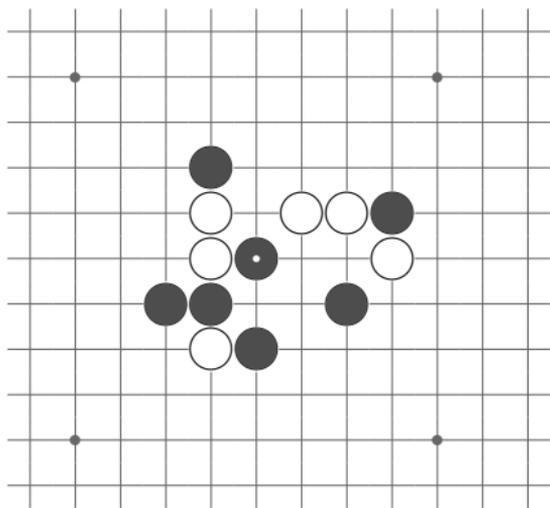
どちらの四を止めても黒に四ができますが、役立ちません。

※ 3 から始めると、黒の四での防ぎが成立します。

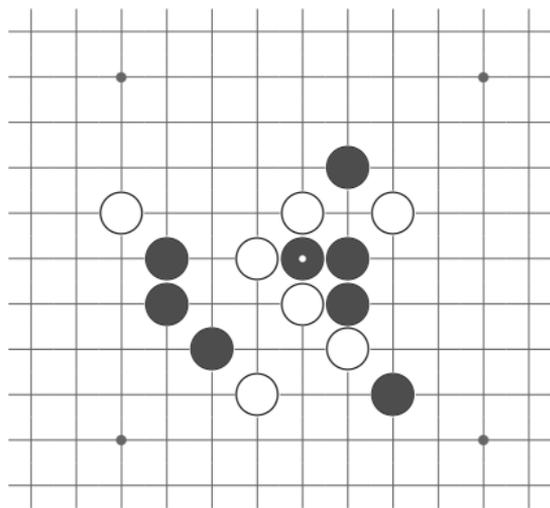


【問 2-8】白 3 にて X 点三々禁。

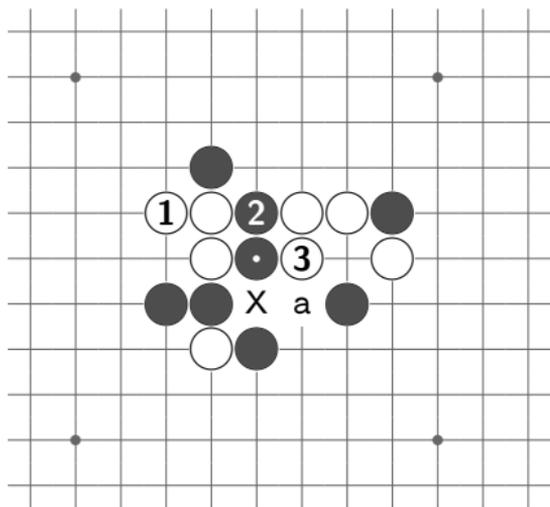
禁手の三々は 2 つともトビ三で、見づらいかもしれません。



【問 2-9：白先】黒に四三の点がありますが…。



【問 2-10：白先】こんな形での勝ち方もあります。

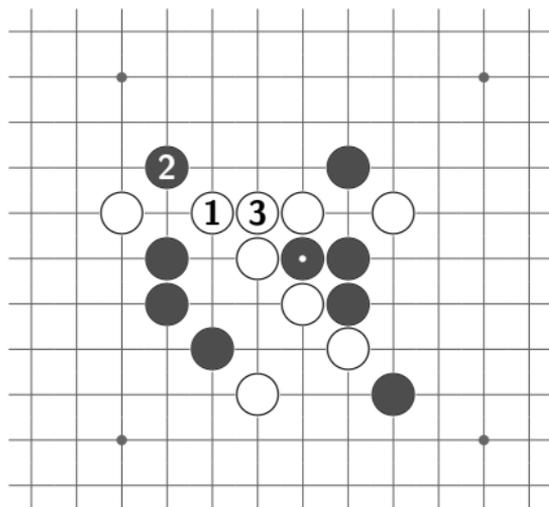


【問 2-9】 白 3 にて X 点四々禁。

黒は a 点の四三が残っていますが、白 3 でノッています。

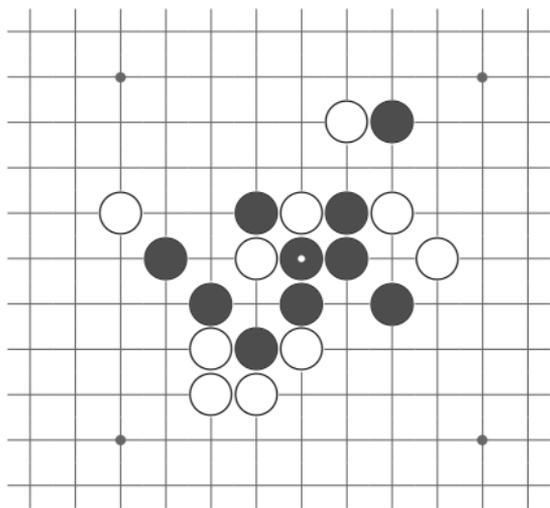
黒 2 は、X 点四々のため、三々禁になりません。

※ ‘白 X 後 1 の四三’ は、ノラれます。

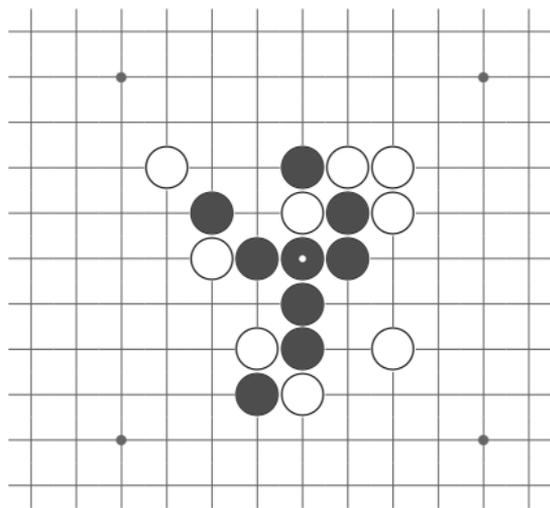


【問 2-10】 白 3 の四々勝ち。

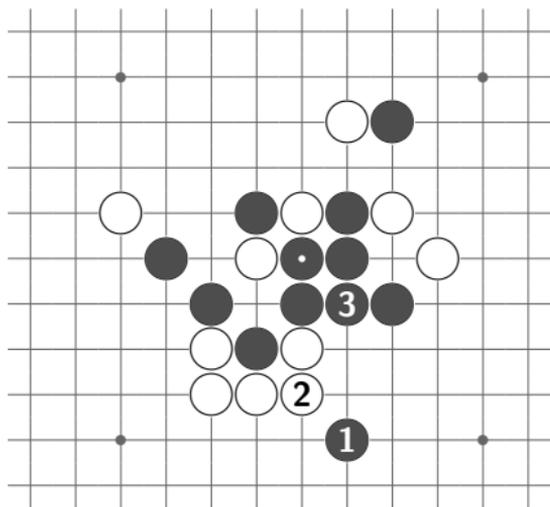
白 3 で一直線上にできる四々ができています。他に ○○・A○・○○ や ○○○・A・○○○ があります。図の形の四々は黑白とも実戦で時折現われます (黒では禁手です)。



【問 2-11：黒先】黒には四三々の禁点があります。

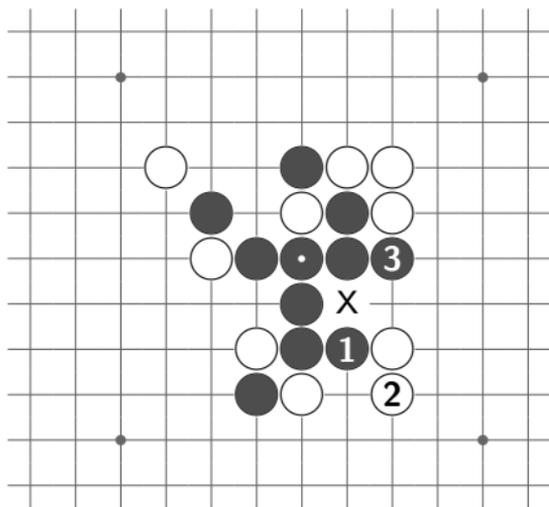


【問 2-12：黒先】これも四三々の禁点を逆用します。



【問 2-11】 黒 1 で四三々が解禁され、
黒 3 の四三勝ち。

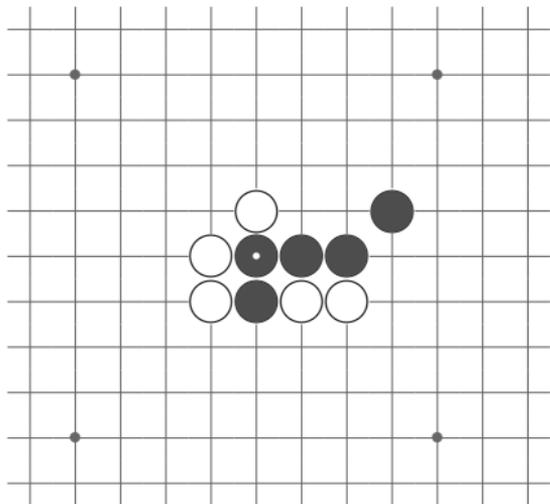
黒 3 とした時の縦は、達四にでき
ない“長連筋夏止め”の形で三ではあ
りません。



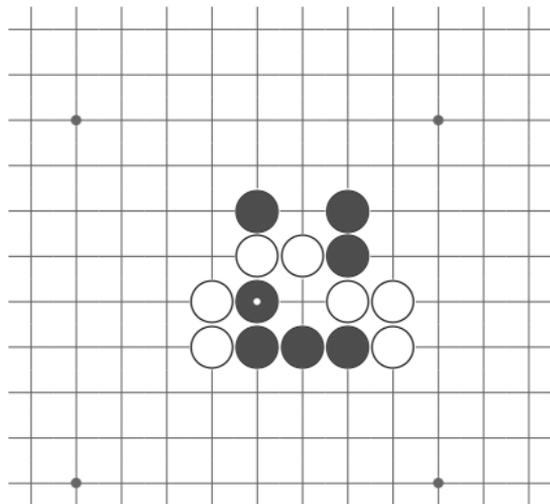
【問 2-12】 黒 3 の四三勝ち。

黒 1 と打つことで、3 を打った時
点で X 点が四々の禁点となるため、3
から左下への黒は三でなくなり、3 点
は単なる四三となります。

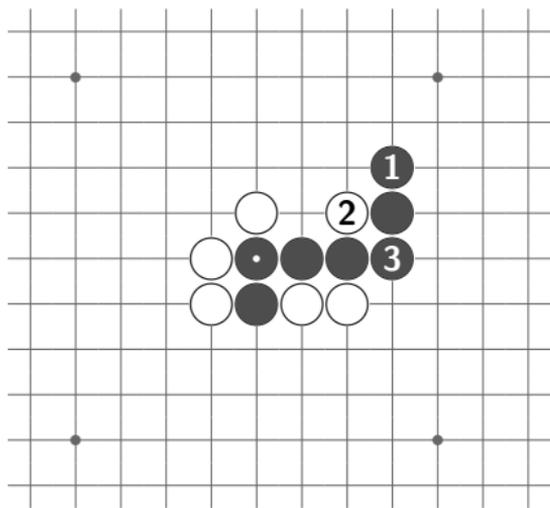
3 三の次に勝ち形を作る詰連珠



【問 3-1：黒先】“三後四三”の基本形です。

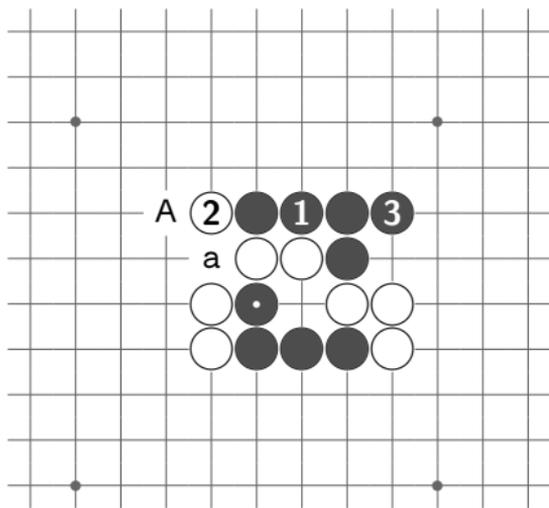


【問 3-2：黒先】三の止め方に応じて…。



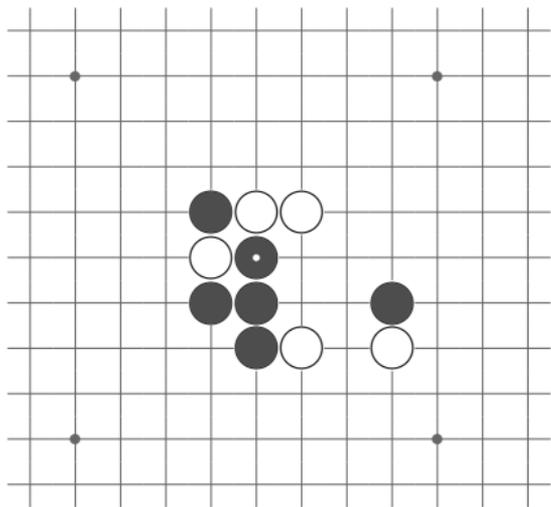
【問 3-1】黒 1 の三後、3 の四三勝ち。
白 2 で他の防ぎも同じ。

三の止め方は 2~3 通りあります。
どの防ぎでも同様の勝ちがあるのかは
確かめる必要があります。

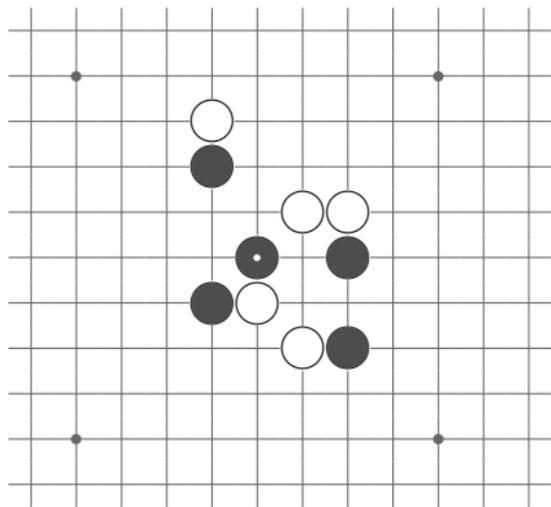


【問 3-2】黒 1 と三をヒキ、図の白 2
なら 3 の四三勝ち。白 2 で 3 なら黒
A の四三勝ち。

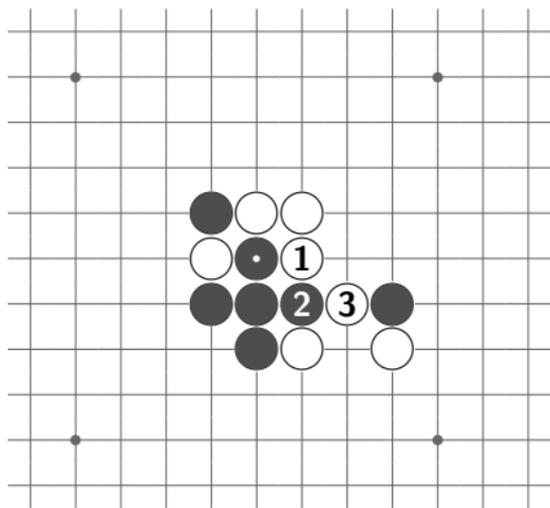
三の両側に四三を残す勝ち方です。
※ 初手で A は、白 a で勝てません。
初手で 3 は三々の禁手です。



【問 3-3：白先】黒には四三の点があります。…。

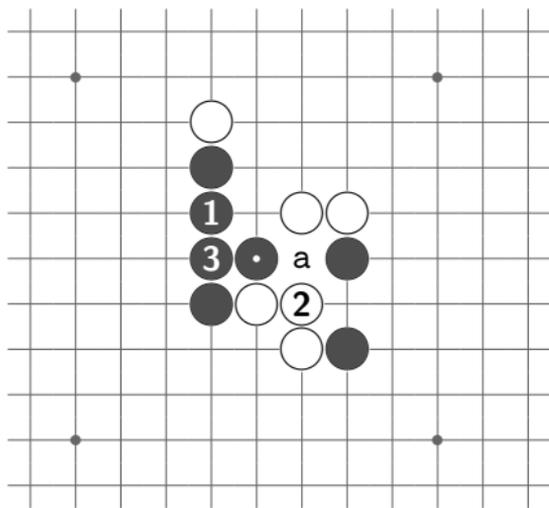


【問 3-4：黒先】三のヒキ方が問われています。



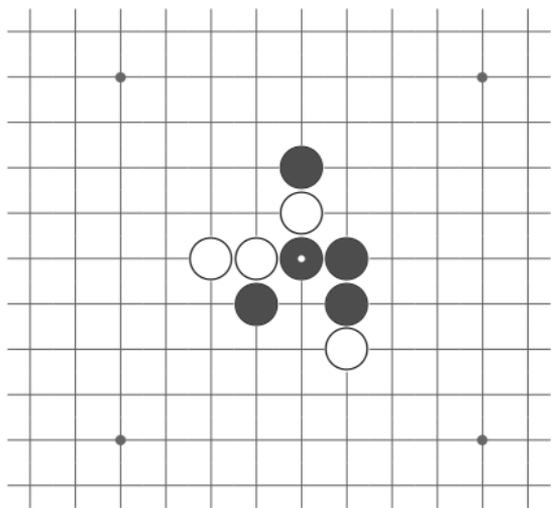
【問 3-3】白 1 と三々を作り、黒 2 で四三を作っても、白 3 と達四勝ちです。黒 2 が 3 なら白 2 の達四です。

せっかくの黒の四ですが、防ぎに役立っていません。

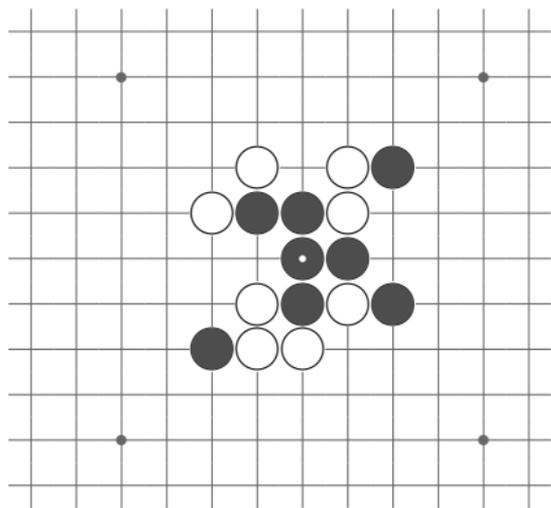


【問 3-4】黒 1 の三後、3 の四三勝ち。白 2 で他の防ぎも同じ。

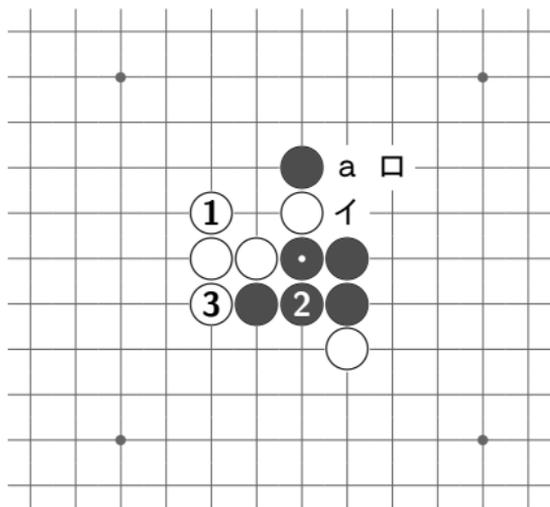
※ 初手で 3 は白 a と止められ、黒 1 の四三はノラれて勝てません。



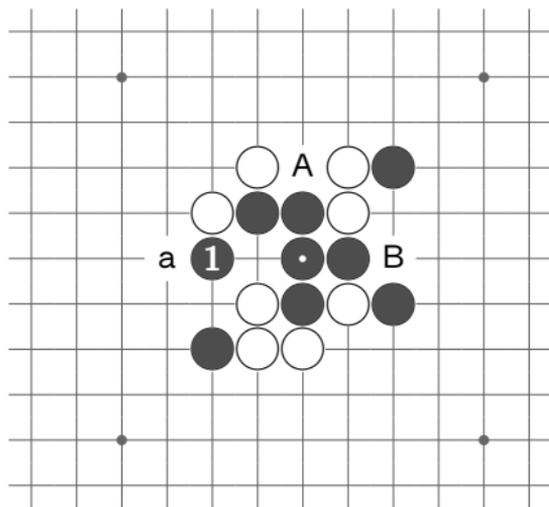
【問 3-5：白先】黒も良い形になっています。



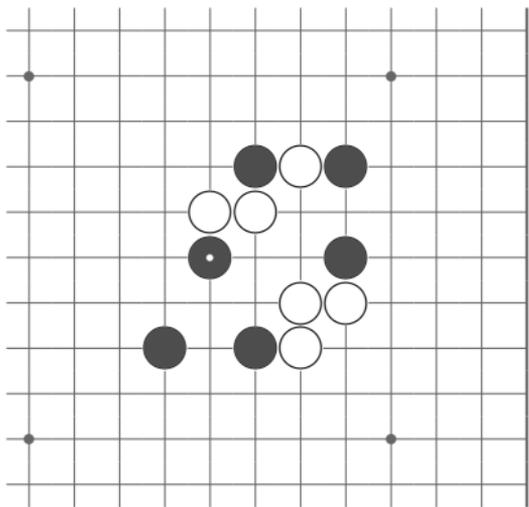
【問 3-6：黒先】綺麗に決まります。



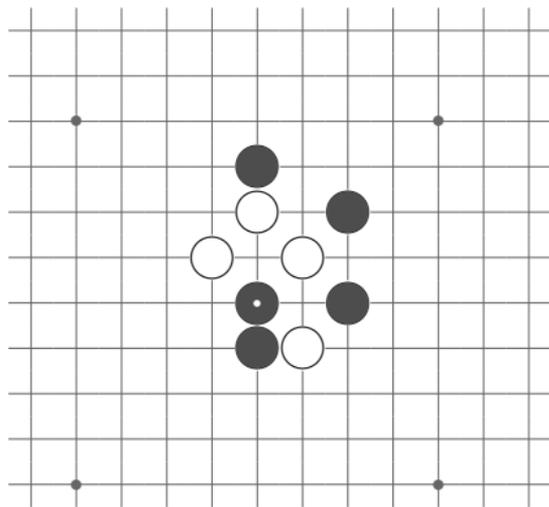
【問 3-5】白 1 と三をヒキ、黒 2 の三でも白 3 で三々勝ち。黒 2 で他にも同じ。
 ※ 初手で 3 は黒 a と止められ、黒にイの四三やイ・ロの四追いが残り、失敗です。



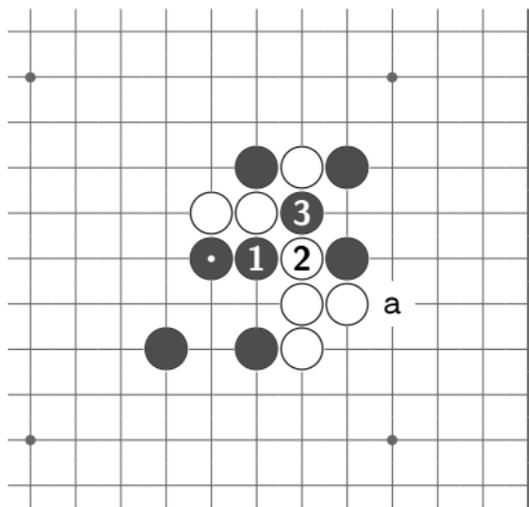
【問 3-6】黒 1 後、A または B の四三勝ち。
 # A の四三をノリ手で防ぐ白 a ですが、この時は B で四三となります。



【問 3-7：黒先】白には四三の点が2ヶ所あります。



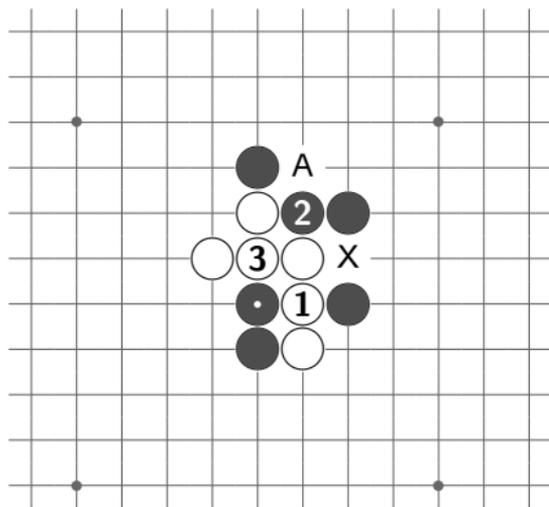
【問 3-8：白先】禁手を狙います。



【問 3-7】黒 1 の三後、3 の四三勝ち。
白 2 で他の防ぎも同じ。

白 2 で四三ができますが、その四
を止めて四三を作ります。

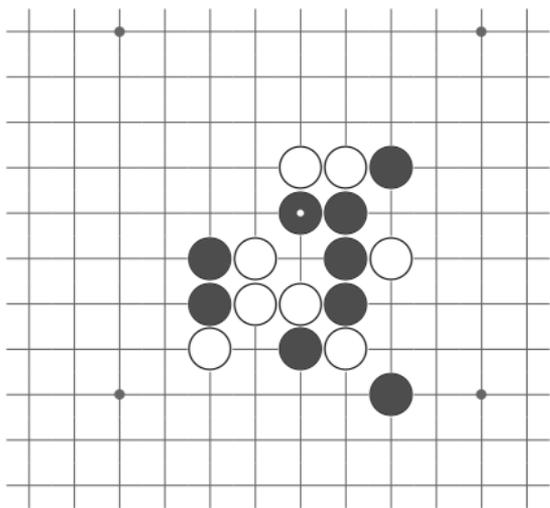
※ 初手で 3 は白 a と止められ、次の 1
での四三はノラれていて勝てません。



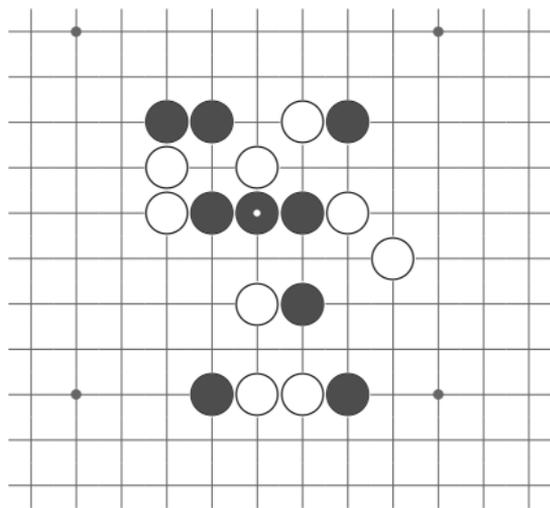
【問 3-8】白 3 にて X 点三々禁。黒 2
反対は、A の四三勝ち。

禁手の匂いに気付くと簡単です。

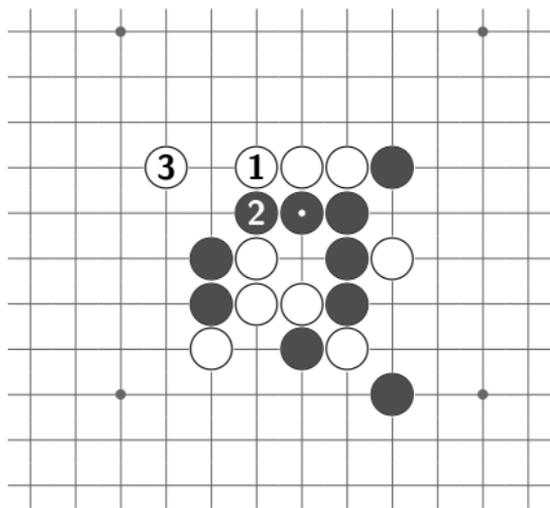
※ 初手の三で黒に X 点や 1 点に打た
せても三々の禁点ができますが、黒に
三ができてしまいますので失敗です。



【問 3-9：白先】‘四・四三’ではありません。



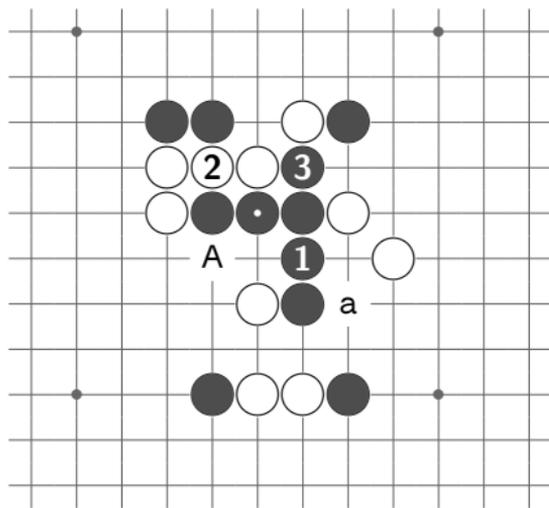
【問 3-10：黒先】三々は禁手ですが…。



【問 3-9】白 3 の四々勝ち。黒 2 で他にも同じ。

※ 初手を 3 から始めるとノラれます。

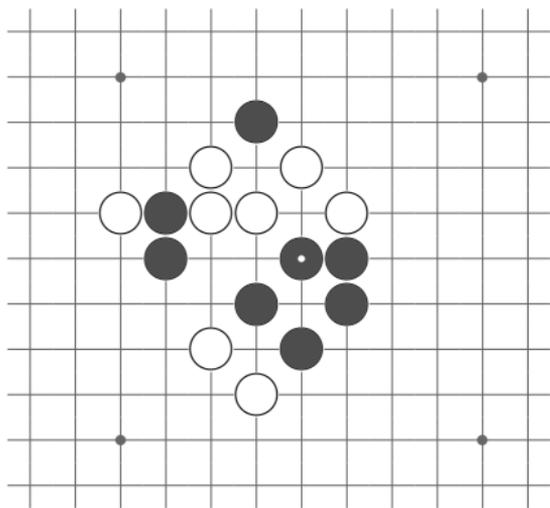
『四々にノリ手なし』と言います。



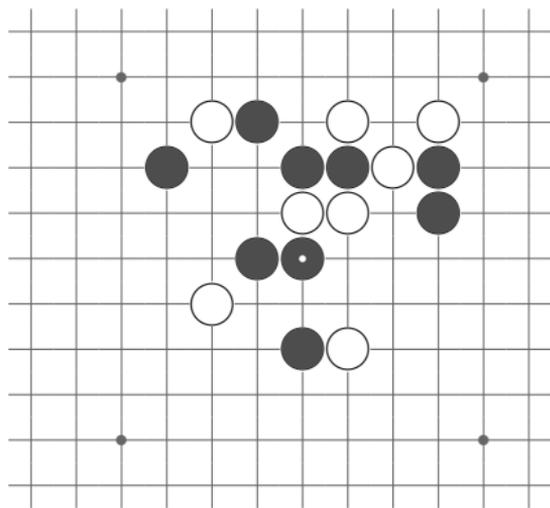
【問 3-10】黒 3 の四三勝ち。白 2 で a は 2 の四三勝ち。

問題図で 2 や A は三々の禁点ですが、1 の点は縦が夏止めの形のため否三々です。

※ 初手で 3 は、白 A と止められます。

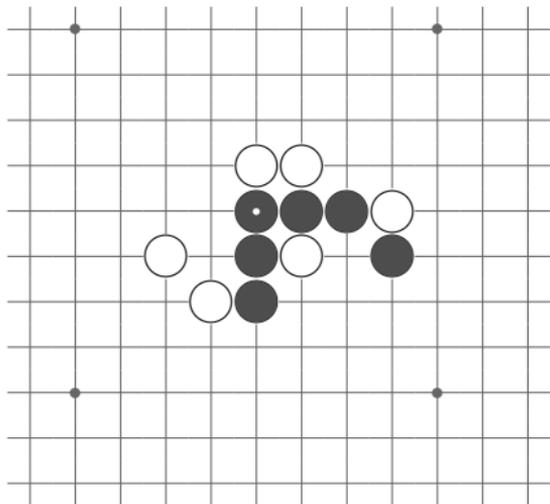


【問 3-11：黒先】白の四三の点と黒の四々の禁点とが共通です。

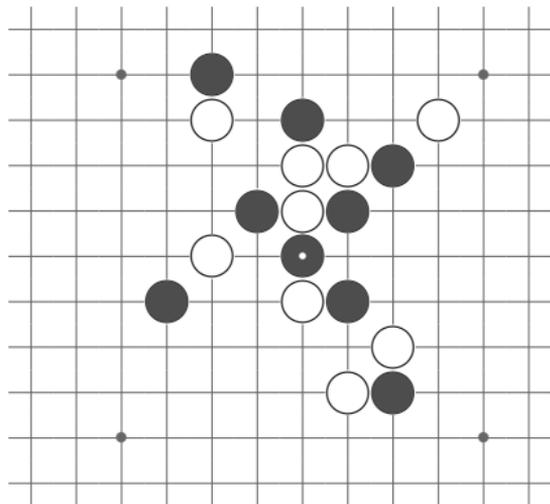


【問 3-12：白先】黒の四三への対応、そして白の攻めに対する黒の防ぎ方への対応が必要です。

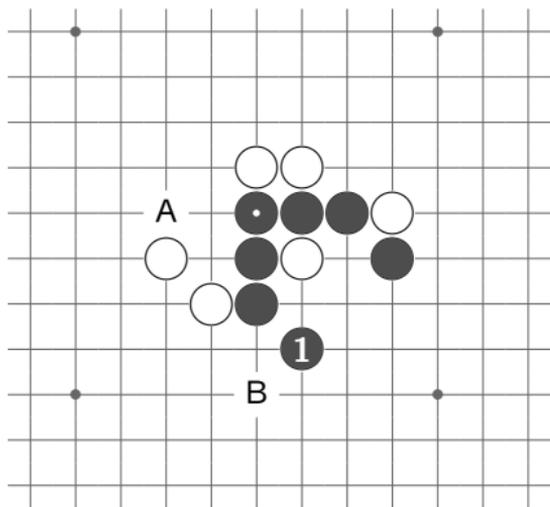
4 両ミセ手を打ち次に勝ち形を作る詰連珠



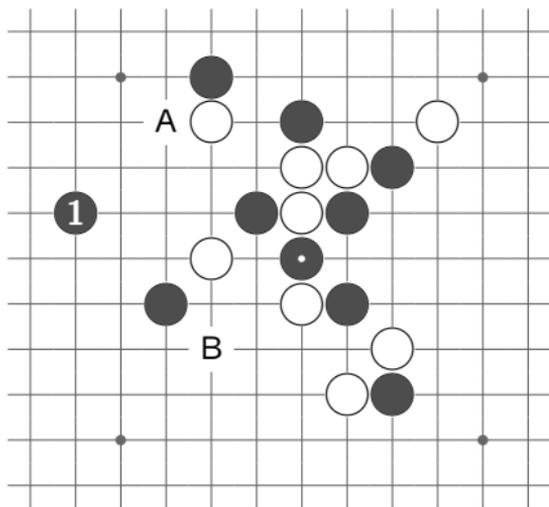
【問 4-1：黒先】四から始めるのは失敗です。



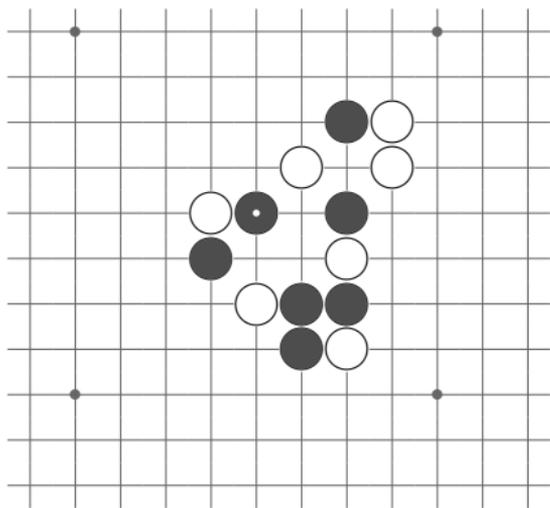
【問 4-2：黒先】盤面を広く見ます。



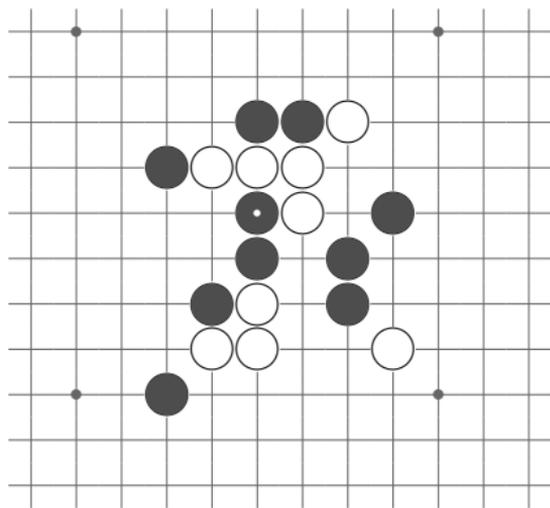
【問 4-1】黒 1 と両ミセを打ち、白 2 がどこでも A か B に打っての四三勝ち。
 ※ 初手で A や B に四を打つと三ができてしまいます。



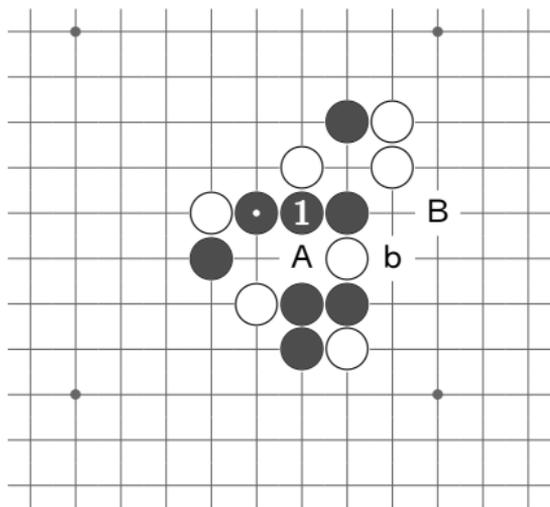
【問 4-2】黒 1 と両ミセを打ち、白 2 がどこでも A か B に打っての四三勝ち。
 ※ 初手で四を打つと勝てなくなります。



【問 4-3：黒先】両ミセを打てる場所を捜します。



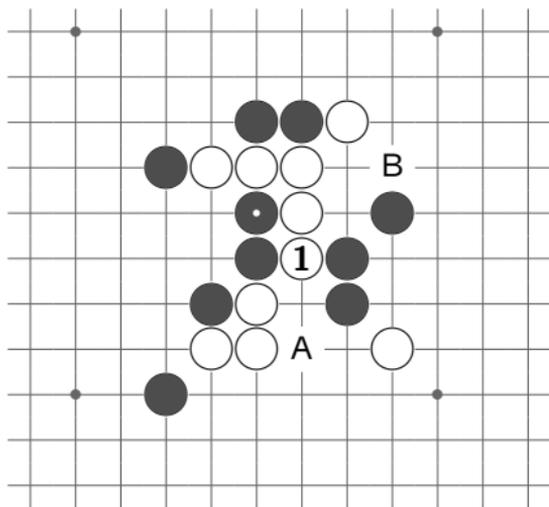
【問 4-4：白先】好手の初手で決まります。



【問 4-3】黒 1 と両ミセを打ち、白 2 がどこでも A か B に打っての四三勝ち。

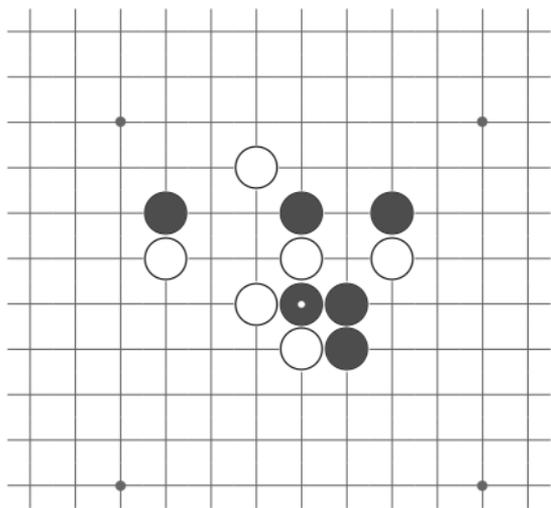
※ 初手で B は白 b と止められて勝てなくなります。

もとの局面に剣先がなくても両ミセを打つことのできる例です。

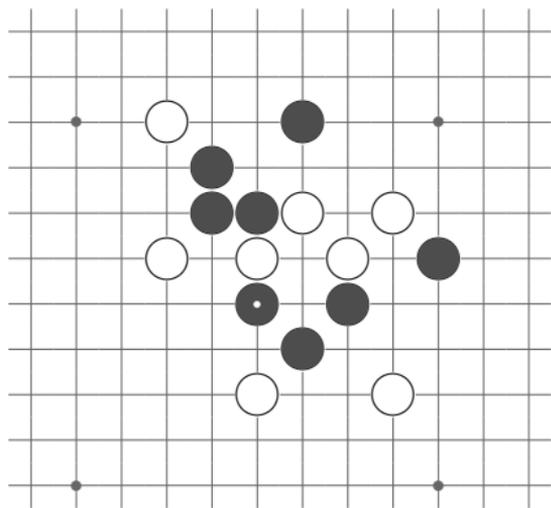


【問 4-4】白 1 後、A または B の四々勝ち。

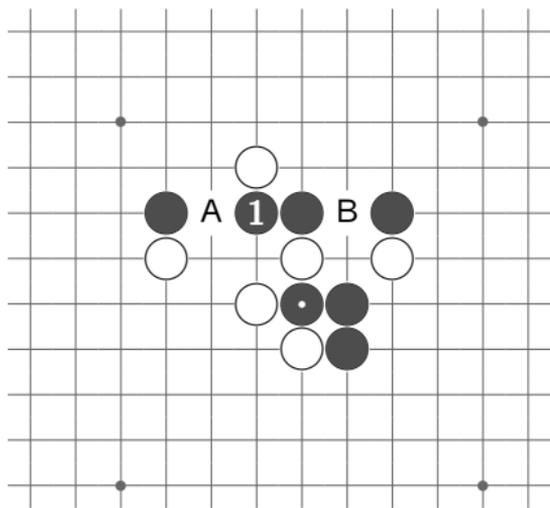
※ 初手で四を打つと勝てなくなります。



【問 4-5：黒先】黒にとって長連筋は
好ましいものではありませんが…。

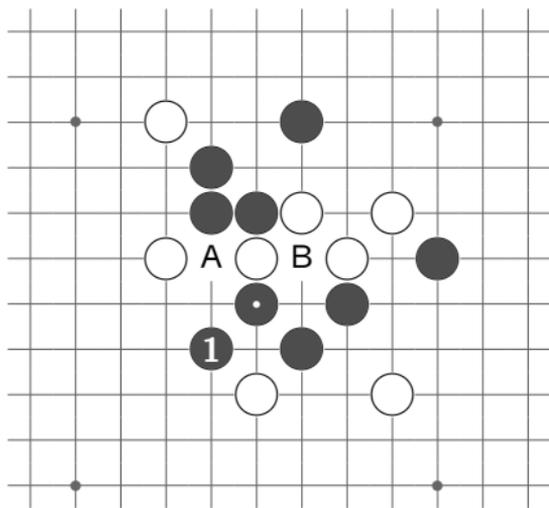


【問 4-6：黒先】三々禁を狙われてい
ます。



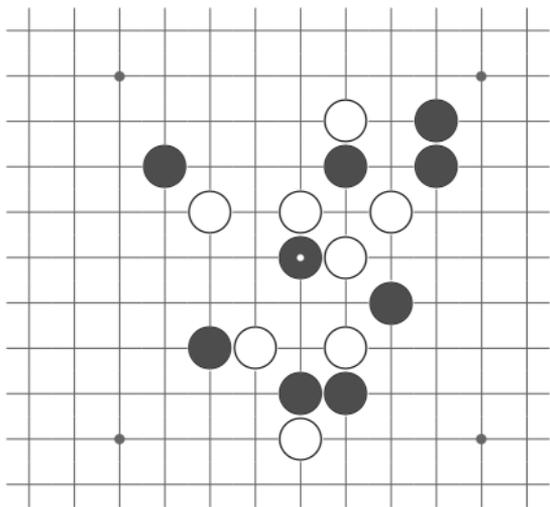
【問 4-5】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

長連筋内の同一直線上に四三の点を作っています。

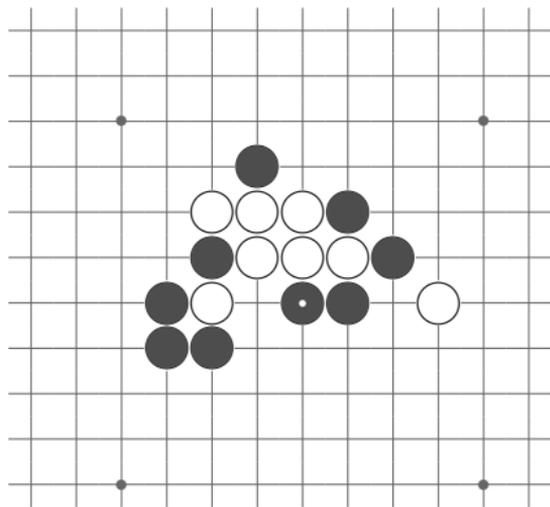


【問 4-6】黒 1 と両ミセを打ち、白 2 がどこでも A か B に打っての四三勝ち。

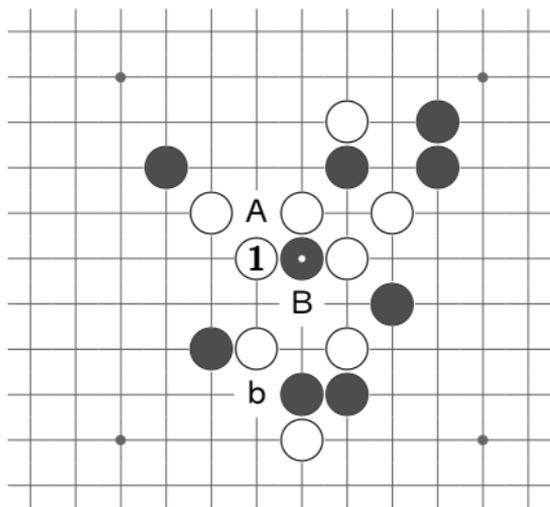
白は A にも B にも四ノビできますが、黒勝ちを防げません。



【問 4-7：白先】四追いではありません。



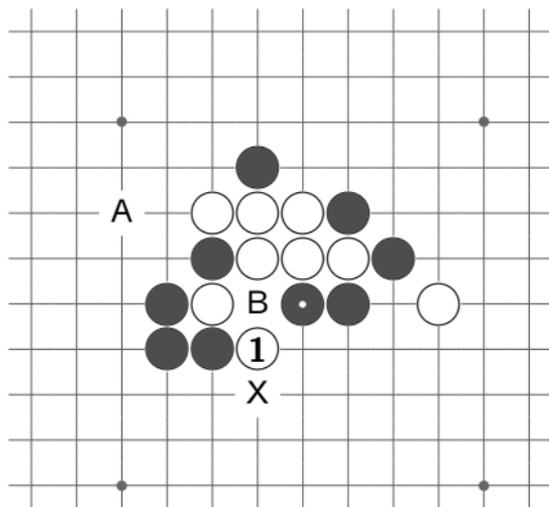
【問 4-8：白先】両にらみの手で勝ちます。



【問 4-7】白 1 として、A の四三勝ち、
または B の四々勝ち。

※ A・B・1 の四追いはノラれます。

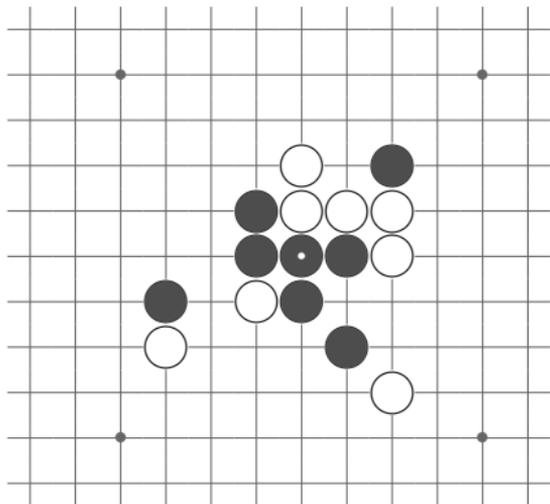
黒 b としても四々を防ぐことはできません。



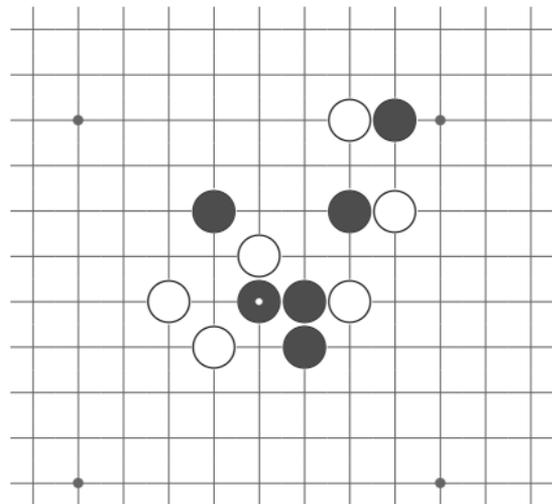
【問 4-8】白 1 は、A での四三と B での X 点三々禁を見合いにしており、黒に両方を防ぐ手はありません。

異なる勝ち方を見合いにする“両ミセ”です。

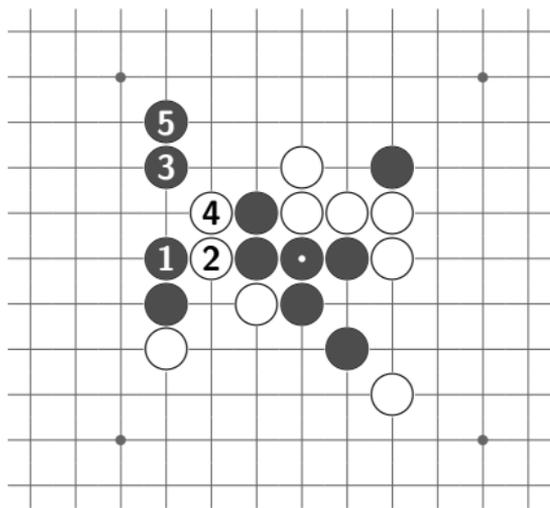
5 三か四を2回打った次に勝ち形を作る詰連珠



【問 5-1：黒先】白には三があります。

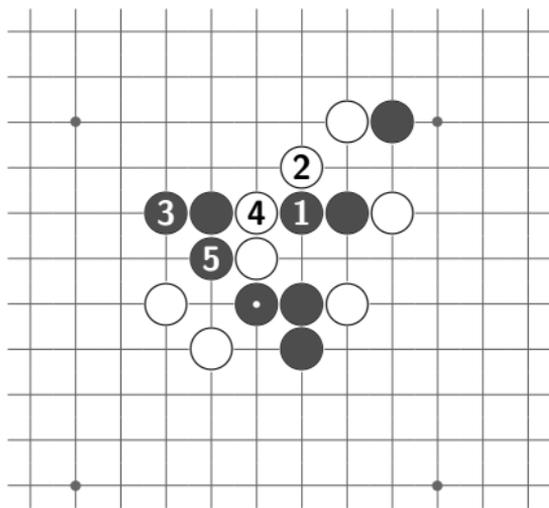


【問 5-2：黒先】白の防ぎにも注意。



【問 5-1】黒 1・3 と四追いで打ち、黒 5 の四三勝ち。

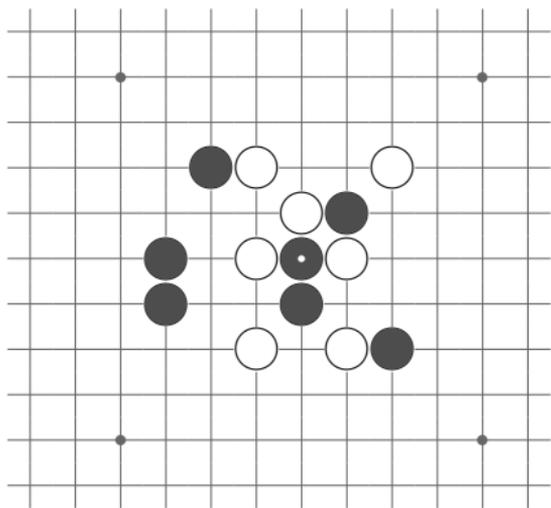
1 と 3 の順は変えても構いません。



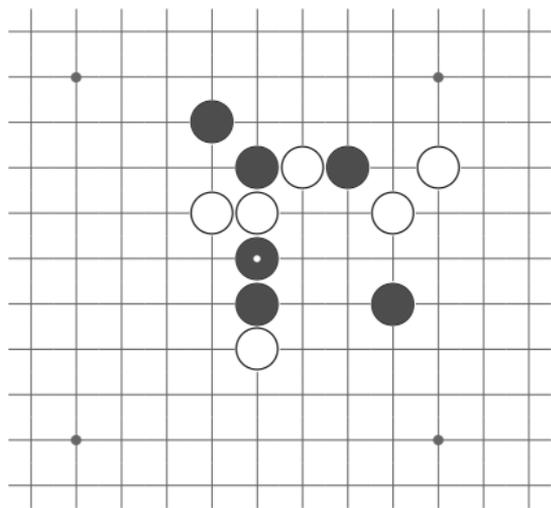
【問 5-2】黒 3 の四三を白 4 でノリますが、黒 5 のノリ切り達四勝ち。白 2 が他は、3 の四三勝ち。

白 2 の防ぎに気付いて下さい。

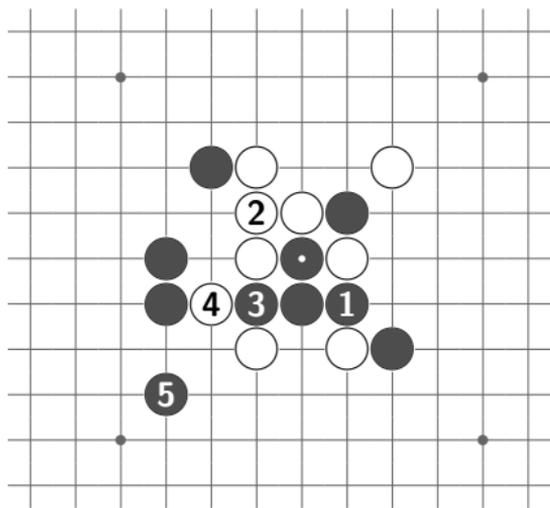
※ 3 の三から始めると勝てません。



【問 5-3：黒先】白には三があります。

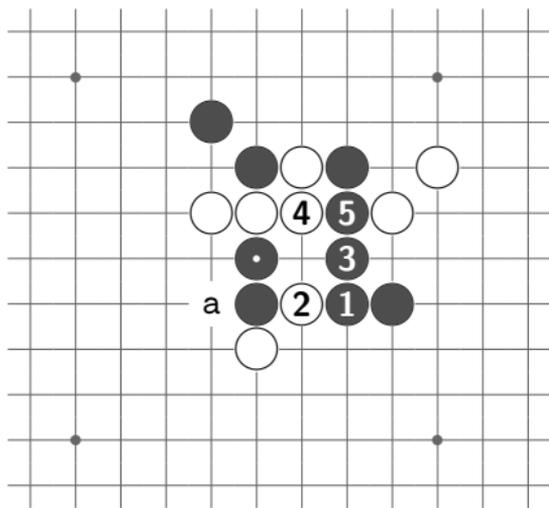


【問 5-4：黒先】白も良い形です。



【問 5-3】黒 1・3 と四ノビ後に 5 の四三勝ち。

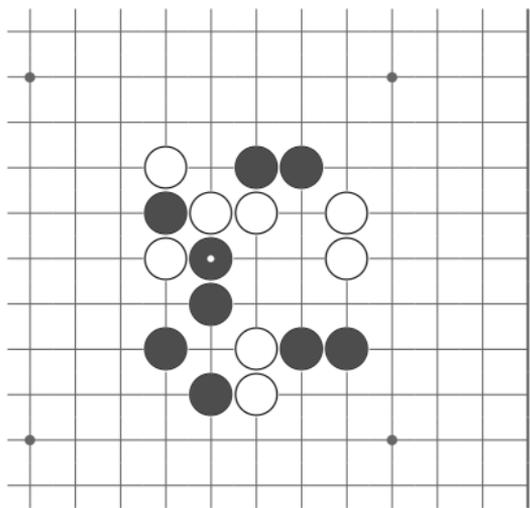
白 2 の四にも四追いを続け、白 4 で 2 個目の三ができますが、構わず四三を作ります。



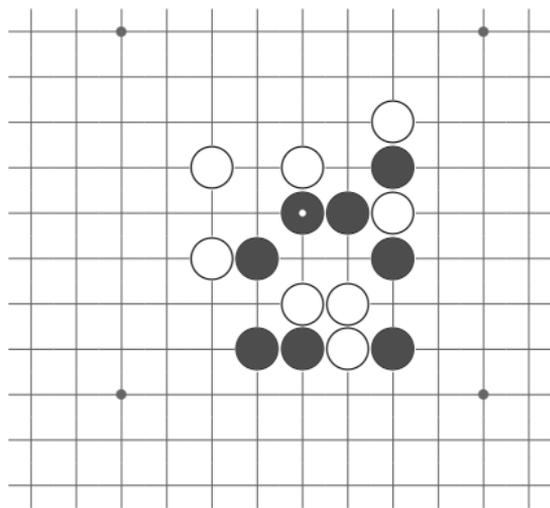
【問 5-4】黒 1 の三後、自然に 5 までノリ切り達四勝ち。白 2 で他も同じ。

白も 4 で四三ですが、黒は 5 で達四です。

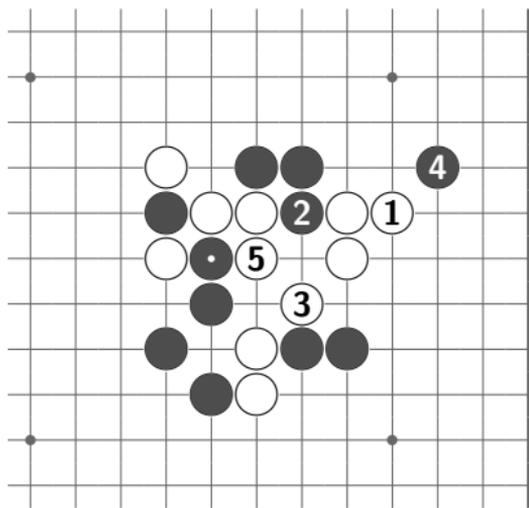
※ 初手で 4 の四三は白 3・黒 2・白 a で、2 は白 4・黒 5・白 1 で失敗です。



【問 5-5：白先】白には四三の点がありますが、黒の三があつてノラれています。

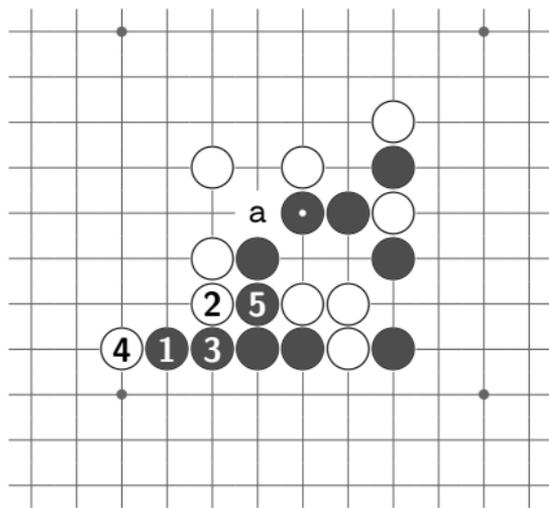


【問 5-6：黒先】『三々は四三の卵』と言います。



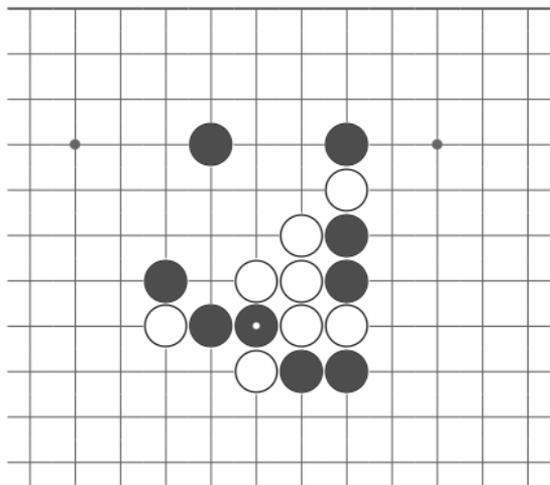
【問 5-5】白 1・3 の四追い後、5 の四々勝ち。

四追いで四々なら三やノリ手があっても平気です。

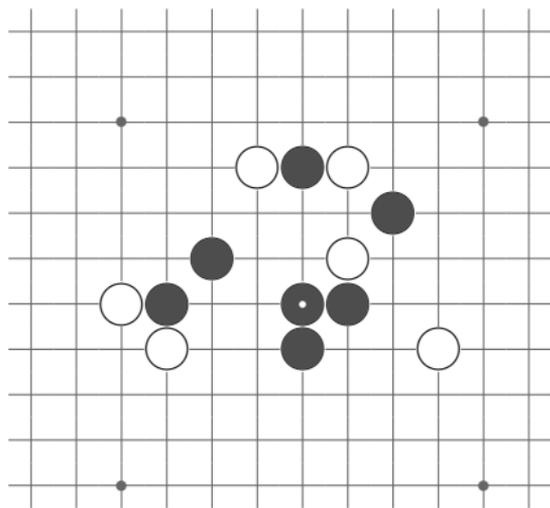


【問 5-6】黒 1 の三後、3・5 の四追いで四三勝ち。白 2 で他も同じ。

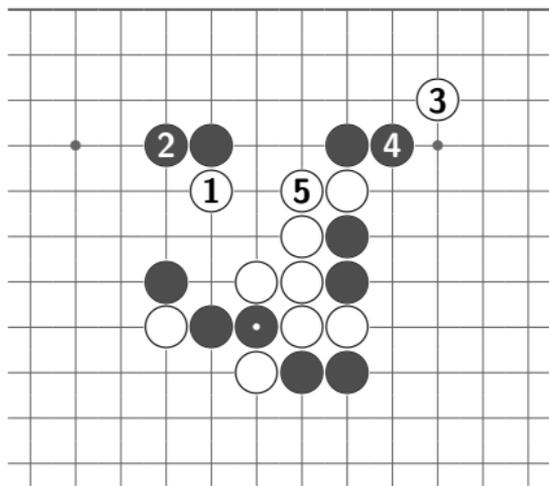
※ 初手で 3 の両ミセは、白 a と防がれます。



【問 5-7：白先】三・四三はノリ手で防がれます。

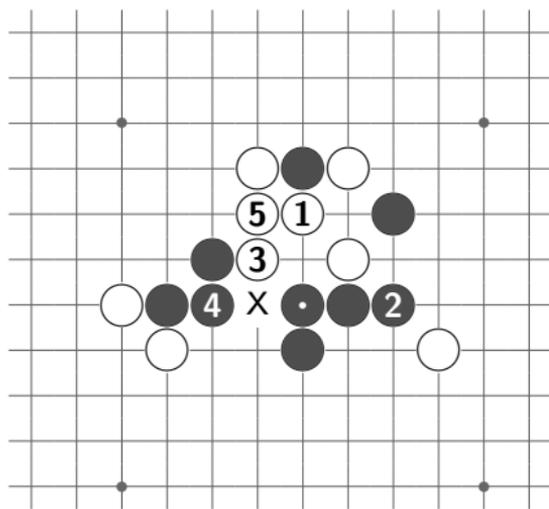


【問 5-8：白先】黒は三を作り四三を狙っています。



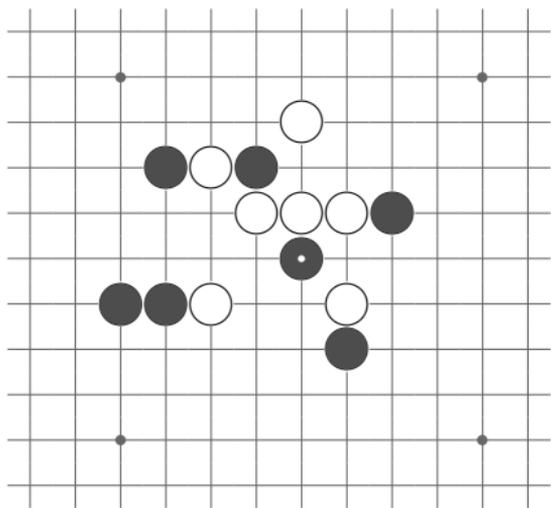
【問 5-7】白 5 の四三勝ち。黒 2 で他は、直ちに 5 の四三勝ち。

黒 2 でノリ手防ぎの形を作りますが、白 3 で黒 4 と打たせ長連筋にしてノリ手を解除します。

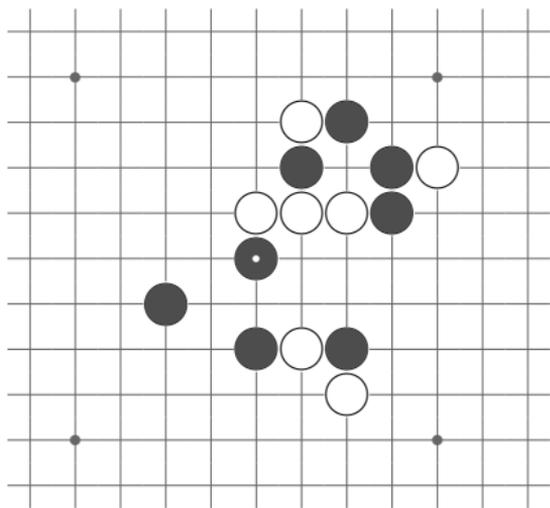


【問 5-8】白 1・3 と四ノビし、黒の三を止める白 5 にて X 点長連禁。

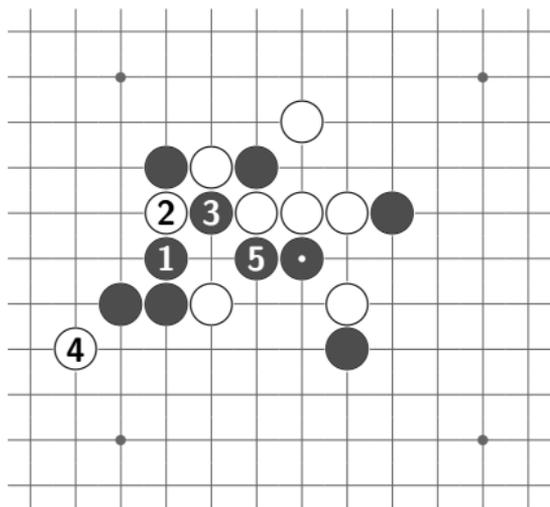
四ノビの効果で四三の点を長連の禁点にします。



【問 5-9：黒先】白の四三をかいくぐります。



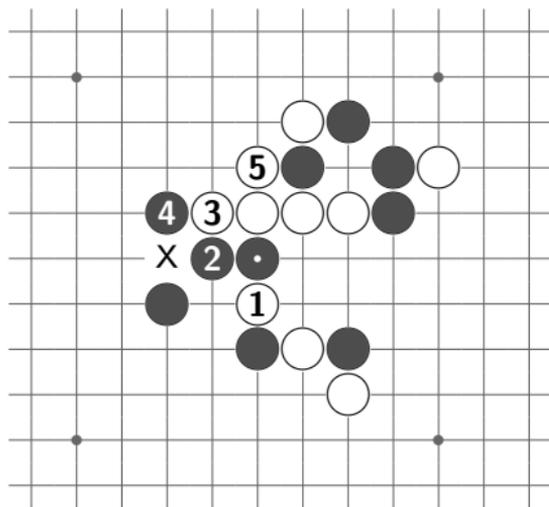
【問 5-10：白先】禁手を狙います。



【問 5-9】黒 1 の三後、3・5 の四追いで四三勝ち。白 2 で他にも同じ。

黒 1 は白の四三をノル好手の三。

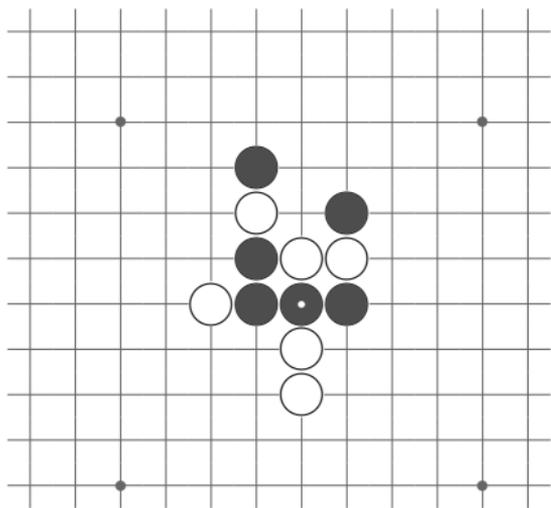
※ 初手で 3 や 2 は、白 1 と急所に防がれます。



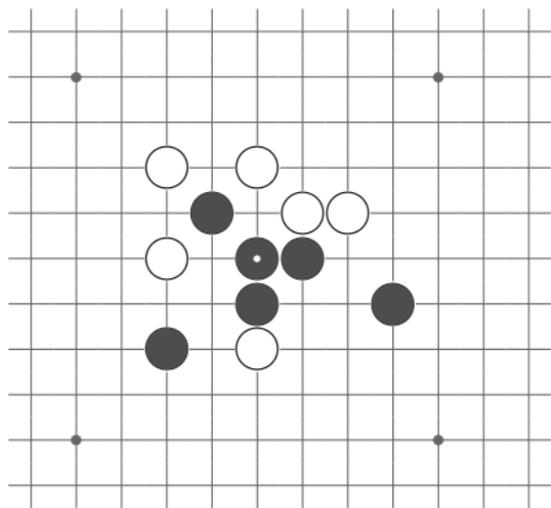
【問 5-10】白 5 にて X 点三々禁。

黒 2 反対は、4 の四々勝ち。

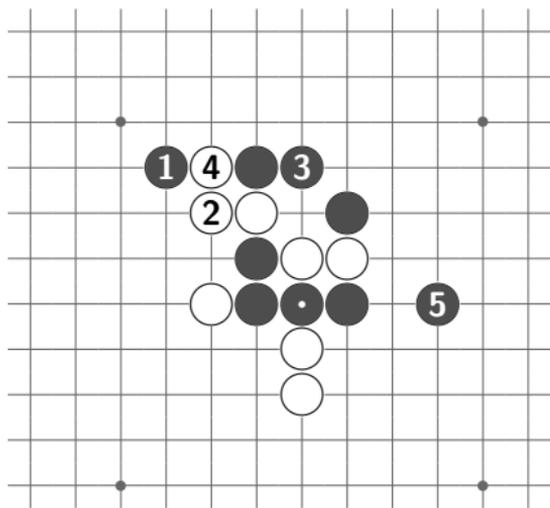
※ 先に四ノビすると勝てません。



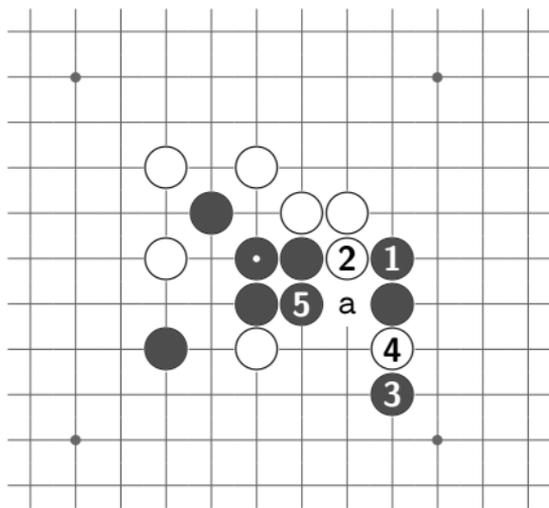
【問 5-11：黒先】四三ができる場所の見当をつけて…。



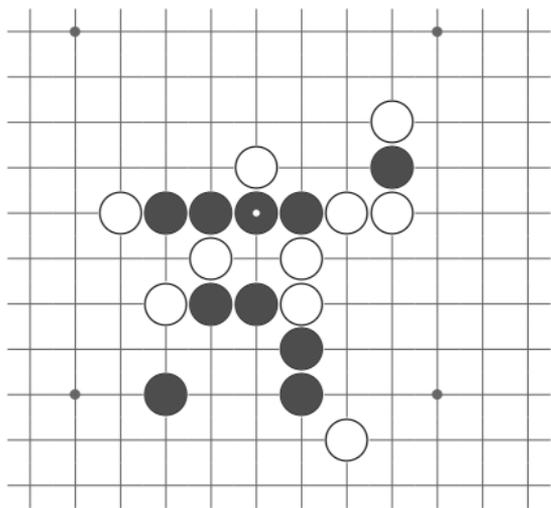
【問 5-12：黒先】四三の点ができるように進めていきます。



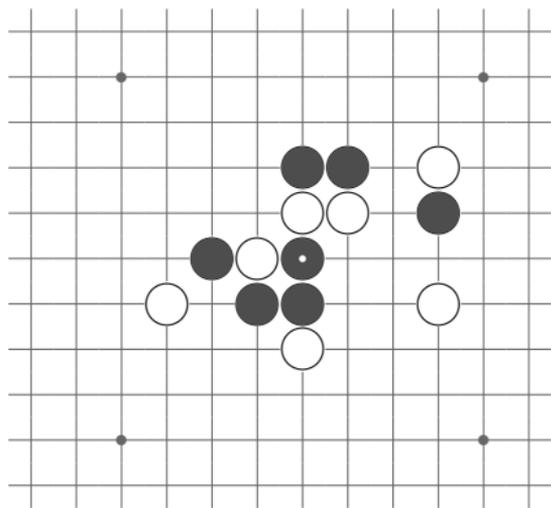
【問 5-11】 黒 1・3 と三をヒキ、5 の
四三勝ち。白 2・4 で他の防ぎも同じ。
トビ三の練習と言える問題でした。



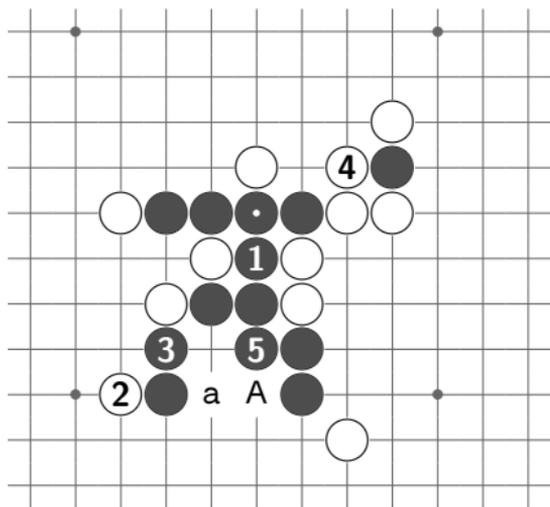
【問 5-12】 黒 1・3 と三をヒキ、5 の
四三勝ち。白 2・4 で他の防ぎも同じ。
初手あるいは 3 で 5 に打つと、白
a と止められ、ノリ手のため勝てなく
なります。



【問 5-13 : 黒先】 防ぎ方にも注意。



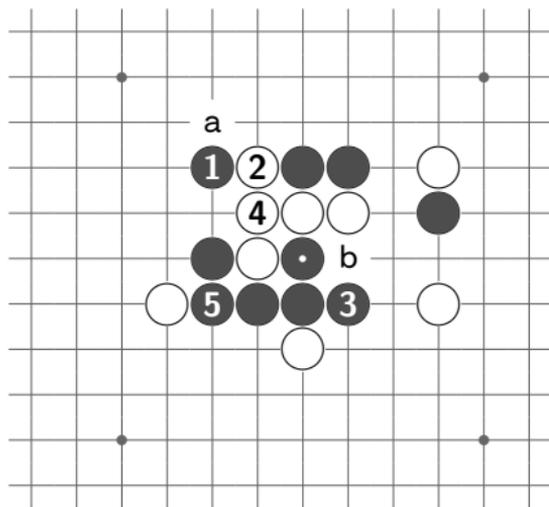
【問 5-14 : 黒先】 三を 2 回ヒイて…。



【問 5-13】 黒 1 後、3・5 の四追いで四三勝ち。白 2 で他は、A の四三勝ち。

白 2 の“夏止め”が強防です。

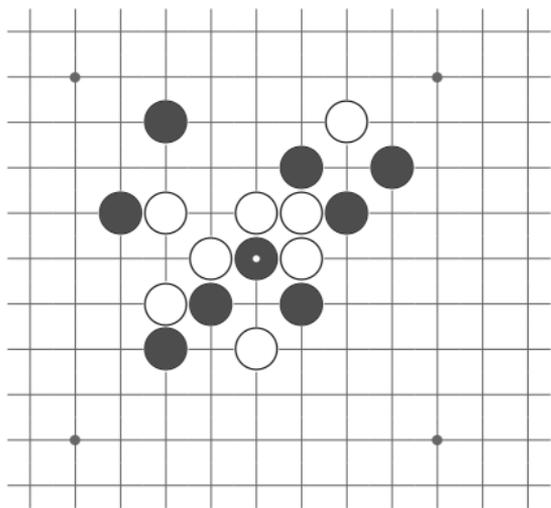
※ 初手で A は、白 a と止められます。



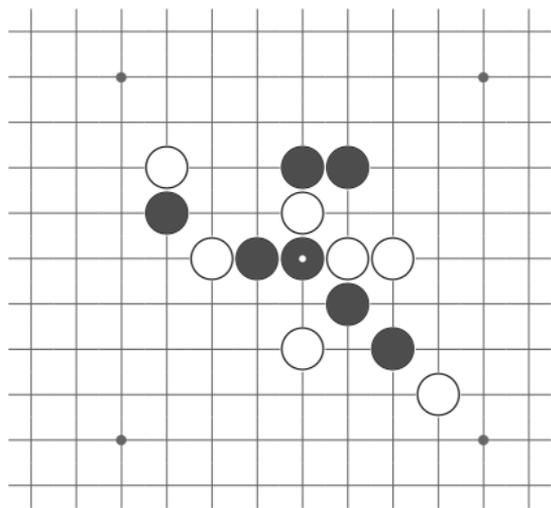
【問 5-14】 黒 1・3 と三をヒキ、5 の四三勝ち。白 2・4 で他も同じ。

黒 3 の横は夏止めで三でなく、3 は禁手ではありません。

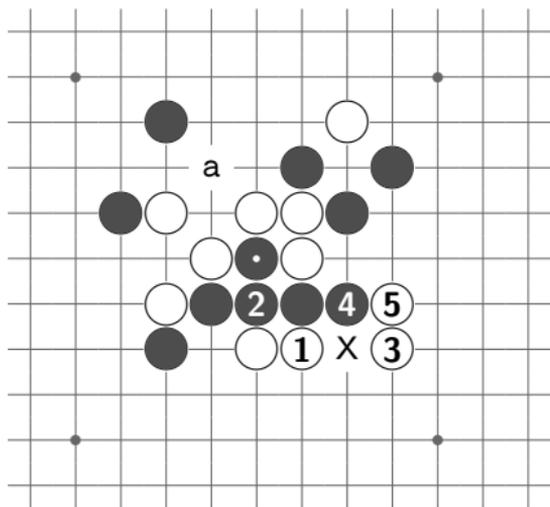
※ 黒 3 で 5 は、白 a・黒 b・白 4 となり、勝てません。



【問 5-15：白先】最後は禁手になります。



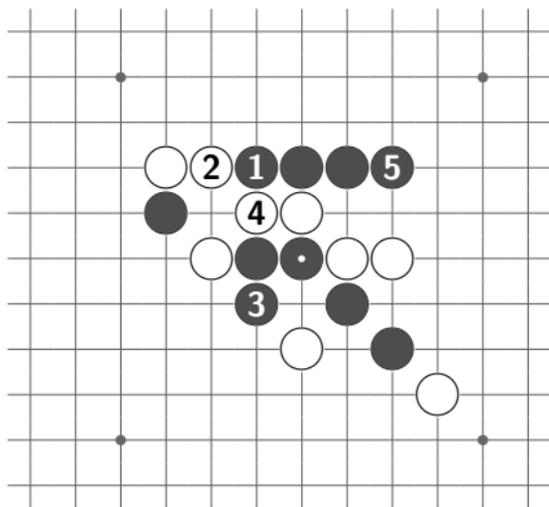
【問 5-16：黒先】読み切って三をヒキます。



【問 5-15】白 1・3 で三々を作ります。
 黒 4 の四で一方の三を止めた形が X
 点三々禁になっています。

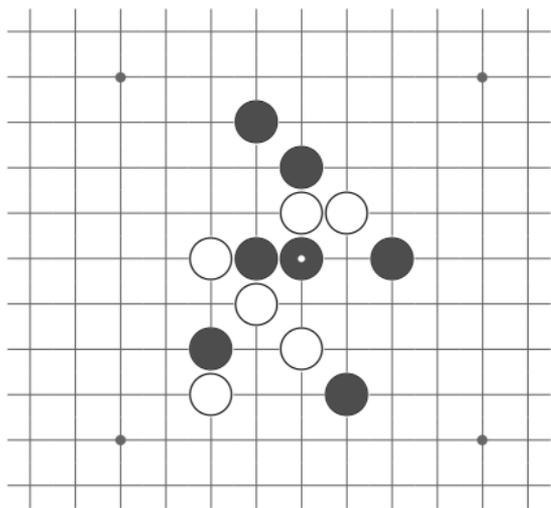
黒の剣先を気にすると禁点が見え
 にくくなる問題です。

※ 初手で 3 は、黒 a と止められます。

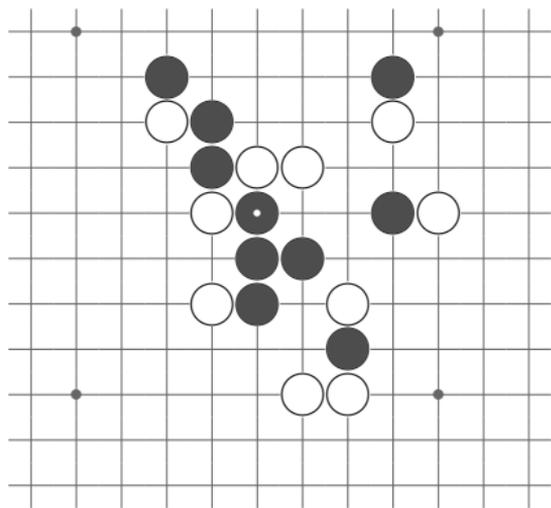


【問 5-16】黒 1・3 と三をヒキ、5 の四
 三勝ち。白 2 で他は、4 の四三勝ち。

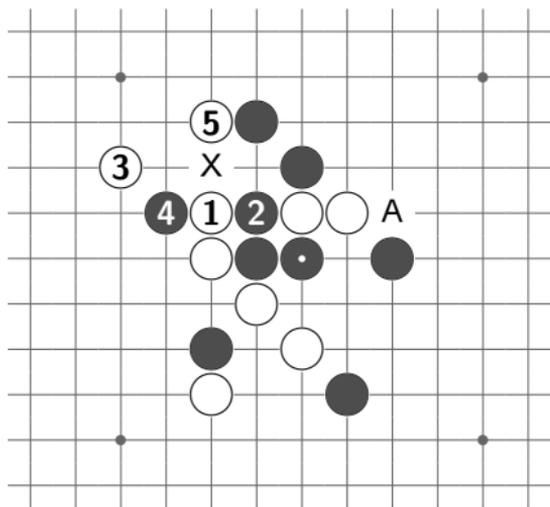
白 2 を強要して右に剣先を残す黒
 1 の三が好手です。



【問 5-17：白先】どこかで禁手にします。

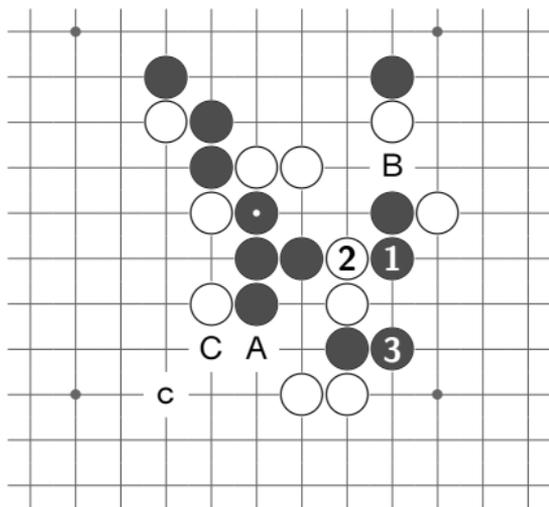


【問 5-18：黒先】うまく三をヒイていきます。



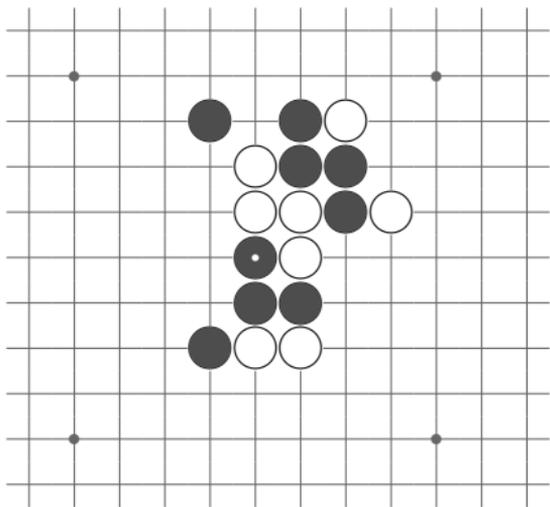
【問 5-17】白 5 で X 点三々禁。黒 2 で 4 は白 A の四ノビで 2 に打たせ、同様。黒 2 で A は、4 の四々勝ち。

2 点と 4 点に黒石を置かせるために、四ノビせずの白 1 が好手。

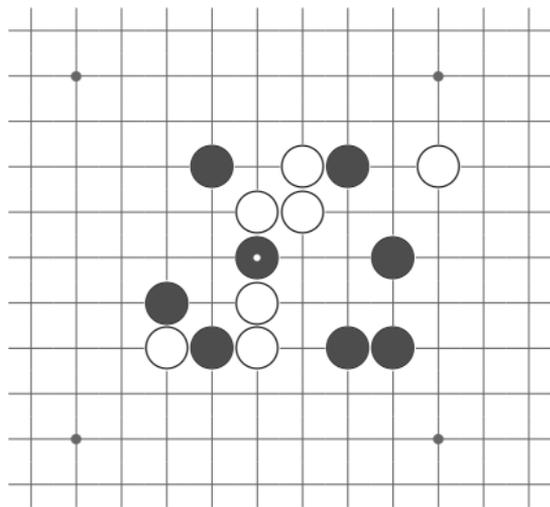


【問 5-18】黒 1・3 の三後、白の防ぎに応じて A または B の四三勝ち。白 2 で他は、2・A の四追いで四三勝ち。

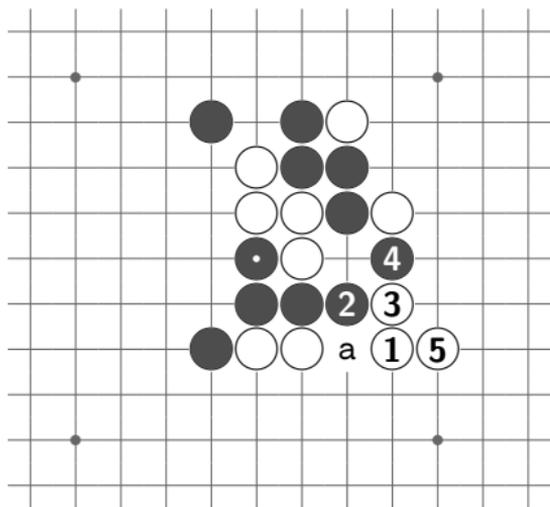
※ 初手で 2 は白 1、C は白 c、初手または 3 で B は白 C と止められます。



【問 5-19：白先】白だから勝ちにできます。



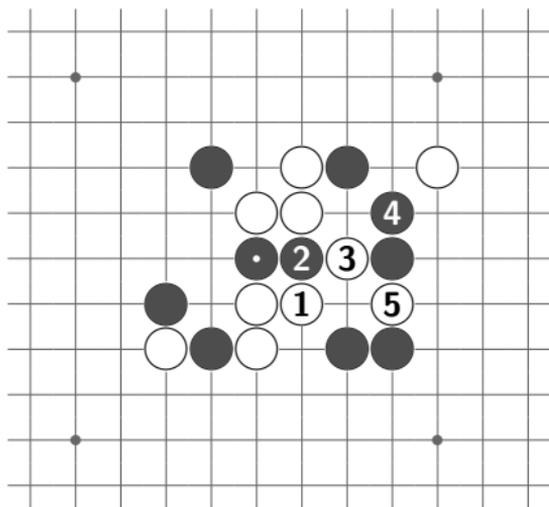
【問 5-20：白先】2種類の三・四三があります。



【問 5-19】白 1・3 と三をヒキ、5 の四々勝ち。黒の四ノビは無効。黒 2 で他は、2・5・3 の四追いで四三勝ち。

黒 2 の三で黒は a 点に四三を残しますが、白 3 はそれをノッています。

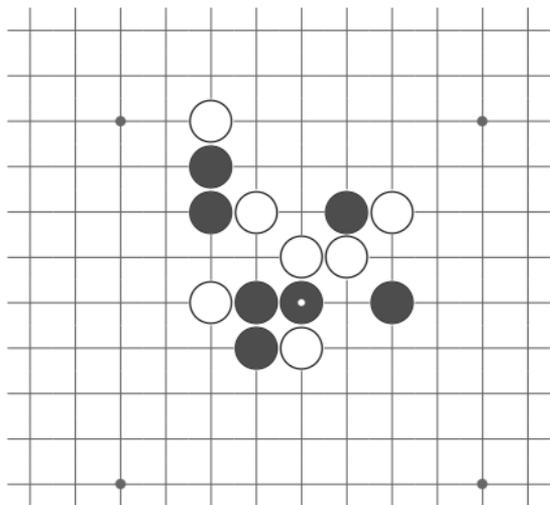
黒の剣先は役立ちません。



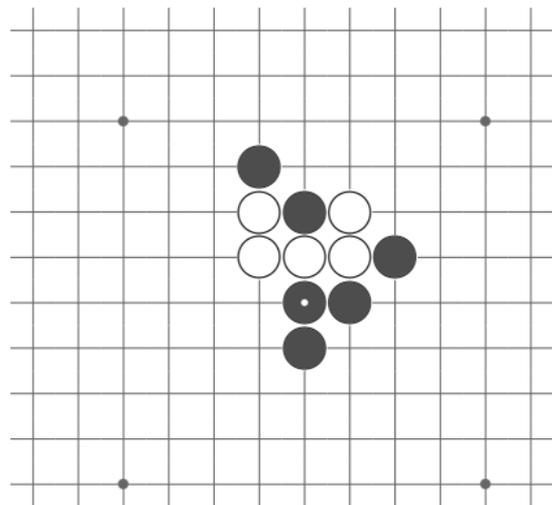
【問 5-20】白 5 にて三々勝ち。黒 2 で他は、白 4 の四三勝ち。

※ ‘1 後 4’ や ‘4 後 1’ はノラれます。

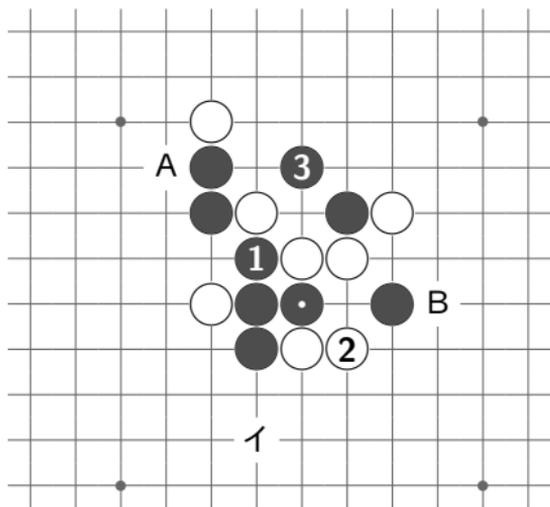
6 三か四とミセ手を絡めて勝ち形を作る詰連珠



【問 6-1：黒先】まずは三をヒキます。

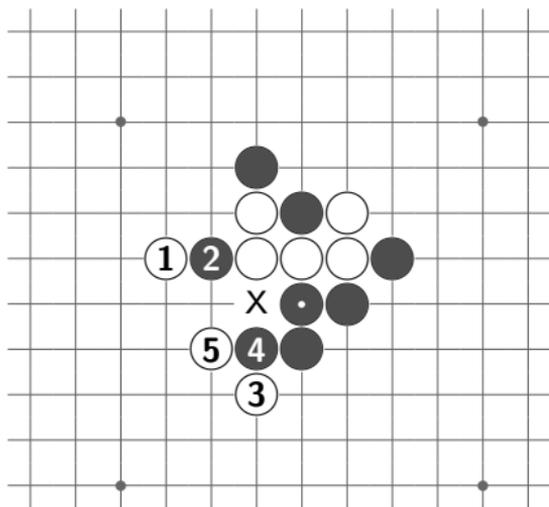


【問 6-2：白先】白は黒の三を止める必要があります。



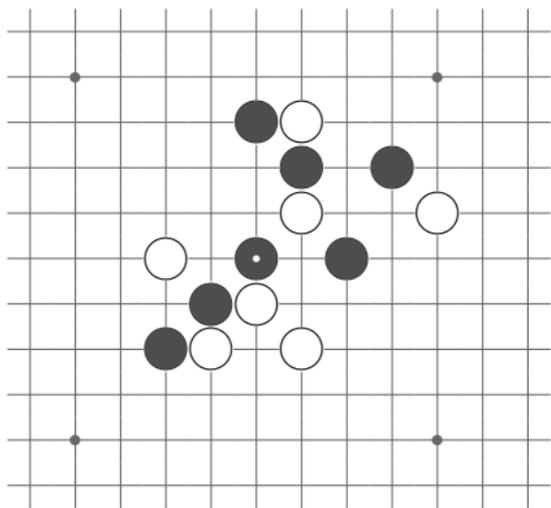
【問 6-1】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 反対は、2・イの四追いで四三勝ち。

途中で A または B の四ノビをしても同様の勝ちがありますが、四ノビは必要になった時点でします。

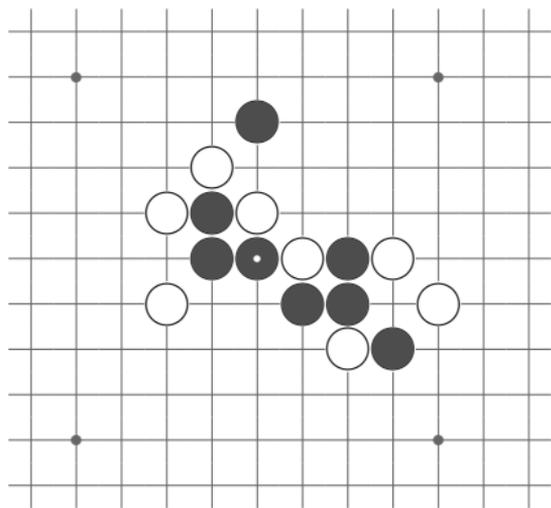


【問 6-2】白 1 と四ノビしてから 3 と黒の三を止めます。X 点が白の四三と黒の三々が重複しており、黒は両方を防ぐ手段がありません。

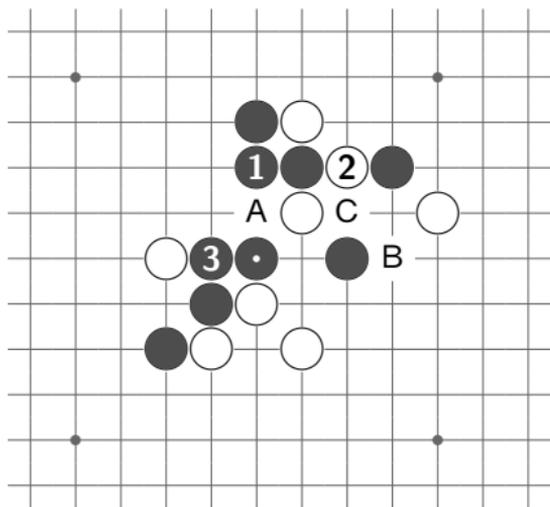
三を止める前に四ノビの必要性を検討すべき好例です。



【問 6-3：黒先】両ミセが決定打となります。

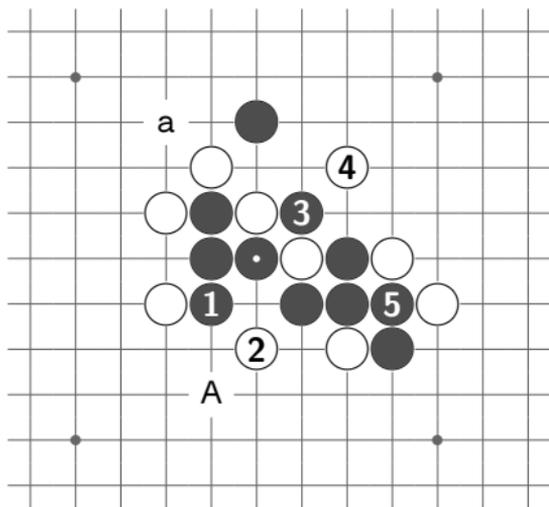


【問 6-4：黒先】三から始めると勝てません。



【問 6-3】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他にも同じ（‘C 後 2’ もあります）。

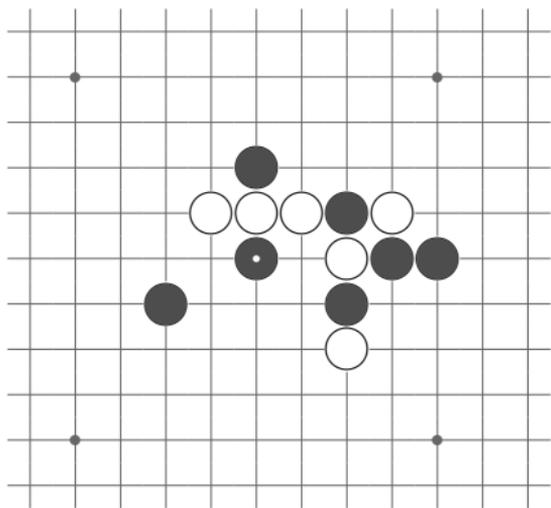
両ミセに使う剣先が問題図にないので、考えにくい問題です。



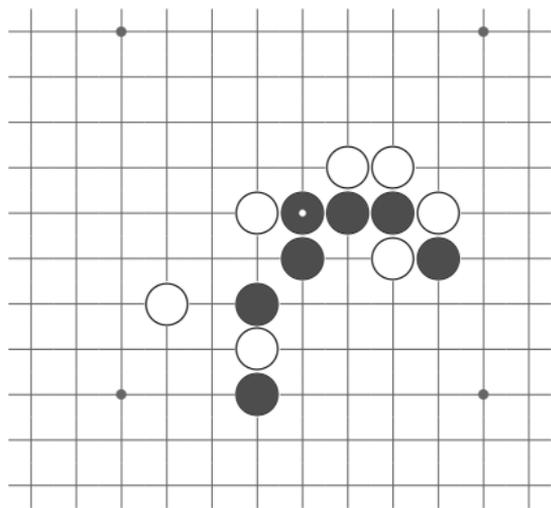
【問 6-4】黒 5 の四三勝ち。四三を止める白 2 で他にも同じ。

白 a の四ノビは役立ちません。

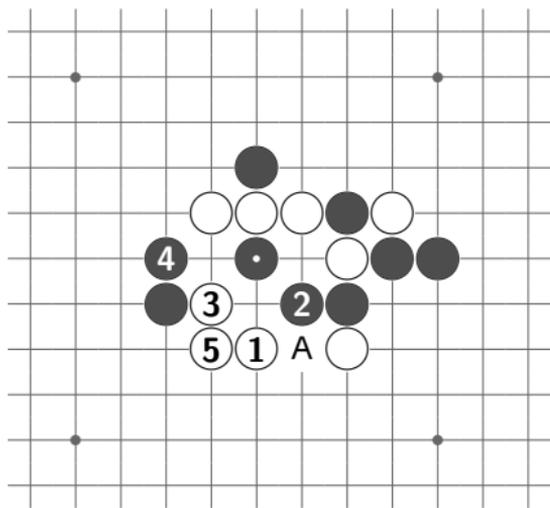
※ 黒 1 のミセ手が好手で、A から始めると勝てません。



【問 6-5：白先】白の権利を使います。

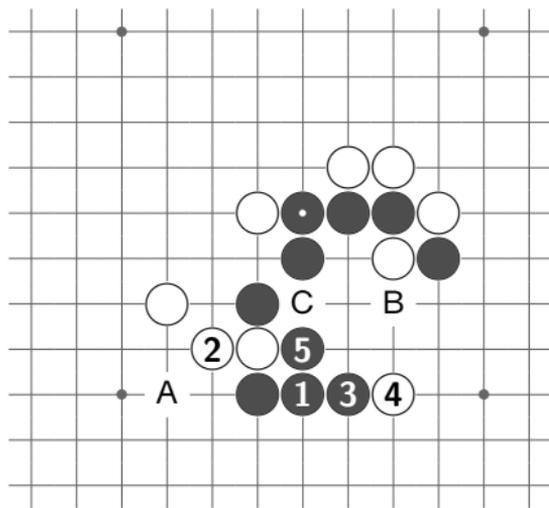


【問 6-6：黒先】ミセ手の威力で勝ちにします。



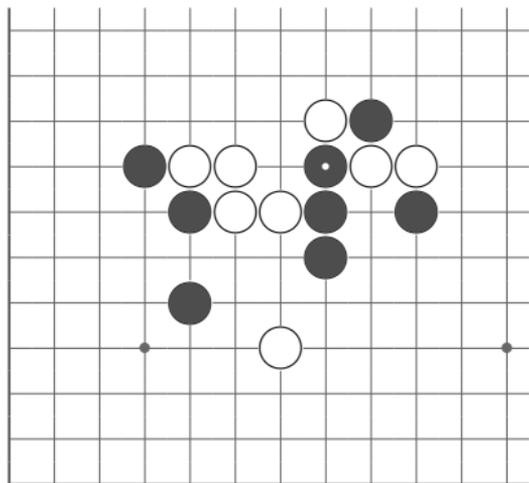
【問 6-5】白 5 の三々での勝ち。黒 2 で他は、A 後 2 の四三勝ち。

白 3 は、黒の四追いを防ぐとともに、四三と三々を見合いにする“準両ミセ”と言える手です。

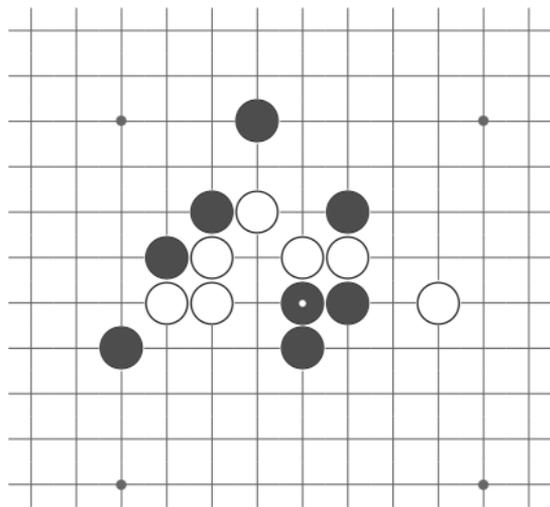


【問 6-6】黒 1 の A 点ミセ手に、白 2 なら 3 後 5 の四三勝ち。白 2 で他は、B 後 C の四三勝ち。

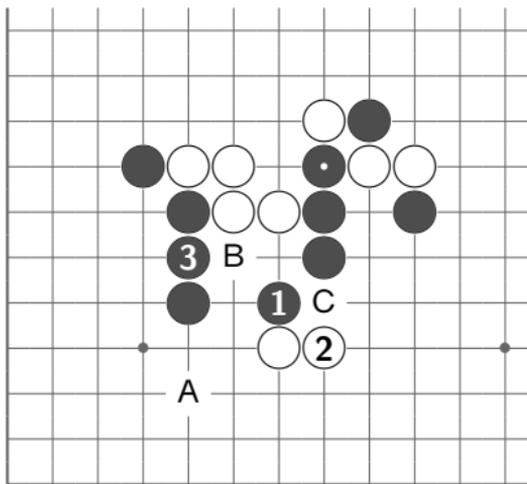
※ A の四ノビからだとなぜとも勝てません。



【問 6-7：黒先】両ミセで決めます。



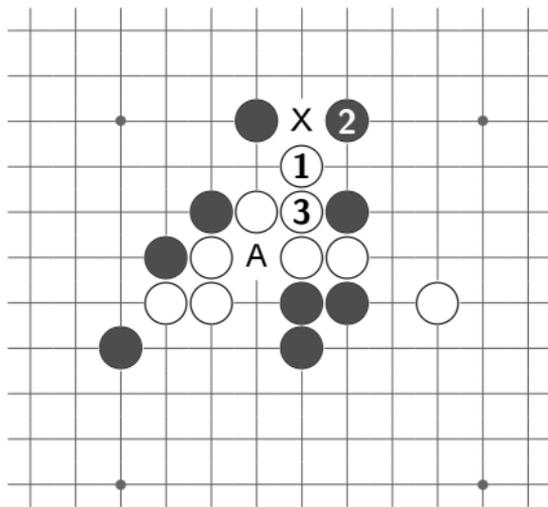
【問 6-8：白先】見合いにして決めます。



【問 6-7】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他は、C の四三勝ち。

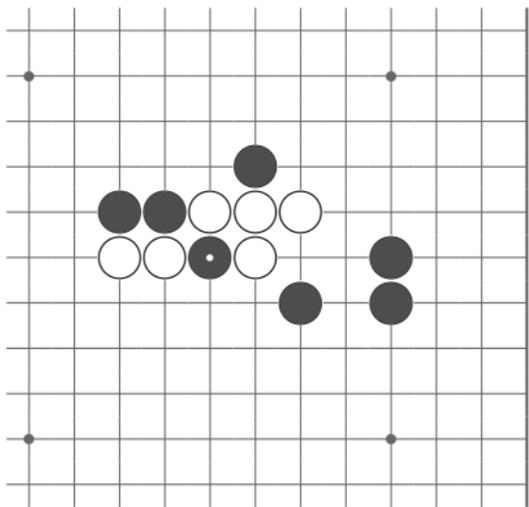
白 2 が好防ですが、次に両ミセ手があります。

※ 黒 3 で A は、ノリ手で失敗です。

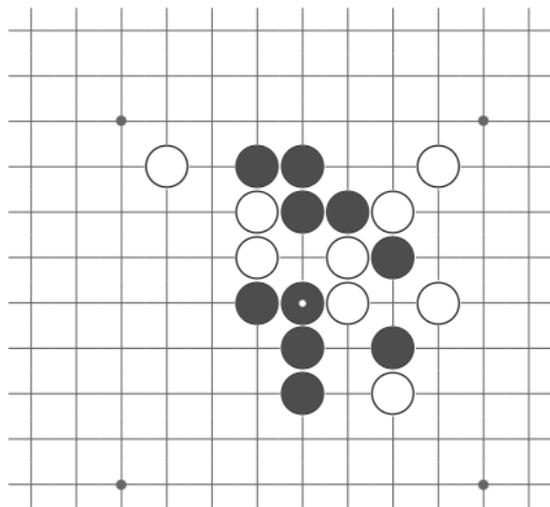


【問 6-8】白 3 で、A 点の四三勝ちと X 点三々禁を見合いにして、黒は両方を防ぐ手段がありません。

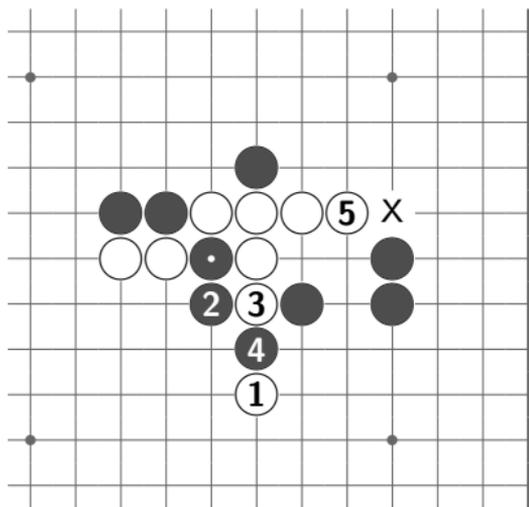
※ 初手で 3 は、黒 1 と防がれます。



【問 6-9：白先】三々禁を狙います。

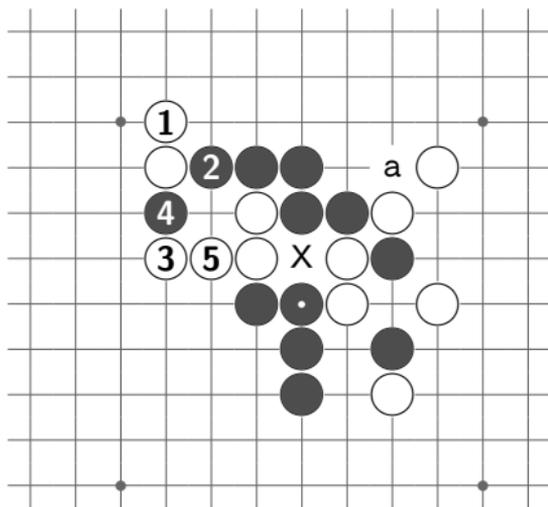


【問 6-10：白先】当然長連禁を狙います。



【問 6-9】白 5 にて X 点三々禁。3 点の三々禁を狙う好手の白 1 により、黒 2 で他も白 3 の四で 4 点に黒石を置かせ、白 5 で X 点三々禁。

※ 初手で 4 は次の狙いがなく、黒 2 等と打たれ失敗です。

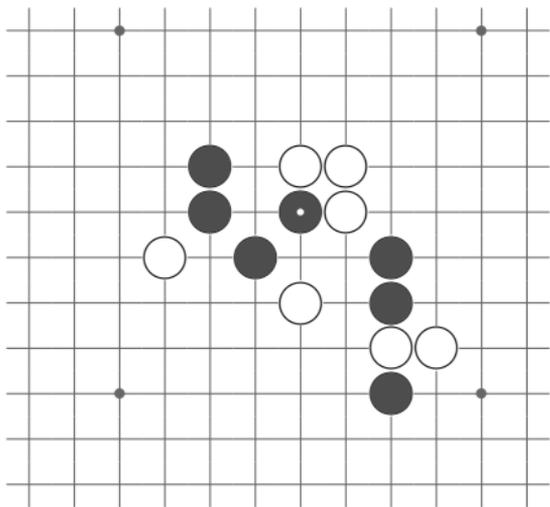


【問 6-10】白 5 で X 点長連禁。

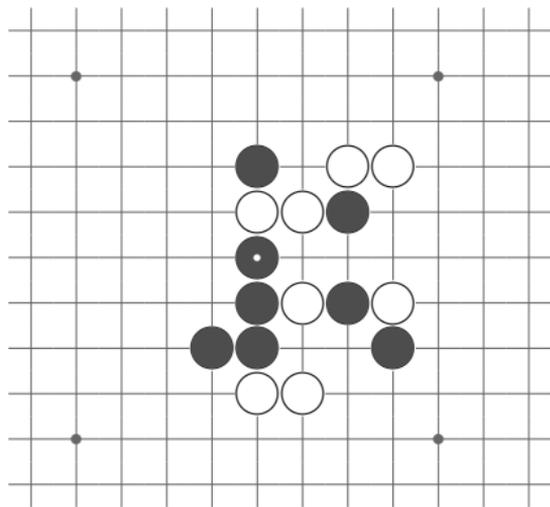
黒 2 を絶対止めにして、長連禁を狙える 3 の点に三でもっていきます。

黒 2 後の a は、X 点に打てませんので、四三ではありません。

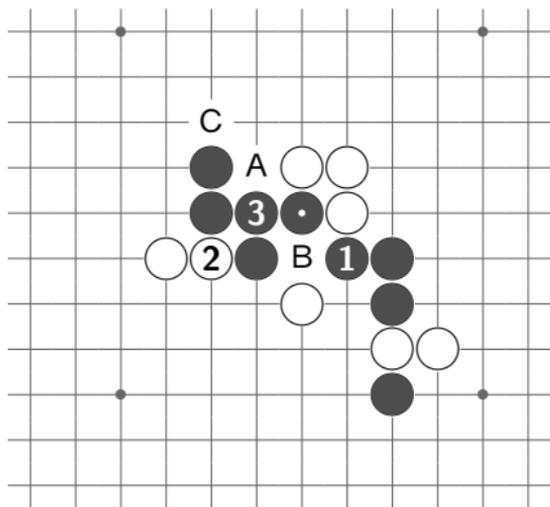
※ 初手を 3 は、黒 5 で失敗です。



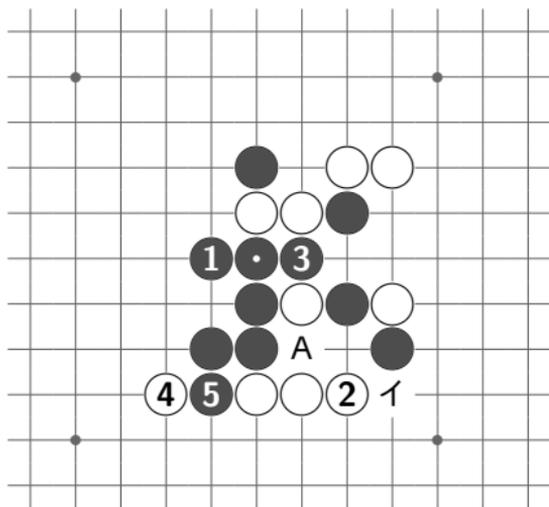
【問 6-11：黒先】両ミセで決めます。



【問 6-12：黒先】白の防ぎにも注意。

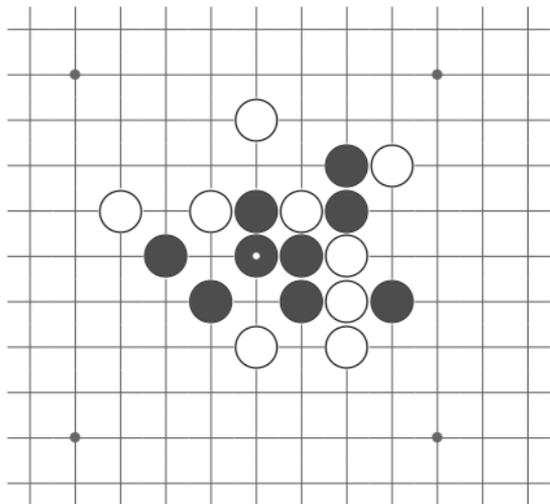


【問 6-11】 黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他は、C の四三勝ち。
白 2 の好防にも黒 3 の両ミセがあります。

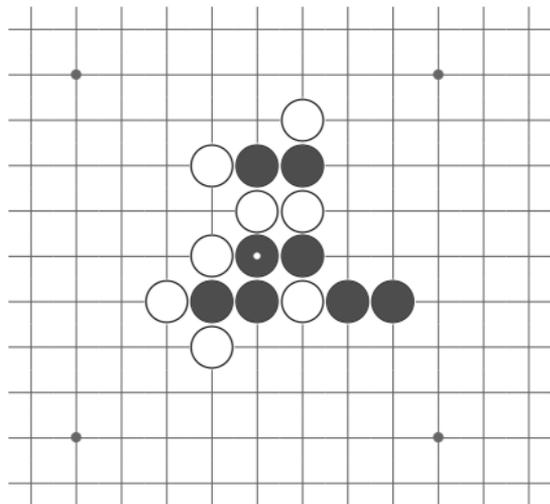


【問 6-12】 黒 1 は 3 と A での四三両ミセで、両方を防ぐ白 2 には黒 3・5 で三が 2 つできての勝ち。
※ 黒 3 を打たずの 5 は、白イ・A で 3 点四々禁の逆転です。

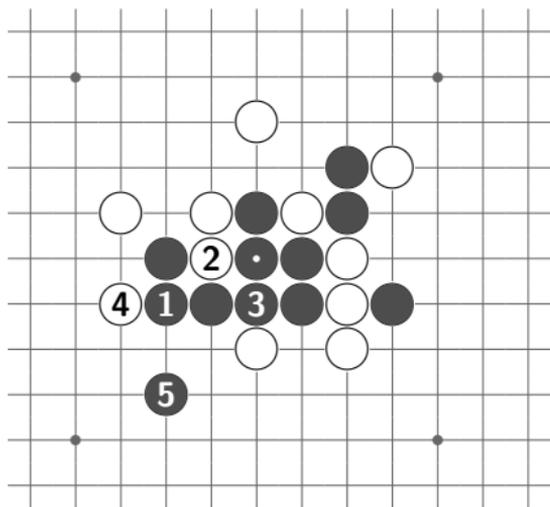
7 フクミ手を絡めて勝ち形を作る詰連珠



【問 7-1 : 黒先】初手はミセ手兼フクミ手の好手です。



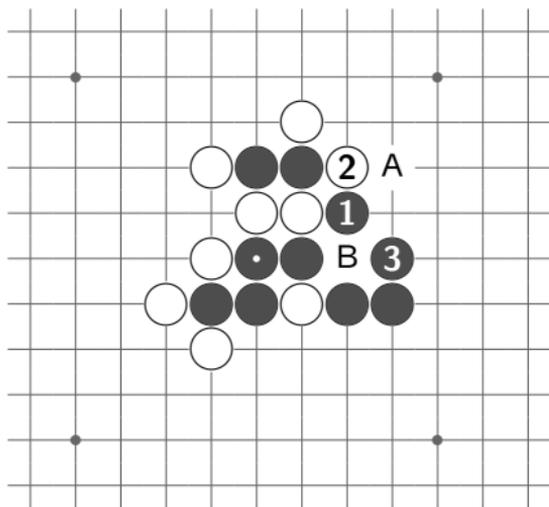
【問 7-2 : 黒先】フクミ手で好形を作ります。



【問 7-1】黒 5 の四三勝ち。白 2 で他は、同じか 2 の四三勝ち。

黒 1 は、2 点のミセ手と図の四追いのフクミ手の好手で、両方を防ぐ方法はありません。

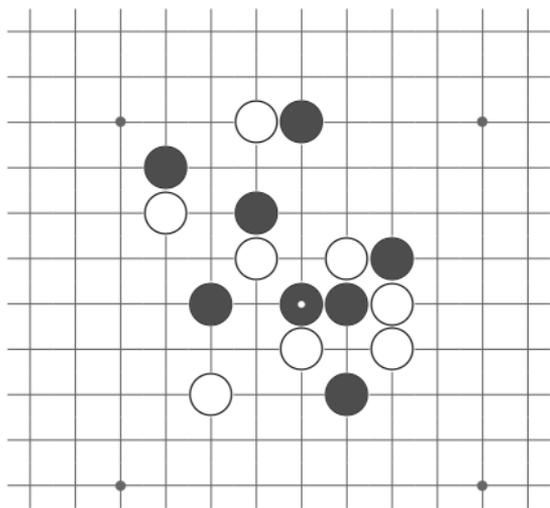
※ 他の初手では勝てません。



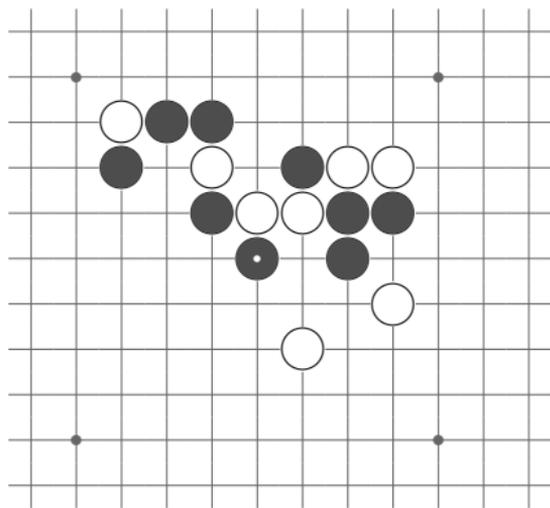
【問 7-2】黒 1 のフクミ手に、四追いを防ぐどの白 2 にも 3 をヒイて、A または B の四三勝ち。

黒 1 の狙いは A・2 の四追いです。

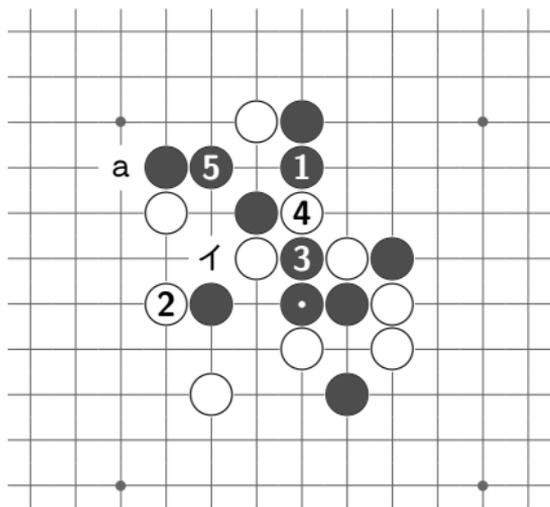
四や三の点がなくても勝ちにできるのが、フクミ手の強力さです。



【問 7-3 : 黒先】 初手の好手から始
 ます。

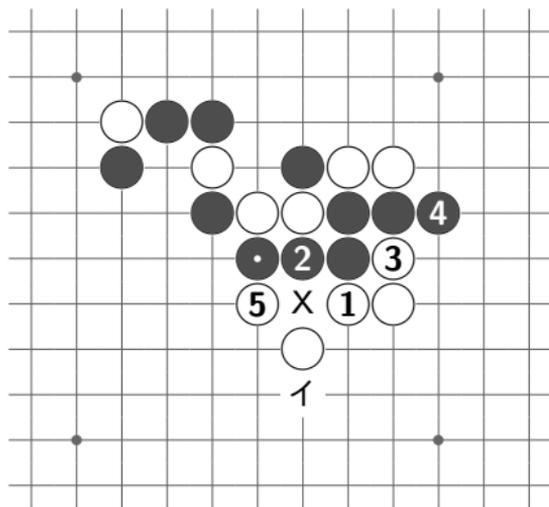


【問 7-4 : 白先】 初手はフクミ手です。
 有望に見えるけれど好防のために失敗
 となる手があります。



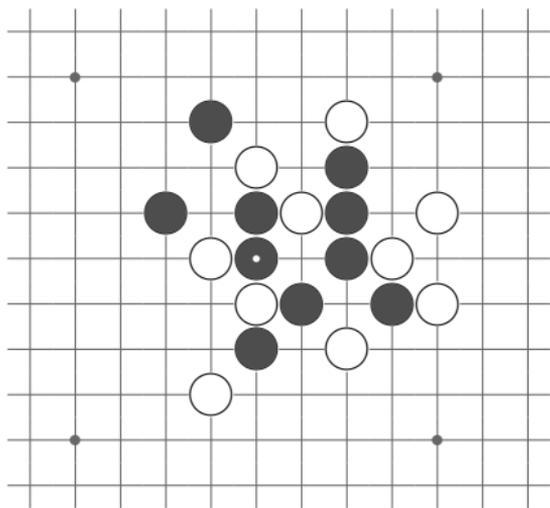
【問 7-3】黒 1 は、2 点のミセ手と図の四追いのフクミ手の好手です。白 2 で a なら、黒 2・イの四追いでノリ切り達四勝ちです。

※ 初手でイ、3 や 5 もなかなかの手ですが、白 1 と防がれます。

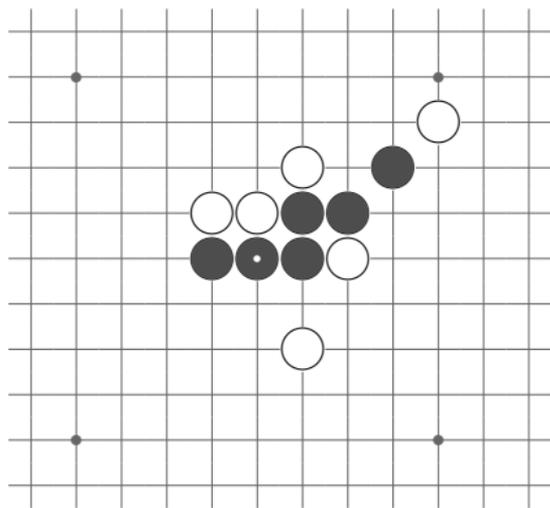


【問 7-4】白 5 にて X 点三々禁。白 1 は、2・X での四三勝ちと、2・イの四追いまたは 5 の三での X 点三々禁を狙っており、図の防ぎが最善です。

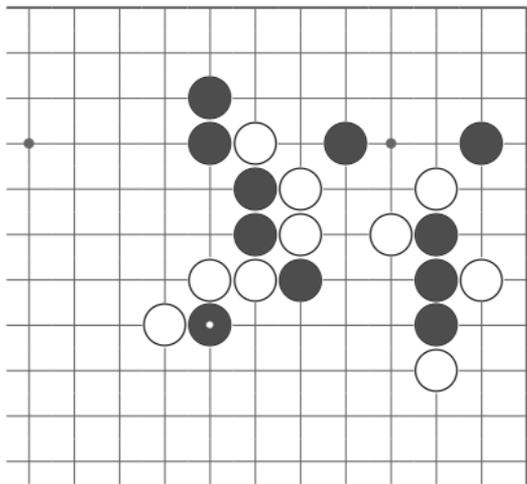
初手で 2 は有望ですが、黒 1 の好防で勝ちはありません。



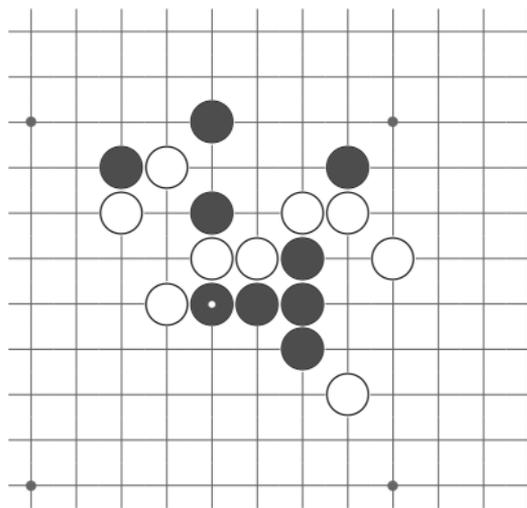
【問 7-5：黒先】フクミ手の手本のよ
うな好手から始めます。



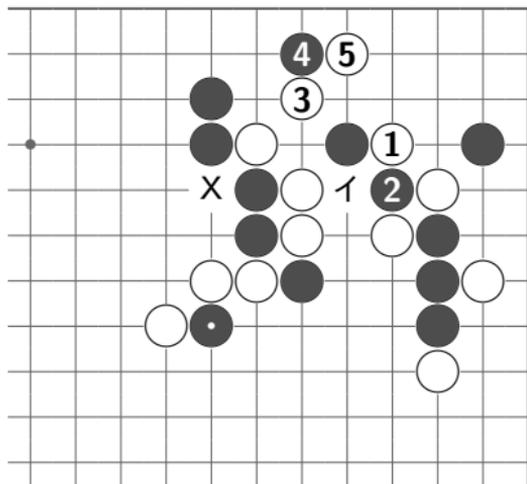
【問 7-6：黒先】初手は気付きにくそ
うな好手です。



【問 7-7：白先】黒に禁点があるので勝ちにできます。



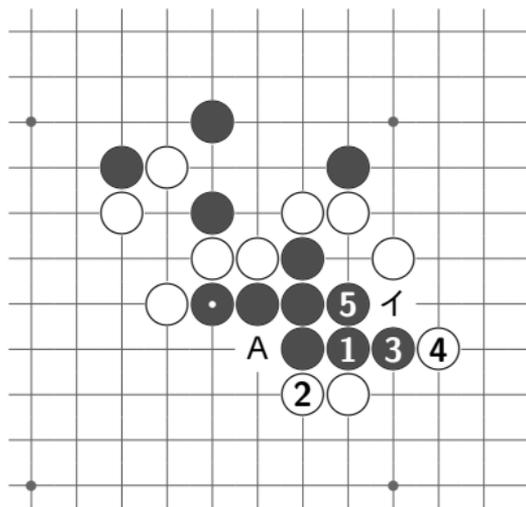
【問 7-8：黒先】気付きにくそうな好手が打てれば以下容易です。



【問 7-7】白 5 にて X 点三々禁。白 1 はイ・2 の四追いを見るフクミ手で、それを防ぐ他の黒 2 も白 3 以下同様。

白 3 は 4 の四三と X 点禁手を見合いで狙っています。

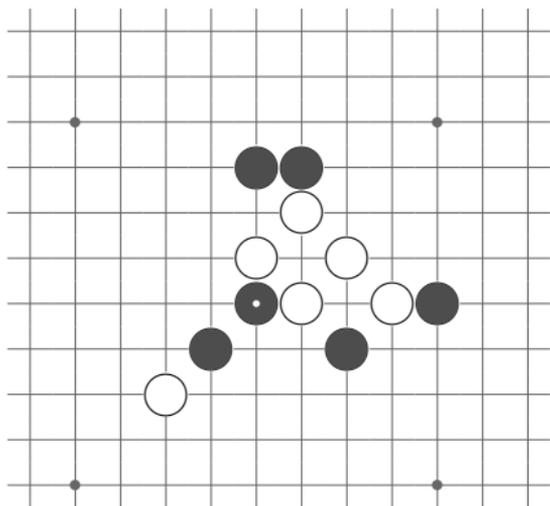
※ 初手でイや 2 のフクミ手には黒 1。



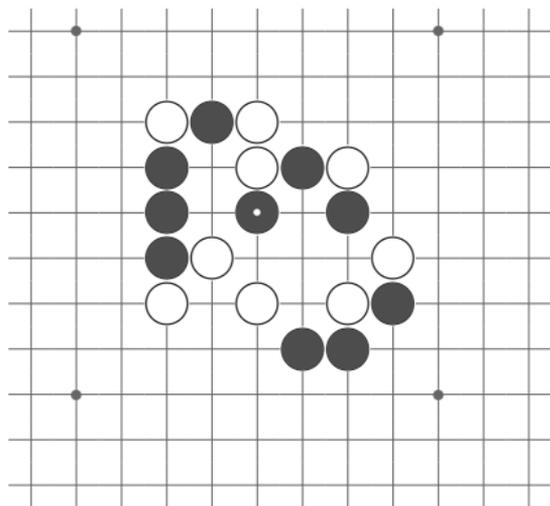
【問 7-8】黒 5 の四三勝ち。黒 1 はイ・2 のフクミ手で、他に '3 後 5' と 'A 後 2' の四三勝ちを狙っており、すべてを防ぐ手はありません。

※ 初手で四を作ると勝てません。

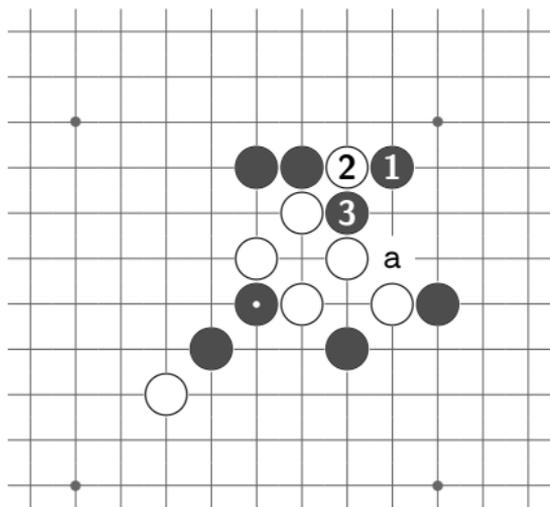
8 1~7章の攻め方、あるいはそれらの組合せで 勝ち形を作る詰連珠



【問 8-1：黒先】トビが活躍します。



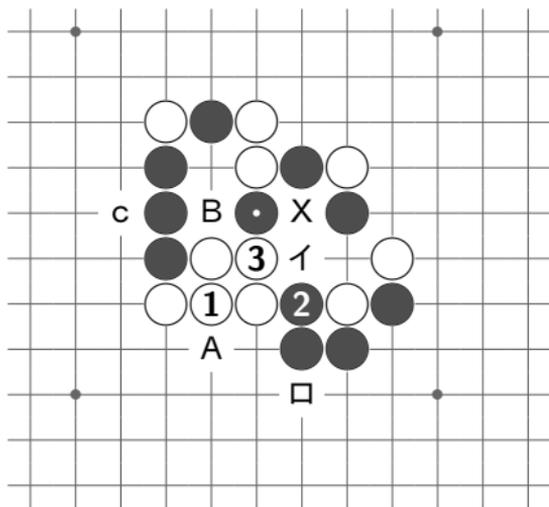
【問 8-2：白先】禁手にします。



【問 8-1】黒 1 のトビ三後、3 の四三勝ち。白 2 で他にも同じ。

四も三もすべてトビの形で見づらいかもかもしれません。

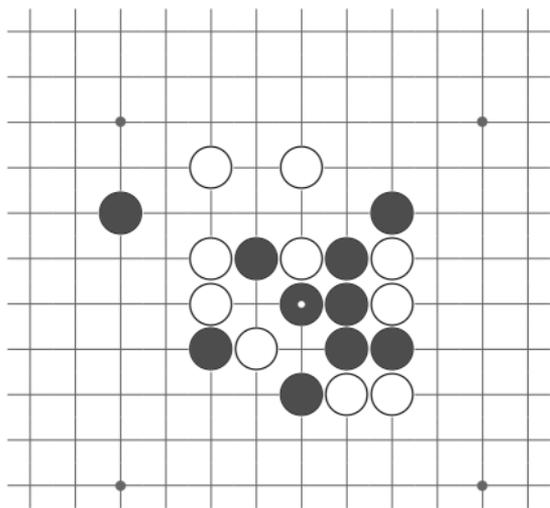
※ 初手で 3 は、白 a と止められて勝てません。



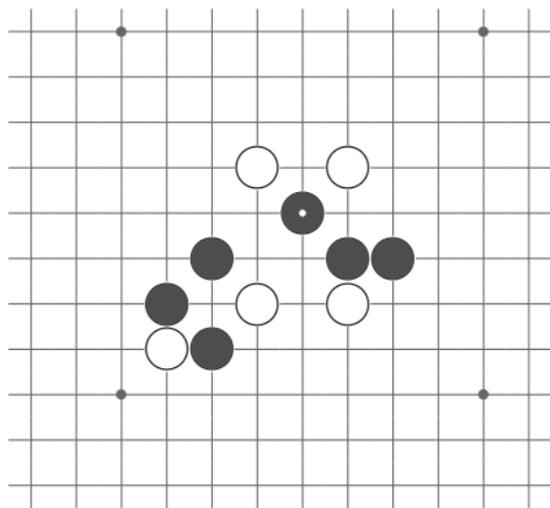
【問 8-2】白 3 にて X 点四々禁。

※ 白 3 で A として B 点の四々禁を狙うと、黒はイ・ロの四追いで逆転です。

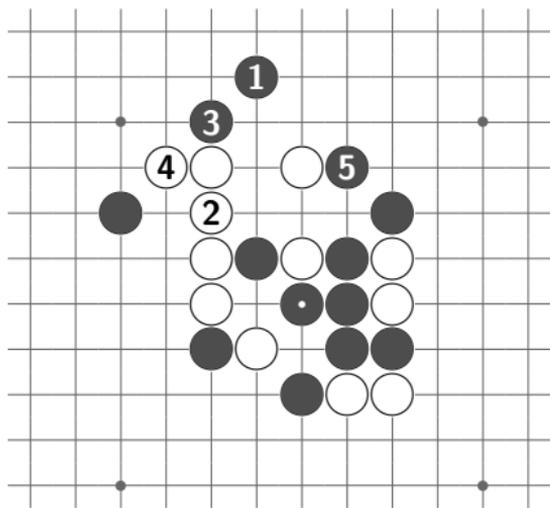
白 3 は、黒イ・ロや B・c の四追いをノッています。



【問 8-3 : 黒先】 盤面を広く見ます。

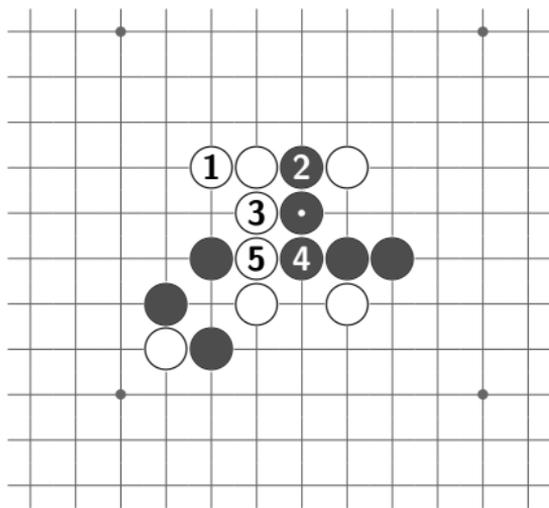


【問 8-4 : 白先】 黒の剣先が気になります…。



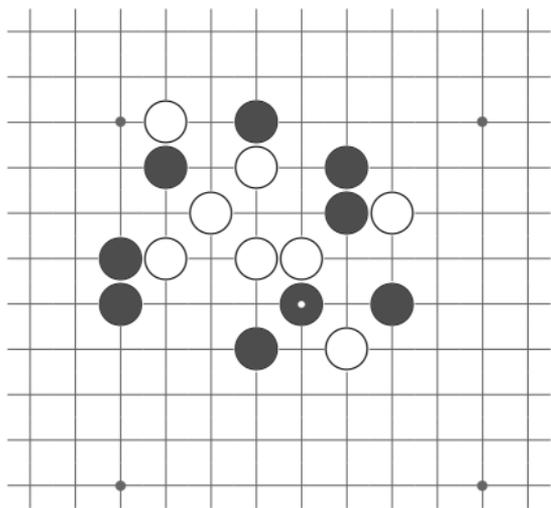
【問 8-3】黒 1 の両ミセで決まります。無効ながら白 2 の四ノビには、黒 3 の三後 5 の四三です。

※ 初手で四を打つと勝てなくなります。

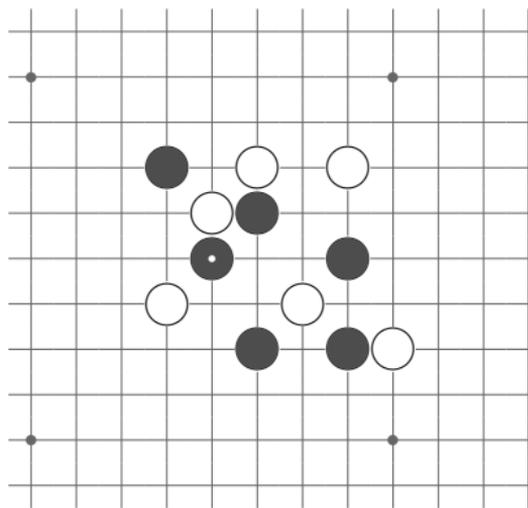


【問 8-4】白 3 で三々を作り、白 5 にて達四勝ち。黒 2 で他も同じ。黒 4 で 5 は、白 4 の達四勝ち。

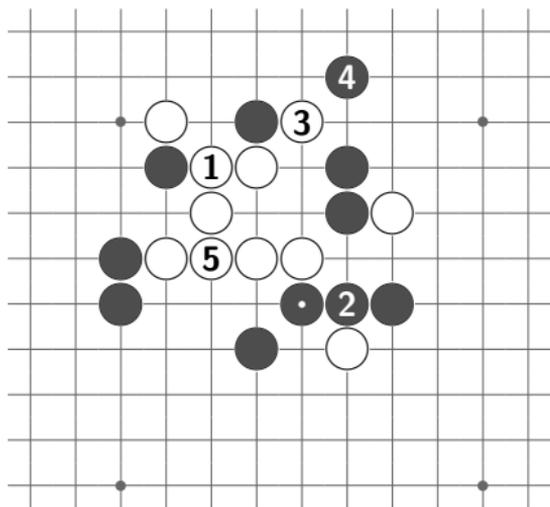
黒 4 は四三ですが、大丈夫です。
黒 2 での四ノビは、白に新たな三を作らせるため無効です。



【問 8-5：白先】三・四三はノラれそ
うです。

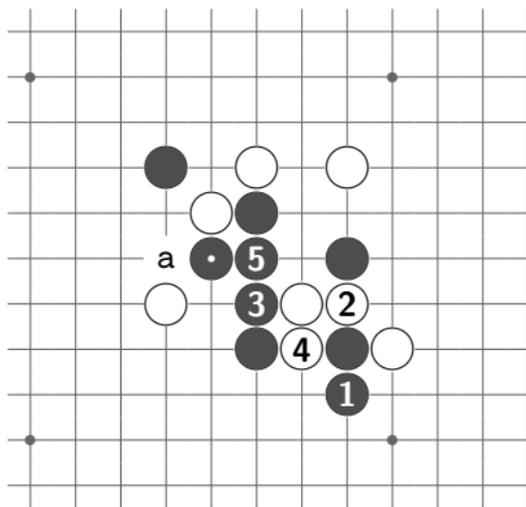


【問 8-6：黒先】上手に三をヒキます。



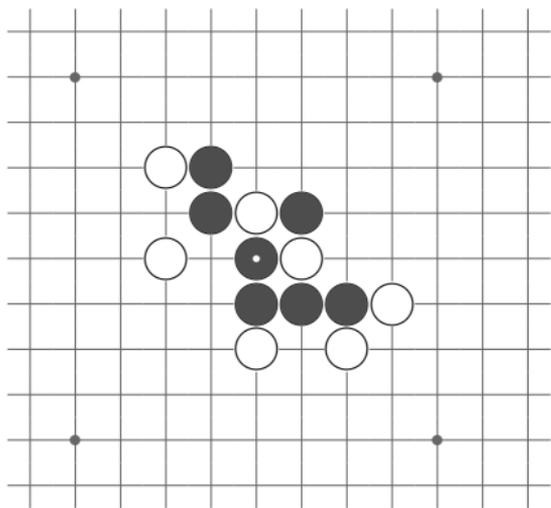
【問 8-5】黒 2 と止められて四三はノラれますが、白 3 の四で長連筋にすることで白 5 の四三とできます。黒 2 で他は、直ちに 5 の四三勝ち。

黒 2 の防ぎと白 3 の長連筋利用の攻めが主題です。

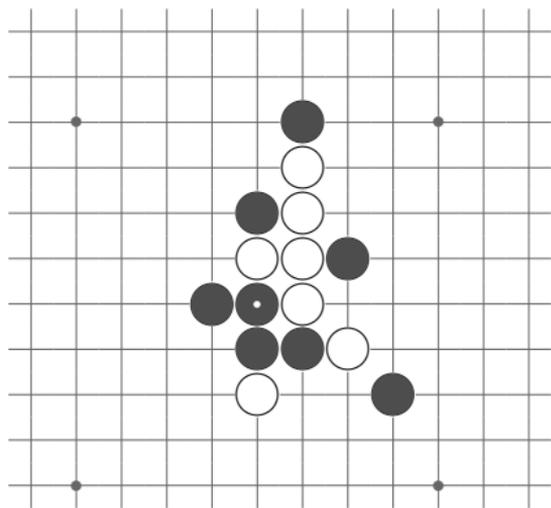


【問 8-6】黒 1・3 とトビ三をヒキ、5 で四三勝ち。白 2・4 で他も同じ。

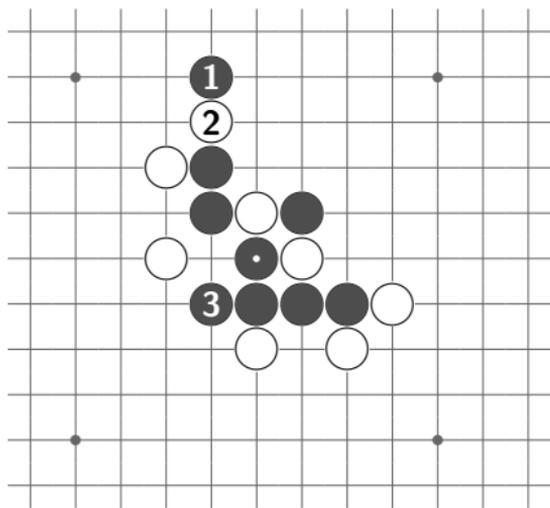
※ 初手で 5 は白 a に止められ、黒 3 で 5 は白に 3 と先着されます。



【問 8-7：黒先】四三々禁を逃げる常套手段です。

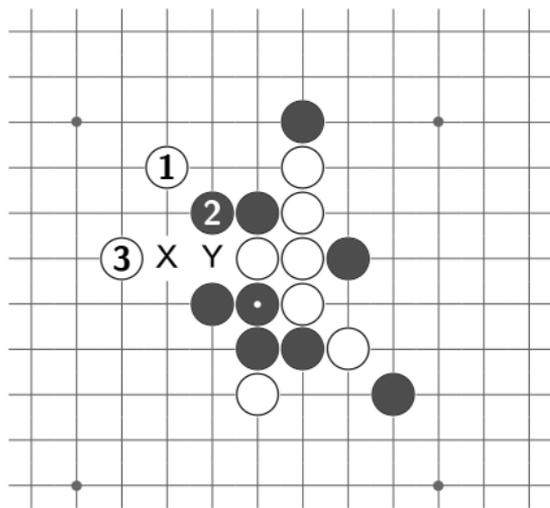


【問 8-8：白先】知っておくべき白独特の勝ち方です。



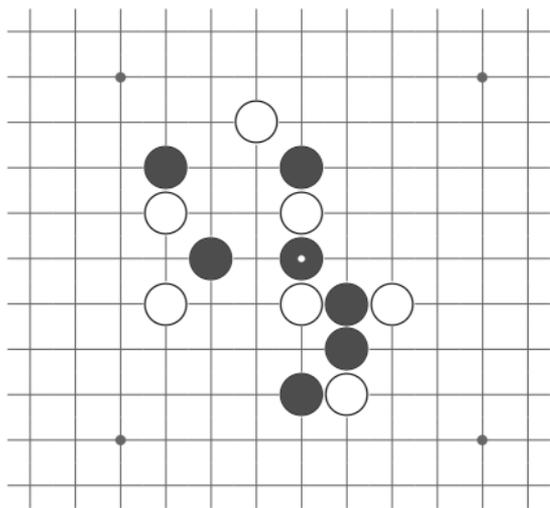
【問 8-7】黒 3 の四三勝ち。

黒 1 の三を打った瞬間に四三々の禁点は解除されています。三を止める
 どの白 2 にも黒 3 で四三です。

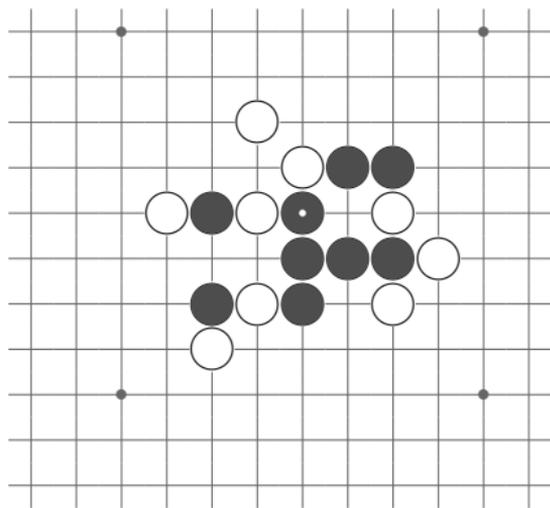


【問 8-8】白 3 として、次に黒がどこ
 に打っても X または Y の四で Y また
 は X の三々禁。

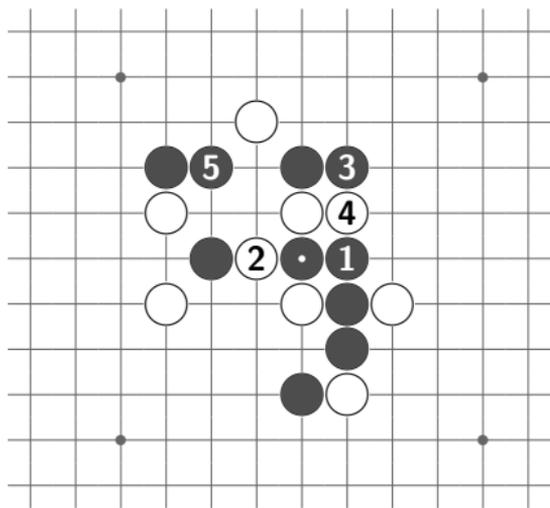
2 つの禁点が近くにあるとこのよ
 うに“二重禁”を狙われます。



【問 8-9：黒先】初手は三でしょうか、ミセ手でしょうか。

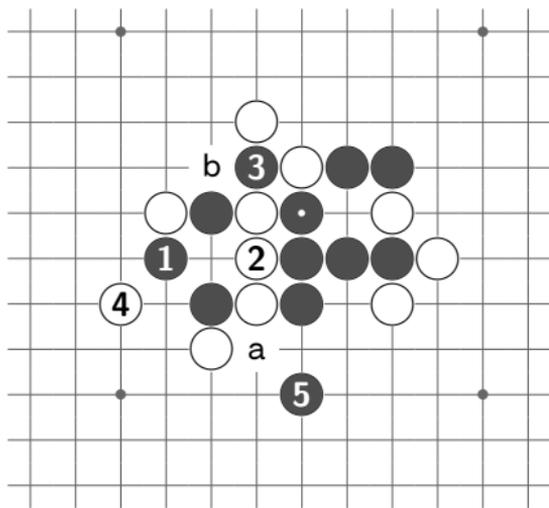


【問 8-10：黒先】狙われている四々三の禁点を逆用します。



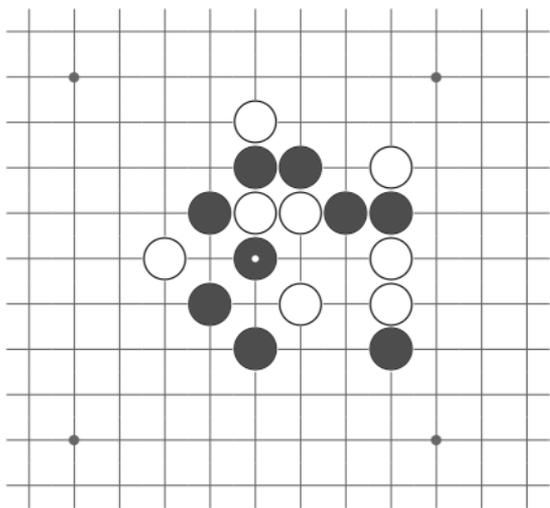
【問 8-9】黒 1 の三後、3・5 の四追いで四三勝ち。白 2 で他にも同じ。

※ 初手で 3 の両ミセは、白 1 と防がれます。

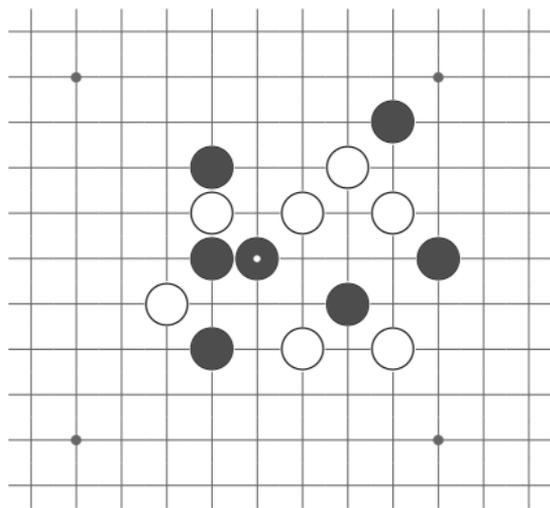


【問 8-10】黒 5 の四三勝ち。黒 1 は、四々三の禁点を解除して斜めの三を復活させつつのミセ手です。白 a の四ノビは無効です。

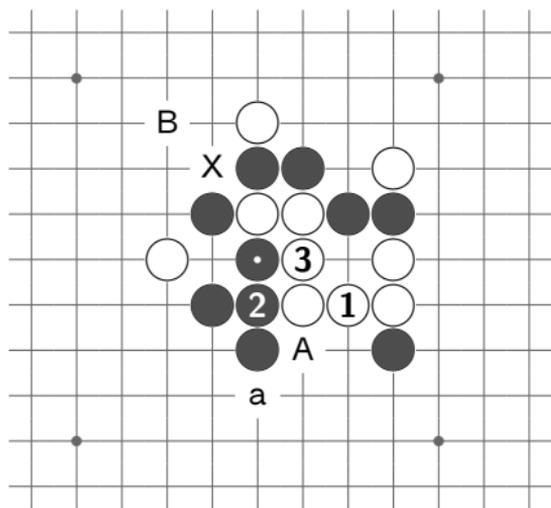
※ 初手で 3 は、白 b と防がれます。



【問 8-11：白先】三々の禁点が見えています。

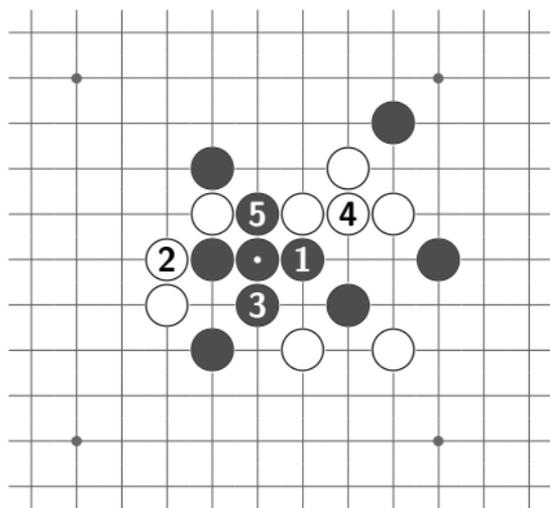


【問 8-12：黒先】白の剣先を役立たずにします。



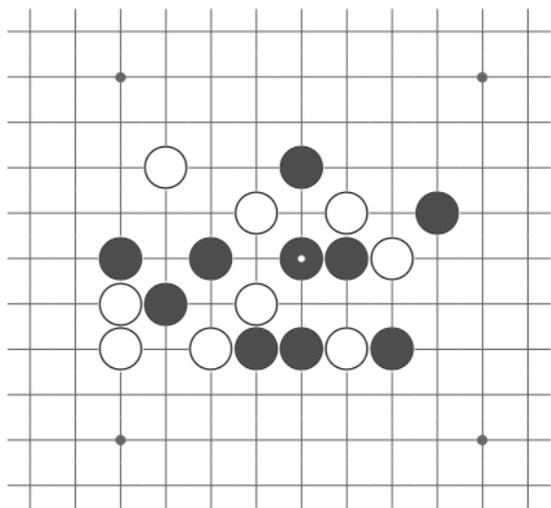
【問 8-11】 白 3 にて、次に A の四三勝ち、または B での X 点三々禁。黒 a の四ノビは無効。黒 2 反対も同じ。

四三と禁手の二股狙いの形です。

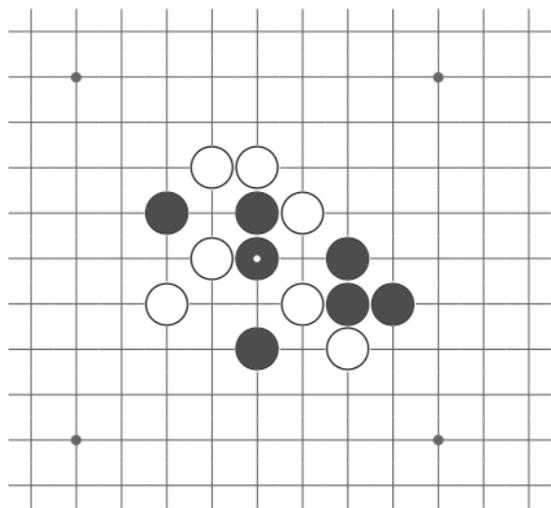


【問 8-12】 黒 1・3 と三をヒキ、5 の四三勝ち。白 2・4 で他にも同じで、四ノビは無効。

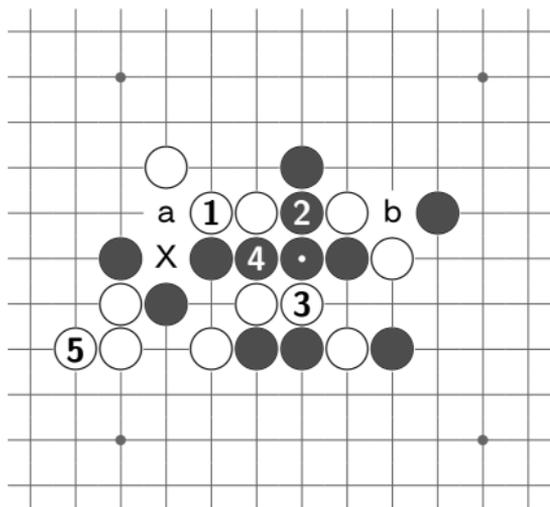
白 2 で白に四追いができますが、黒 3 はそれをノリつつ白の剣先を役立たずになっています。



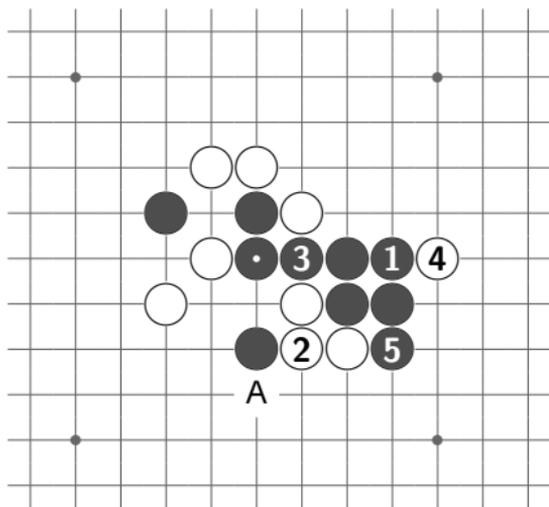
【問 8-13：白先】黒には四三の点がありますが、長連筋もあります。



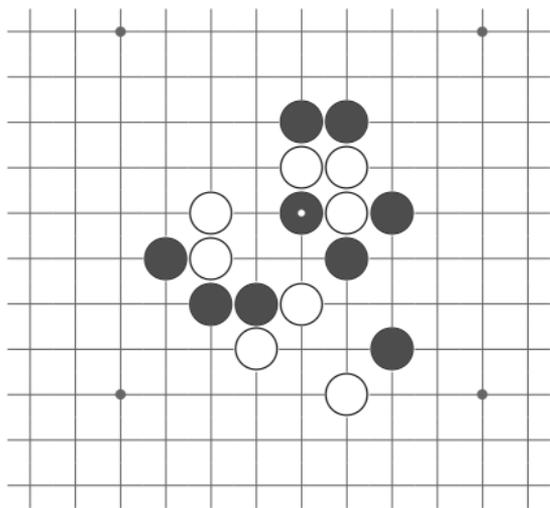
【問 8-14：黒先】ひとめ好手で決まります。



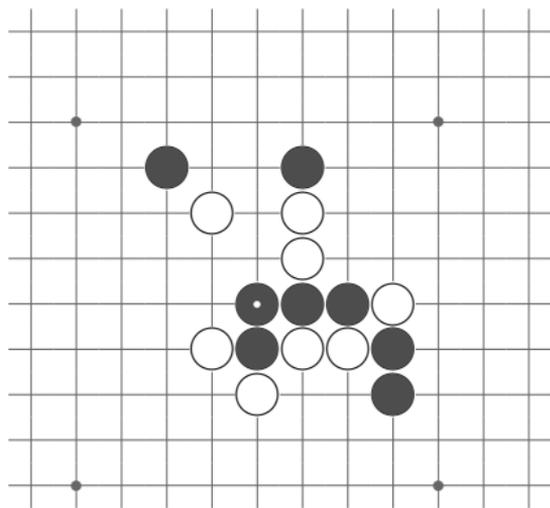
【問 8-13】白 5 にて X 点長連禁。黒 2
 で a は同じ、b は白 4 で 3 点四々禁。
 # 黒 3 の点での四三を白 1 はノリつ
 つの三です。



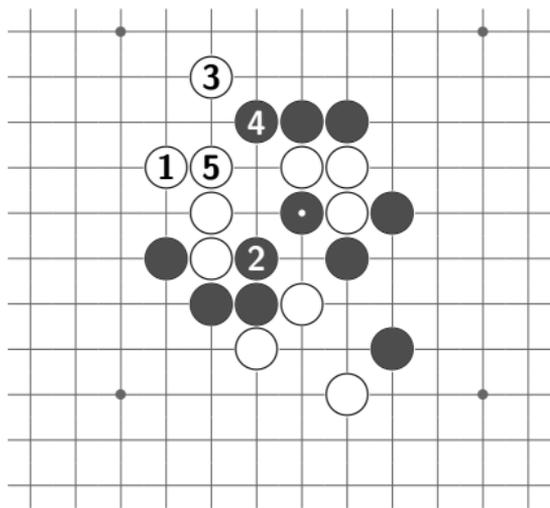
【問 8-14】黒 1 が、A のミセ手と、図
 の四追いのフクミ手になっています。
 白が両方を防ぐ手はありません。
 ※ 初手で 3 は白 1 と防がれます。先
 に A の四ノビをすると勝てません。



【問 8-15：白先】2種類の‘三・四三’にはノリ手があります。



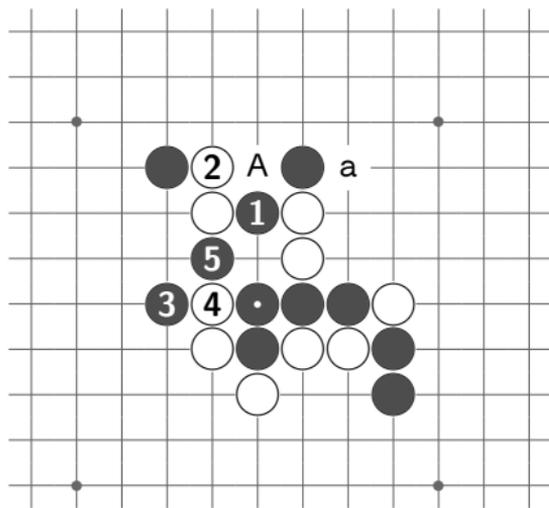
【問 8-16：黒先】三から始めるとどうなるか…。



【問 8-15】白 1・3 と三をヒキ、白 5
にて四々勝ち。黒 2・4 が他も同じ。

※ ‘3 後 5’ や ‘5 後 3’ にはノリ手があ
ります。

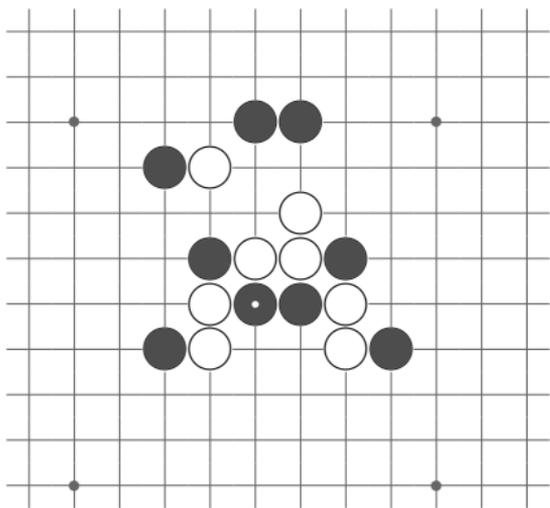
四々ならノリ手も怖くありません。



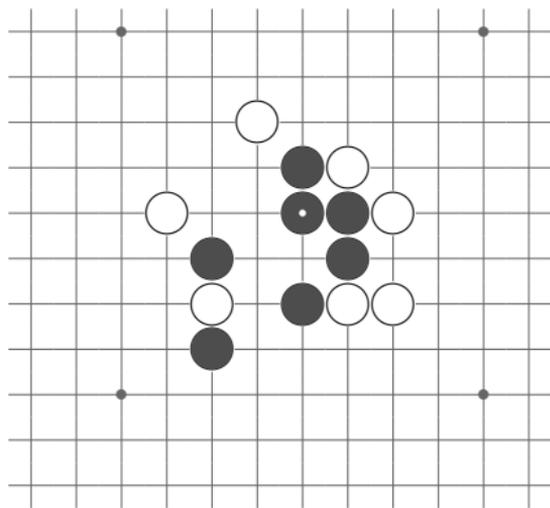
【問 8-16】黒 1 の両ミセで、白 2 の
防ぎには黒 3・5 とノリ切り達四勝ち。

白 2 で他は、A または 3 の四三勝ち。

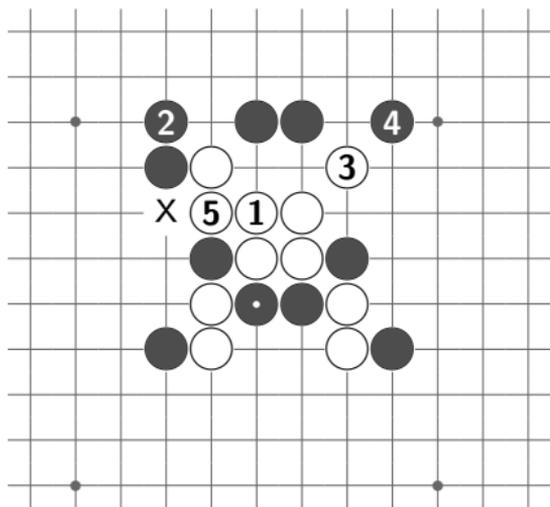
※ 初手で A の三は白 a と止められ、
1・3 の四追いはノラれています。



【問 8-17：白先】禁手にします。



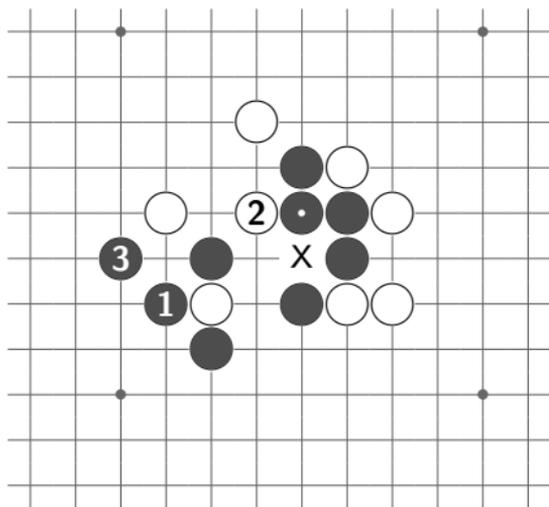
【問 8-18：黒先】禁点を逆用します。



【問 8-17】 白 1・3 の四の後、白 5 にて X 点三々禁。

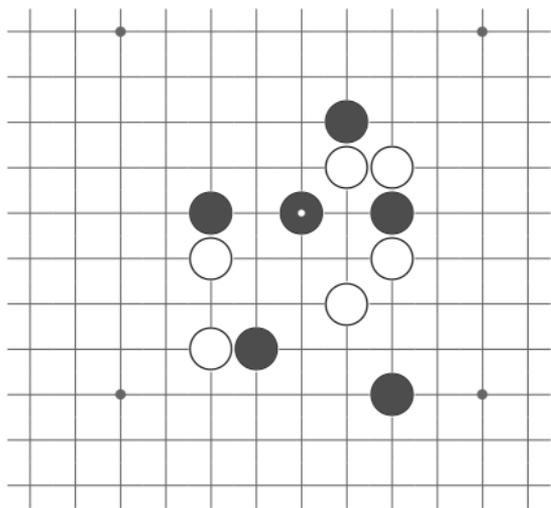
黒 2 で三ができますが、白 3 で長連筋にして三でなくします。

白 1 と 3 の順は変更可能です。

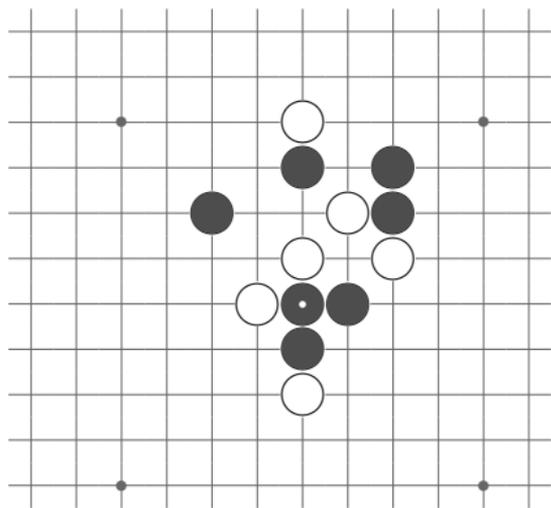


【問 8-18】 黒 3 にて X 点が解禁され、三が 2 つできての勝ち。白 2 が他も同じ。

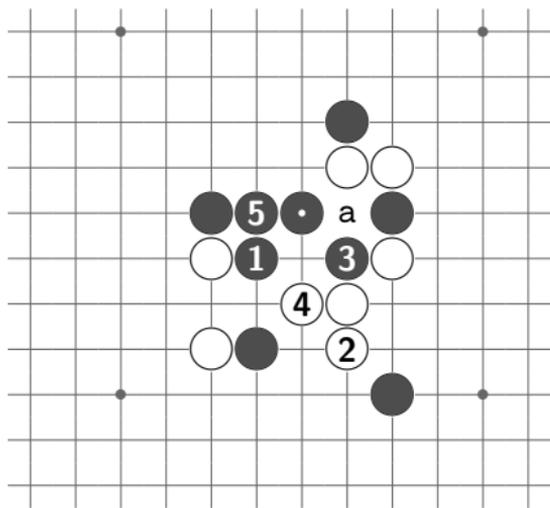
同時に三が 2 つできますが、同一焦点でなく禁手ではありません。



【問 8-19：黒先】好手・好防を見つけ
て下さい。

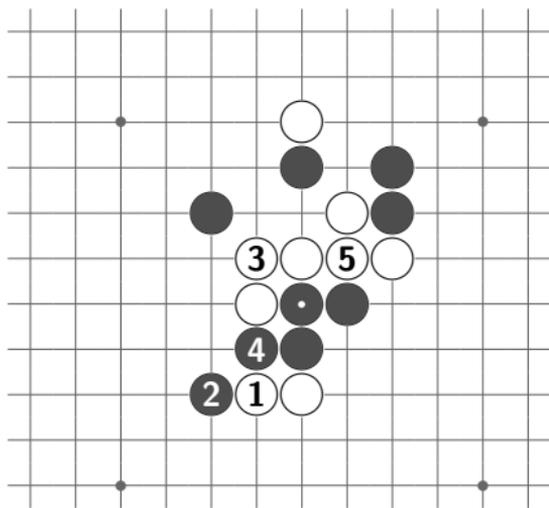


【問 8-20：白先】黒の抵抗にあわない
ように。



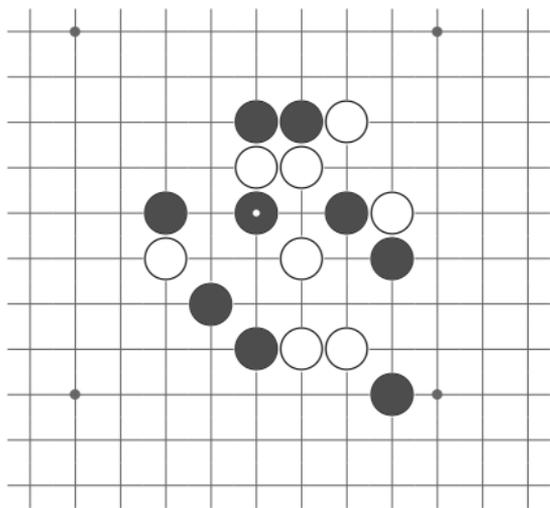
【問 8-19】黒 1 の両ミセに白 2 が好防ですが、3 の三でノリ手を予防し 5 の四三勝ち。両ミセを防ぐ白 2 で、3 は黒 2・5 の四追いで四三勝ち、a は黒 4・3 の四追いでノリ切り達四勝ち。

※ 黒 3 の前の 5 は失敗です。

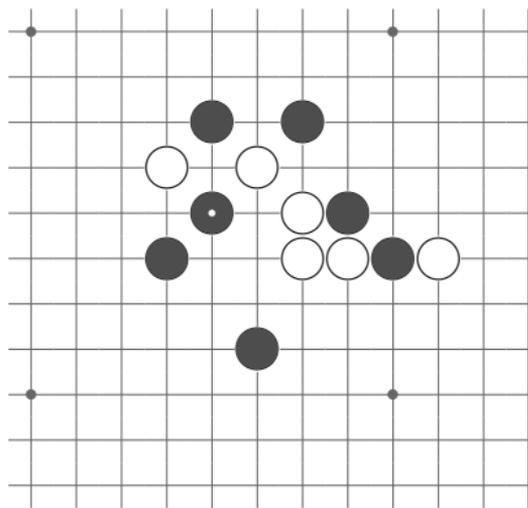


【問 8-20】白 1 のミセ手から始め、白 3 で三々を作ります。黒が四で一方を止めても他方で達四を作ったの勝ち。

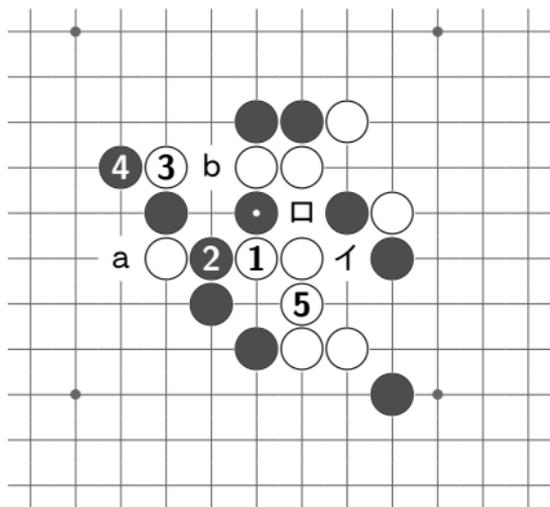
※ 初手を 3 や 5 から打ち出すと、黒に三で止められて失敗です。



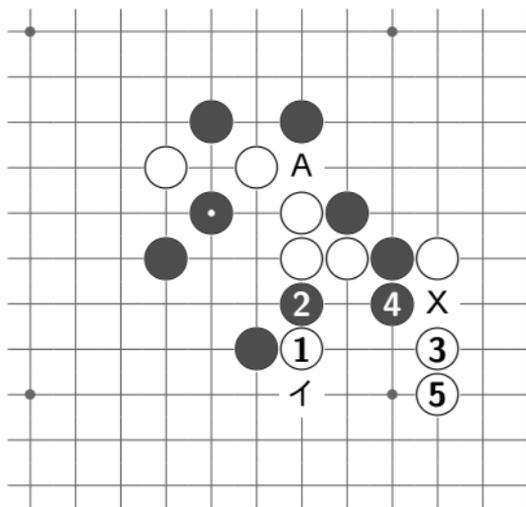
【問 8-21：白先】うまく四々勝ちにもっていきます。



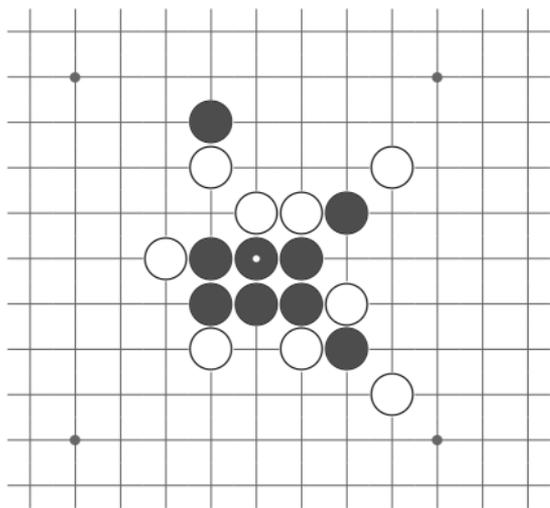
【問 8-22：白先】防ぎ方に応じて…。



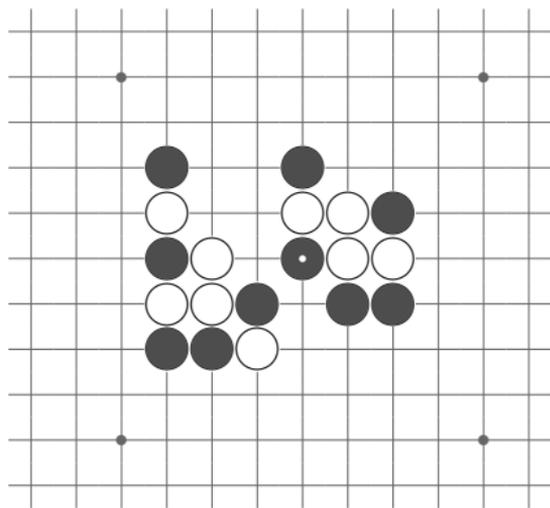
【問 8-21】白 1・3 後、5 の四々勝ち。
 黒 2 でイは同じ、a はイ・ロの四追いで四三勝ち。黒の四ノビは、白に新たな攻め手ができるので、無効。
 ※ 初手で 3 は黒 b に止められます。



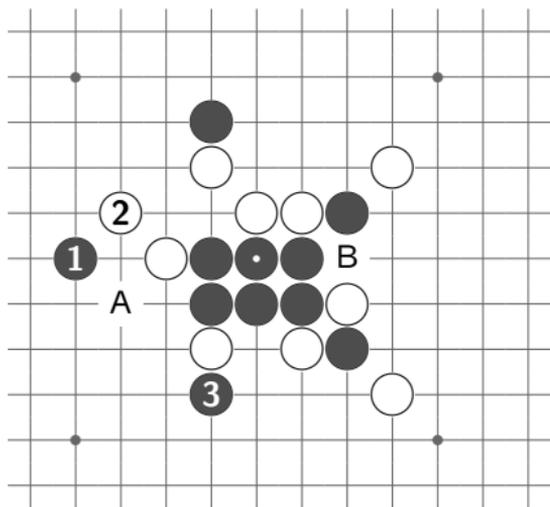
【問 8-22】白 5 にて X 点三々禁。
 黒 2 で A はイ・4 の四追いで、イは A の四三勝ち。
 # トビ三の 3 通りの防ぎに応じて 3 通りの勝ち方を用意します。



【問 8-23：黒先】3本の剣先をうまく結び付けます。



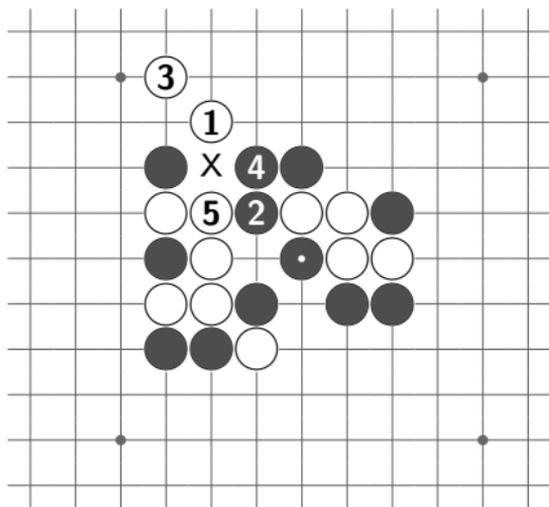
【問 8-24：白先】最後は禁手です。



【問 8-23】黒 3 後、A または B の四三勝ち。2 点での黒の四三を防ぐ白の他の 2 の手にも同じく黒 3 の両ミセ。

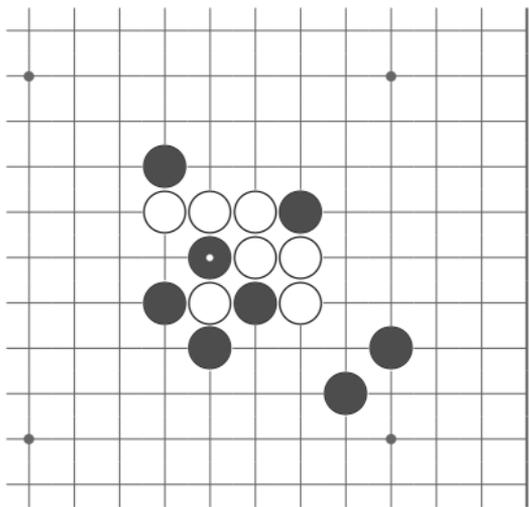
気付きにくい点でのミセ手・両ミセの連続で勝ちにします。

※ 初手や 3 での四ノビは失敗です。

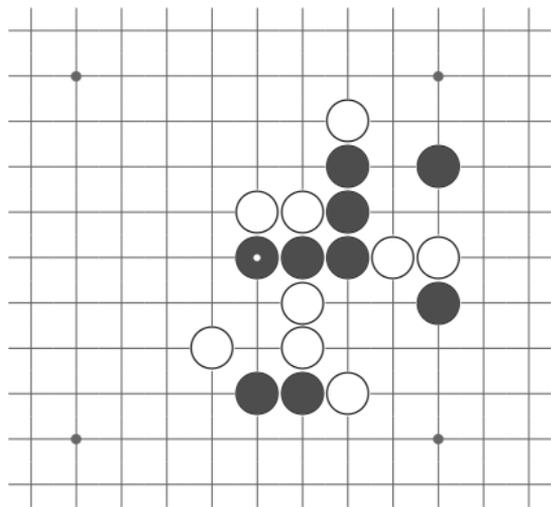


【問 8-24】白 5 にて X 点四々禁。5 点四々と X 点三々禁を防ぐ黒 2 で 5 は、白 3 で 4 点三々禁。

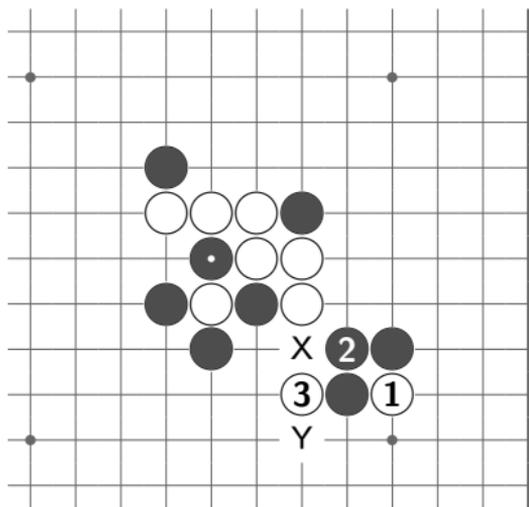
白 1 は四々勝ちと三々禁を狙う好手です。



【問 8-25：白先】気付けば難しくありません。

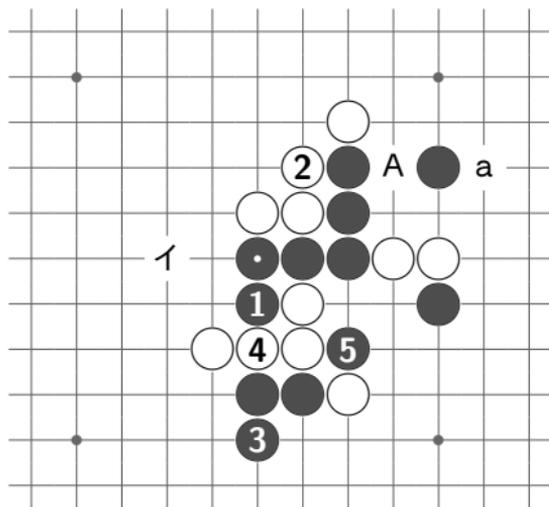


【問 8-26：黒先】初手の好手で決まります。



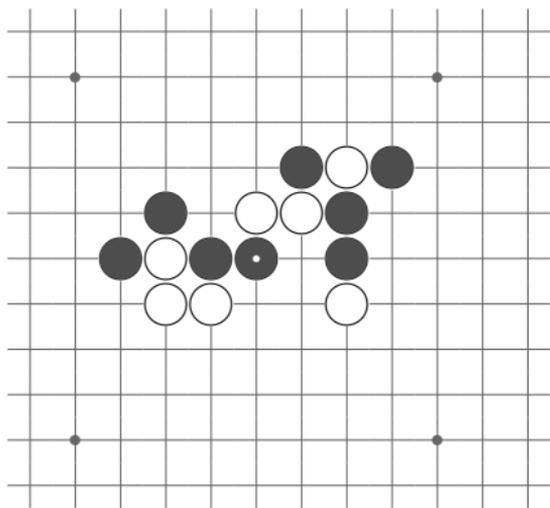
【問 8-25】白 3 にて、X 点四々禁、Y 点三々禁の二重禁になっていて、黒は逃げるできません。

異なる種類の禁手が重なっています。

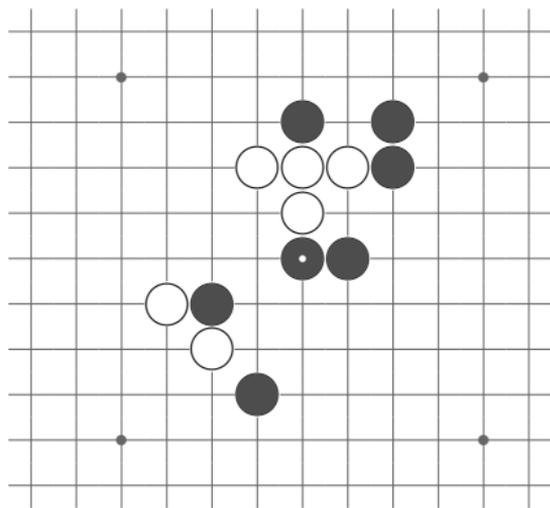


【問 8-26】黒 1 は、A の四三、4・イと図の 3・5 の四追いを見ている好手で、白 2, 4, a 等の防ぎが考えられますが、すべてを防ぐ手はありません。

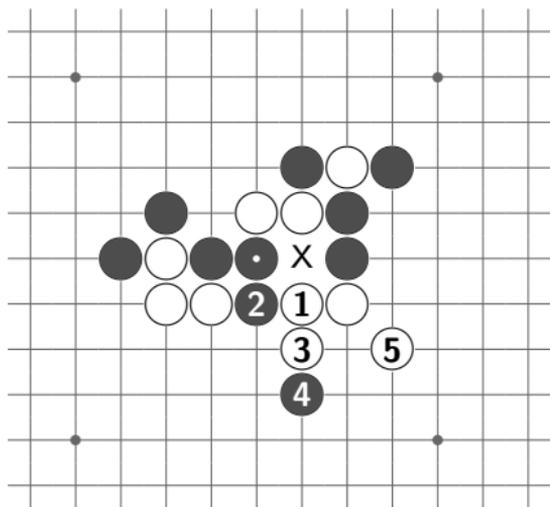
※ 初手で 3 は白 5、4 は白 1 と防がれます。



【問 8-27：白先】禁手を利用した勝ちとしますが、すぐというわけではありません。



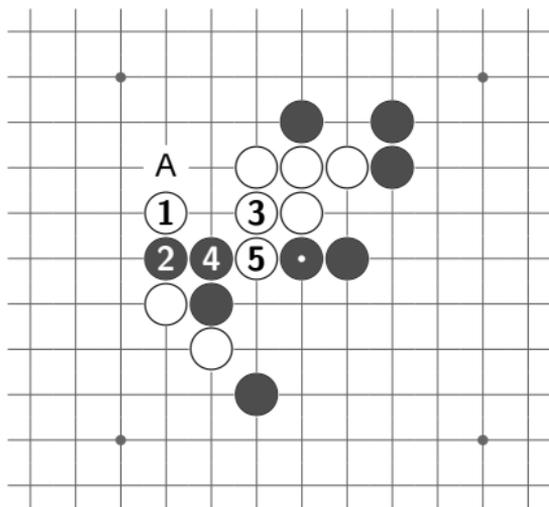
【問 8-28：白先】三々勝ちですが…。



【問 8-27】白 3 で X 点が白の四三と黒の四々禁が重複し、黒は防ぐことができません。

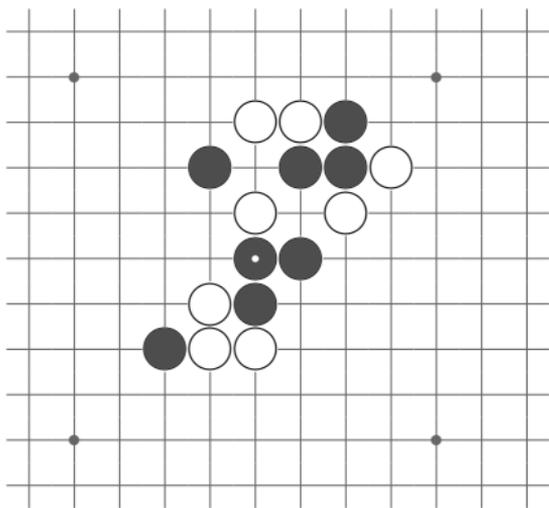
黒 2 は、X 点が四々のため、三々禁ではありません。

※ ‘X 後 1・4 の四追い’ はノラれます。

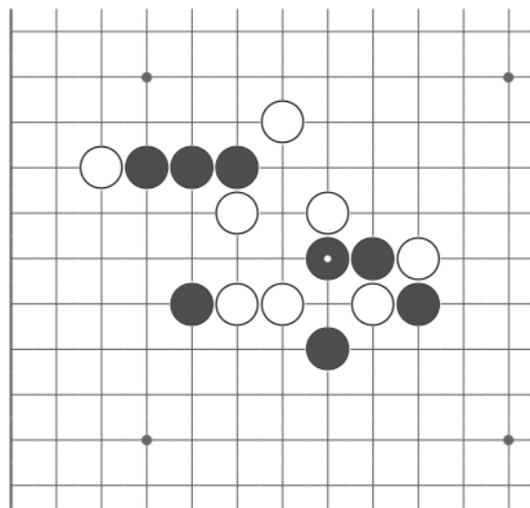


【問 8-28】白 3 で黒の四追いをノリつつ三々を作ります。黒 4 の四で一方を止められますが新たな三ができての勝ち。黒 2 で他は、A の四三勝ち、または白 3 の三々勝ち。

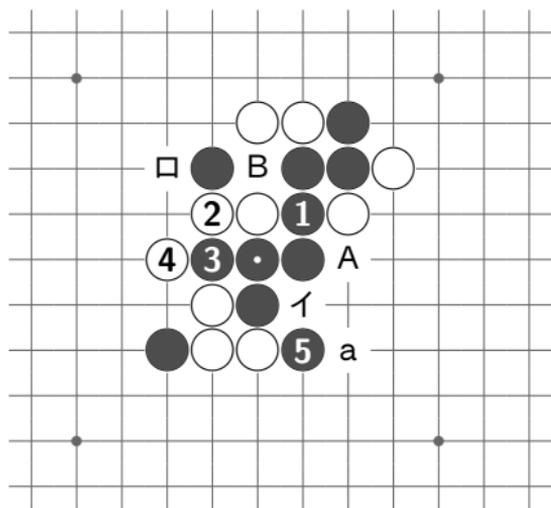
※ 最初に四ノビをすると勝てません。



【問 8-29：黒先】三ヒキは保留します。

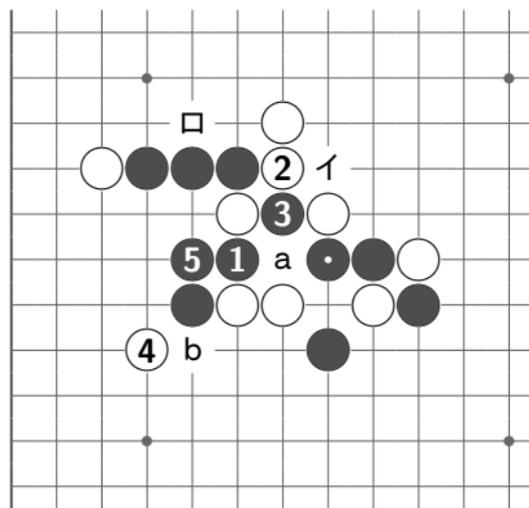


【問 8-30：黒先】三から始めるか両ミセで始めるか、それぞれ好防があります。



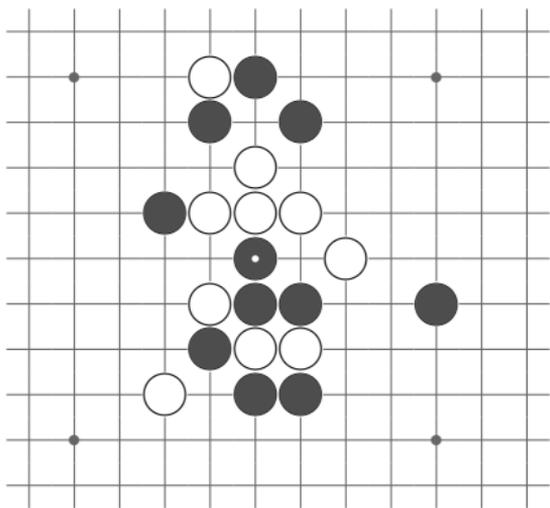
【問 8-29】黒 5 の四三勝ち。黒 1 はイ・口のフクミ手で、それを防いでも、図の勝ち方か、A 後 B の四三勝ち。

※ イのミセ手には、白 2 または a と防がれます。

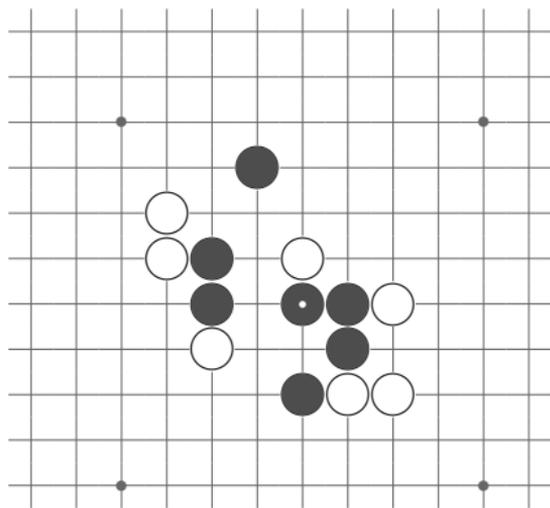


【問 8-30】黒 1 の両ミセに白 2 なら、3 の三でノリ手を消して 5 の四三勝ち。白 2 で 3 は 2・5 の四追いで四三勝ち、a はイ・3 のノリ切り達四勝ち。

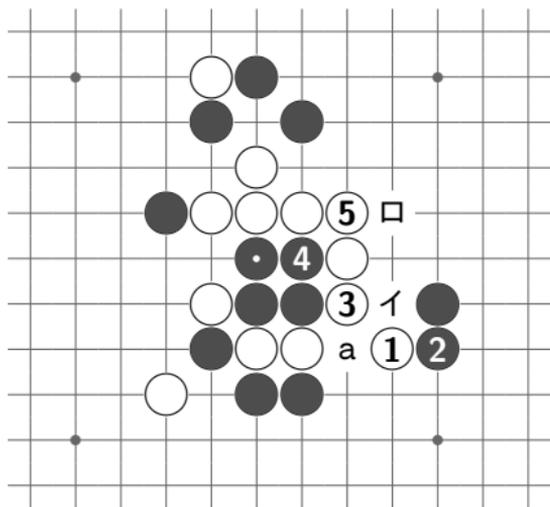
※ 初手で 5 には白 b で、その後のロ・3・イは四々の禁点絡みで否四三です。



【問 8-31：白先】初手が好手です。

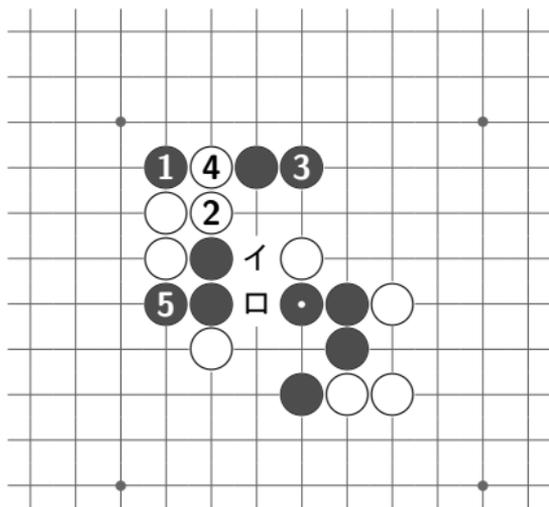


【問 8-32：黒先】防ぎ手を限定して三・四三です。



【問 8-31】白 1 の四々ミセ兼イ・ロのフクミが好手で、黒 2 なら白 3 の三後 5 の四三勝ち。黒 2 でイは同じ。3 や a はイ・ロの四追いで四三勝ち。

※ 初手で 3 は黒 a、a は黒 3 で失敗です。



【問 8-32】黒 1 は 2・4 とイ・ロの 2 種類の四追いを見るフクミ手で、白は 2 またはイの防ぎとなりますが、いずれも 3 後 5 の四三勝ちです。

※ 初手で 2 や 4 もフクミ手ですが、白 1 と防がれます。

まの よしひさ
著者紹介：真野 芳久

1975 年 五段昇段

2009 年 30 年の休珠後に棋戦参加を再開

2013 年 第 51 期名人戦 A 級リーグに東海地区代表として出場

2014 年, 2015 年, 2016 年 世界選手権戦に出場

2015 年 公益社団法人日本連珠社の理事に就任 (2023 年 退任)

2023 年現在：日本連珠社東海支部長

「連珠の基礎」等のフリーの pdf 連珠書籍を東海連珠会ホームページで公開

詰連珠・入門 ～5 までの追詰め問題～

2021 年 6 月 1 日

2023 年 12 月 1 日 第 2 刷

著者：真野 芳久

ga28735@gk2.so-net.ne.jp

発行：東海連珠会

